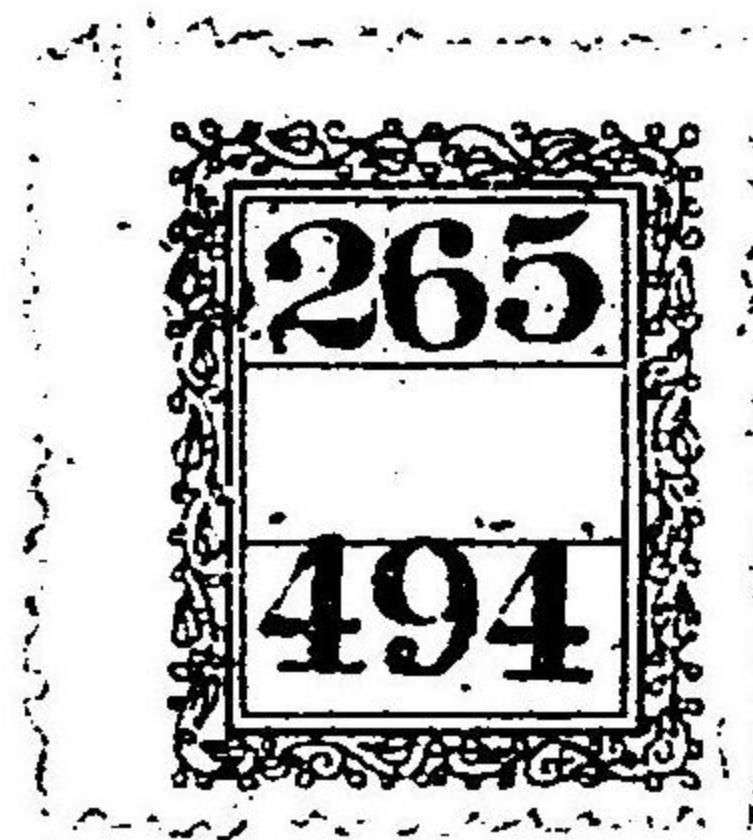


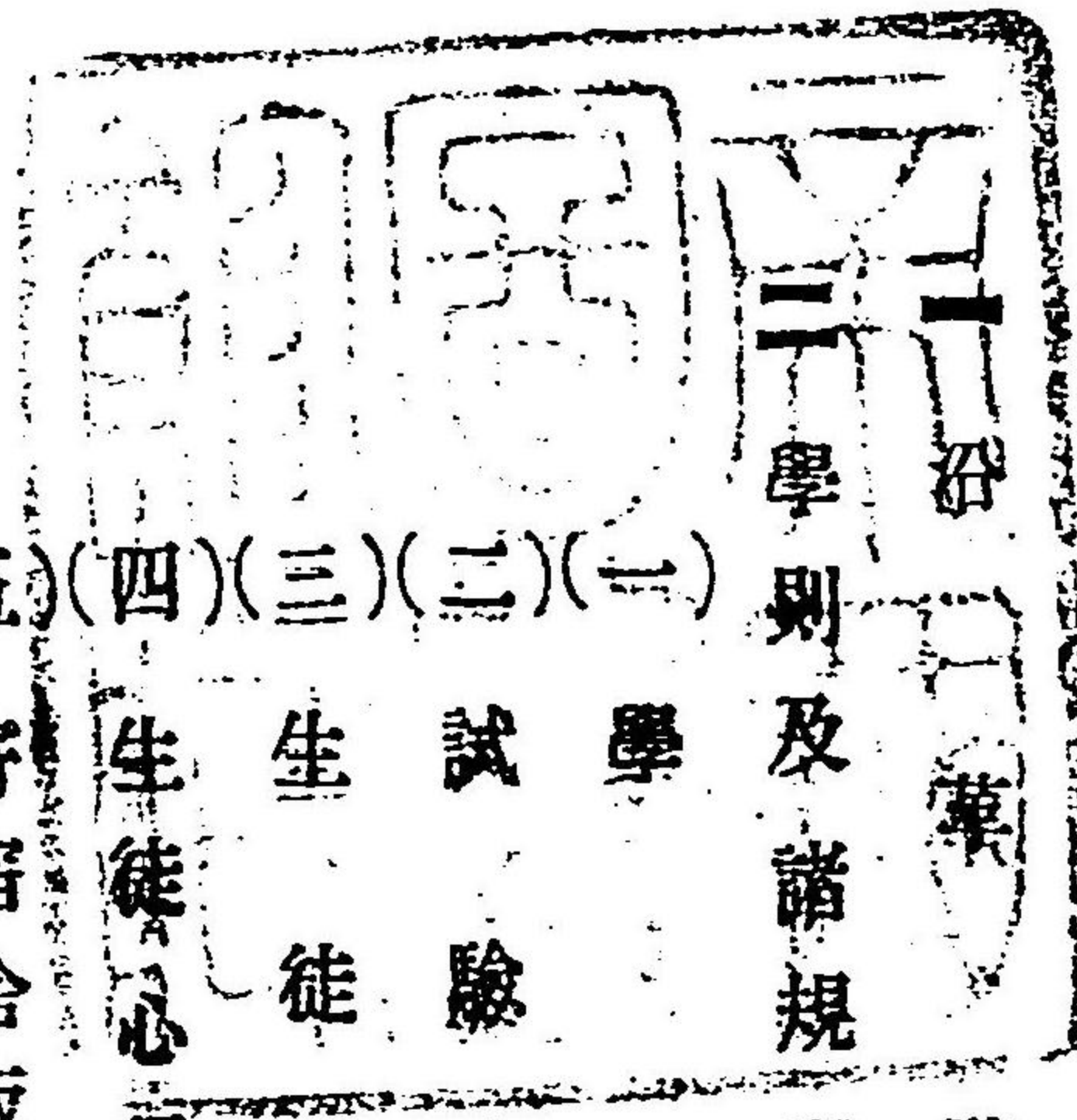
兵庫縣立蠶業學校第十一回年報

自明治四十二年四月
至明治四十三年三月



兵庫縣立蠶業學校第十一回年報

(自明治四十二年四月
至明治四十三年三月)



目次	一	學則及諸規則	略
	(一)	試驗細則	則
	(二)	生徒心得	得
	(三)	生徒心得細則	則
	(四)	寄宿舍取締規程	程
	(五)	生徒學資金保管規程	程
	(六)	蠶繭配付規程	程
	(七)	本校土地及建物	
	三	圖書及器具器械標本	
	(一)	圖書	

圖書	四四頁
蠶繭配付規程	四三頁
本校土地及建物	四三頁
圖書及器具器械標本	四三頁
蠶繭配付規程	四三頁
本校土地及建物	四三頁
圖書及器具器械標本	四三頁
圖書	四四頁

明治
43.12.1
内交

五 經 (二) 器具器械及標本

(一) 創立以來各年度經費豫算額
(二) 明治四十二年度經費豫算

六 職 員

七 生 徒

(一) 生徒入退學區別表

(二) 生徒年齡表

(三) 入學者年齡表

(四) 入學者府縣郡市別表

(五) 生徒府縣郡市別表

(六) 生徒學年別氏名表

八 卒 業 生

(一) 卒業生府縣郡市別表

① 本 科

四四頁

四六頁

四七頁

四九頁

五〇頁

五一頁

五一頁

五二頁

五三頁

五五頁

五八頁

② 別科及講習科

(二) 卒業生卒業后狀況一覽

① 本 科

② 別科及講習科

(三) 卒業生氏名

① 本 科

② 別 科

③ 講 習 科

九 桑 園

(一) 桑園ノ概況

① 桑園反別

② 桑園ノ土質

③ 桑樹ノ病害

(二) 桑樹ノ種類

(三) 耕耘及施肥

● 目 次

六〇頁

六三頁

六六頁

六七頁

七九頁

八九頁

九六頁

九六頁

九六頁

九六頁

九七頁

九七頁

九七頁

九九頁

三

(四) 生徒ノ桑樹栽培實習	九九頁
十 生徒 養蠶實習	一〇〇頁
(一) 春 蠶 實 習	一〇二頁
(二) 蠶種ノ製造及成績	一〇三頁
(三) 秋 蠶 實 習	一〇五頁
(四) 養蠶期中ノ氣象	一〇七頁
十一 生徒 稻作實習	一二七頁
十二 蠶業試験成績	一三九頁
(一) 外國蠶種發育經過調査	一四二頁
(二) 發蛾日ヲ異ニセル蠶兒ト繭質トノ關係試験	一四九頁
(三) 柘葉給與試験	一五五頁
(四) 催 青 試 験	一六二頁

附 蠶業學校成務會々則 蠶業學校同窓會規則
蠶業學校手廻圖

兵庫縣立蠶業學校第十一年報

第一 沿革 畧

兵庫縣立蠶業學校ハ明治三十一年四月一日ヲ以テ創立ス而シテ其敷地建物等ハ元兵庫縣簡易蠶業學校ノ物件ヲ購用セリ今其ノ初メニ沂ノ之ヲ沿革ノ概要ヲ記ス

一 明治三十年四月一日ヲ以テ兵庫縣簡易蠶業學校ヲ創立ス其校舍ハ但馬國養父郡八鹿村ニアリ全三月校舍及圖書室其他附屬建物ヲ新築ス

二 四月一日鳥取縣簡易農學校教諭重松達一 本校校長ニ石川潔助教諭ニ村田幾次書記ニ任セラル

三 四月六日山本嘉藏助教諭ニ任セラル

四 四月九日今井保一 郎教諭兼舍監ニ任セラル

五 五月廿八日井上伍鹿助教諭ニ任セラル

六 五月卅日木村次郎書記兼助教諭ニ任セラル

七 七月十八日校長重松達一 郎 御眞影拜受ノ爲メ上縣廿一日歸校全日 御眞影奉戴式ヲ舉行ス

八 九月三日開校式ヲ舉行ス當日日本縣知事代理トシテ武田書記官臨場セラル全日別科生卒業證書授與式ヲ舉行ス卒業生十七人ヲ出セリ

九 九月廿日大森本縣知事臨校セラル

十 十一月九日助教諭石川潔依願免職セラル

十一 十一月十五日書記村田幾次依願免職セラル

十二 十一月廿五日助教諭山本嘉藏鳥取縣へ出向ヲ命セラル全日豫備陸軍歩兵少尉正八位山口篤藏助教諭ニ任セラル

一 明治三十一年四月三十日片山長九郎助教諭ニ任セラル

二 五月五日井上三雄書記ニ任セラル

三 五月寄宿舍及食

堂炊事場其他附屬建物ヲ新築ス○七月十五日校長重松達一郎依願免職セラル○全日今井保一郎校長事務取扱ヲ命セラル○全九月廿一日鳥取縣東伯郡簡易蠶業學校長中村鼎本校長ニ任セラル○全日今井保一郎校長事務取扱ヲ免セラル○全十二月九日助教諭片山長九郎依願免職セラル○卅二年二月十四日助教諭山口篤藏依願免職セラル○二月廿日鬼頭濱太郎助教諭ニ任セラル○二月廿三日田路寅造助教諭心得兼書記心得ニ任セラル○三月廿五日書記井上三雄本職ヲ免セラル○三月廿七日小西知止書記ニ任セラル○三月卅一日本縣知事代理武田書記官臨場第一回本科卒業證書授與式ヲ舉行ス卒業生六人ヲ出セリ全日兵庫縣簡易蠶業學校廢止セラル

一明治三十二年四月一日兵庫縣蠶業學校ヲ設置ス舊簡易蠶業學校本科卒業生六名ハ廢置ニ依リ蠶業學校第三學年ニ編入セリ○全日簡易蠶業學校職員ハ何レモ蠶業學校職員ニ任命セラル○全日文部省告示第十七號ヲ以テ徵兵令第十三條ニ依リ中學校ノ學科程度同等以上ト全日全告示第十八號ヲ以テ文官任用令第二條第三ニ依リ官立公立中學校同等以上ト認定ノ旨告示セラル本科生ニ限ル○全日野々村啓三郎助教諭ニ任セラル○全五月十三日佐野清彦助教諭ニ任セラル○五月廿日安藤安教諭ニ任セラル○七月二十八日助教諭兼倉監佐野清彦依願免職セラル○七月卅一日本縣知事代理トシテ床次書記官臨場第一回別科生卒業證書授與式ヲ舉行ス卒業生五人ヲ出セリ全日長祐書記ニ任セラル○九月十四日青木小一郎助教諭ニ任セラル○十月運動場並ニ外柵ヲ建設ス○十一月三日本校秋季大運動會ヲ舉行ス○十一月十六日書記長祐依願免職セラル全日山榊喜一郎書記ニ任セラル○十二月九日藁小屋蠶室蠶糞置場ヲ増築ス○三十三年一月十日三學年生五名丹波福知山ヲ經テ京都

並福井地方へ修學旅行トシテ出發同月十七日歸校○二月十三日教諭兼倉監今井保一郎依願免職セラル○三月三十一日知事代理トシテ小森視學官臨場第一回本科生卒業證書授與式ヲ舉行ス卒業生五人ヲ出セリ

一明治卅三年四月十一日永田尙興教授囑託ヲ命セラル○全月全日橋本立夫教諭ニ任セラル○全月十六日助教諭鬼頭濱太郎全青木小一郎全野々村啓三郎教諭ニ助教諭心得田路寅造助教諭ニ任セラル○五月七日校長中村鼎茨城縣農事試驗場長ニ轉任ヲ命セラル○全月全日教諭安藤安校長ニ任セラル○五月廿一日谷榮夫教諭ニ任セラル○五月卅一日助教諭田路寅造教諭ニ教授囑託永田尙興助教諭ニ任セラル○六月本校内ニ成啓會ヲ開設ス○九月生徒學資金保管出納規程ヲ制定シ全月ヨリ實施セリ○十月三日本校全生徒鳥取並伯耆國倉吉地方へ修學旅行トシテ出發全月九日歸校○十月 日秋季大運動會ヲ舉行ス○卅四年二月七日書記山榊喜一郎茨城縣農事試驗場書記兼技手ニ轉任ヲ命セラル○全月全日今井虎藏書記ニ任セラル○三月特別教室並ニ小使室ヲ増築ス○三月二十九日服部知事並ニ小森視學官臨場第二回本科生並別科生卒業證書授與式ヲ舉行ス本科卒業生十人別科卒業生四人ヲ出セリ

一明治三十四年四月十一日關口宗一助教諭ニ任セラル○五月十九日教諭橋本立夫全谷榮夫妻任教諭ニ任セラル○五月十五日教諭野々村啓三郎茨城縣農事試驗場技手ニ轉任ヲ命セラル○七月廿三日服部知事臨場第三回別科卒業證書授與式ヲ舉行ス別科卒業生十一人ヲ出セリ○十月十七日秋季大運動會ヲ舉行ス○十月廿一日日本校第一學年生徒卅七名神戸地方へ三二學年生徒廿一名京都地方へ修學旅行トシテ出發全月廿七日歸校○十二月

殺蟻場並飲用水道ヲ新設ス全月食堂ヲ増設ス○十二月廿日日本縣告示第四三二號ヲ以テ本校規程第十一條第一項年齡滿廿年ヲ滿十七年ト改正セラル○明治卅五年三月廿九日知事代理トシテ小森視學官臨場第三回卒業證書授與式ヲ舉行ス卒業生十九人ヲ出ス○三月卅一日助教諭永田尙興舍監ニ兼任セラル

一明治三十五年四月五日校長安藤安靜岡縣立農學校長ニ轉任ヲ命セラル○全日教諭谷榮夫校長事務取扱ヲ命セラル○四月十四日本科生三十七名別科生十名入學ヲ許ス○四月廿一日教諭橋本立夫鳥取縣農事試驗場技師ニ轉任ヲ命セラル○四月廿六日養蠶ノ實地練習ノ爲メ修學旅行トシテ指導教師田路寅造附添本科生第三年級九名別科生九名養父郡高柳村ノ内八木村千葉胤藏蠶室ニ出張六月十四日實習終了セシニ付歸校○五月六日福嶋縣立蠶業學校教諭川添龜之進校長ニ任セラル○全日教諭谷榮夫校長事務取扱ヲ免セラル○五月二十三日山口縣玖珂郡農事試驗場長境震太郎教諭ニ任セラル○六月十二日助教諭關口宗一教諭ニ任セラル○七月廿五日知事代理トシテ山田縣屬臨場第四回別科生卒業證書授與式ヲ舉行ス卒業生七人ヲ出ス○十月十七日秋季運動會ヲ舉行ス○十一月四日本校全生徒京都府下舞鶴宮津地方へ修學旅行トシテ出發全月八日歸校○三十六年三月十一日寄宿舎並付屬建物及器械修繕場ヲ新築ス○三月廿日校長川添龜之進從七位ニ叙セラル○三月二十九日知事代理トシテ小森視學官臨場本科第四回卒業證書授與式ヲ舉行ス卒業生十九人ヲ出ス

一明治三十六年四月十二日本科生四十名入學ヲ許ス○四月十三日第二第三學年生徒二十六名第五回內國勸業博覽會覽會觀覽ノ爲メ修學旅行トシテ出發全月十九日歸校○四月二十二日朝鮮人孔在魯養蠶見習トシテ入學ス○五月十五日兵庫縣令第四十六號ヲ以テ學則改正セラル○五月廿三日第一學年生徒十三名第五回內國勸業博覽會觀覽ノ爲メ修學旅行トシテ出發全廿八日歸校○六月十二日第四回卒業試驗欠席者今井恕之、田中直一、株本秀繁ニ試験ノ上卒業證書ヲ授與セリ○十一月十三日播州ノ野ニ施行ノ陸軍特別大演習及大觀兵式拜觀ノ爲メ全生徒修學旅行トシテ出發全十七日歸校○十二月一日別科生二十八名入學ヲ許ス○三十七年一月十四日學校醫小出龜雄依願解職○全日山崎一郎學校醫ヲ囑託セラル○三月三十一日知事代理トシテ小森視學官臨場本科並別科第五回卒業證書授與式ヲ舉行ス卒業生本科三十三名別科二十二名ヲ出ス

一明治三十七年四月十一日本科生卅八名別科生七名入學ヲ許ス○四月十二日教諭青木小一郎石川縣立工業學校教諭ニ任セラル○四月十八日助教諭兼舍監永田尙興教諭兼舍監ニ任セラル○四月廿八日教諭井上伍鹿委任教諭ニ任セラル○五月廿日大場信吾本校教諭ニ任セラル○七月廿三日別科第六回卒業證書授與式ヲ舉行ス卒業生六名ヲ出ス○八月五日教諭谷榮夫正八位ニ叙セラル○八月廿六日本校蠶室ニ於テ養父郡農會蠶、蠶種品評會ヲ開キ九月三日閉會ス○十月廿五日教諭谷榮夫願ニ依リ本職ヲ免セラル○十月廿六日修學旅行トシテ全生徒職員附添養父郡妙見山ニ登山即日歸校○十一月廿日養父郡高柳村ノ内朝倉村川筋ニ於テ發火演習ヲ舉行ス○十二月一日別科生十八名入學ヲ許ス○十二月十九日助教諭兼舍監藤田忠次陸軍ニ召集セラル○十二月二十七日教諭境震太郎休職ヲ命セラル○卅八年一月十四日養父郡高柳村ノ内朝倉川筋ニ於テ發火演習ヲ舉行ス○二月一日休職香川縣木田郡立農學校校長兼教諭山越金治郎本校教諭ニ任セラル○二月廿四日永澤嘉市本校助教

論ニ任セラル○三月六日兵庫縣令第九號ヲ以テ學則改正セラル○三月廿八日教諭大場信吾願ニ依リ本職ヲ免セラル○三月卅一日知事代理トシテ下條視學官臨場本科第六回別科第七回卒業證書授與式ヲ舉行ス卒業生本科廿四名別科生十五名ヲ出ス

一明治卅八年四月一日井上改平助教諭ニ任セラル○四月五日助教諭永澤嘉市舎監ニ兼任セラル○四月七日教諭田路寅造美方郡農事巡回教師ニ轉任ヲ命セラル○四月十二日本科生卅名別科生三名入學ヲ許可ス○四月十八日書記小西知止依願退職ヲ命セラル○五月十九日中村清次郎教諭ニ任セラル○五月廿七日田淵理一郎書記ニ任セラル○六月十日服部知事臨校セラル○七月廿五日長官代理トシテ稻田縣視學臨場第八回別科修了證書授與式ヲ舉行ス修了生二名ヲ出ス○七月廿九日高橋義輝助教諭ニ任セラル○八月十五日本校禮堂ニ於テ第四回但馬蠶業共進會開會全廿六日閉會ス○八月廿二日津田尙人教諭ニ任セラル○八月卅日教諭井上伍鹿依願退職ヲ命セラル○九月卅日教諭中村清次郎舎監ニ兼任セラル○十月廿六日校長川添龜之進山梨縣立農林學校長ニ轉任ヲ命セラル○十月卅日事務官下條幸次郎校長事務取扱ヲ命セラル○十一月三日本校秋季大運動會ヲ舉行ス○十二月一日別科生八十一名入學ヲ許可ス○十二月十四日事務官下條幸次郎校長事務取扱ヲ免セラル○全日事務官永井環校長事務取扱ヲ命セラル○卅九年一月十二日神奈川縣津久井郡立蠶業學校長藤嶋盈文本校々長ニ任セラル○全日事務官永井環校長事務取扱ヲ免セラル○三月五日兵庫縣令第四號ヲ以テ學則改正セラル○三月卅一日教諭山越金治郎休職ヲ命セラル○全日助教諭井上改平教諭ニ任セラル○全日長官代理トシテ高木事務官

臨場本科第七回別科第九回卒業證書授與式ヲ舉行ス卒業生廿八名修了生七十二名ヲ出ス

一明治卅九年四月十二日書記田淵理一郎依願退職ヲ命セラル○全日成田猪三雄書記ニ任セラル○四月廿日乙種本科生卅三名別科生廿一名入學ヲ許可ス當別科ハ恰モ農桑多忙ノ季節ナルヨリ從來志願者尠キ憾アリ今回ノ如キ多數ノ應募者アリシハ稀ナリ○四月ヨリ着手シ學校園ヲ設備ス其目的校内ニ成ルヘク多クノ趣味ヲ添ヘ以テ生徒ヲ慰安シ同時ニ園藝實習ノ一助トナシ且ツ博物教授ノ材料ト其ノ實地適用ヲ行ハシムルニアリ設備ノ方法ハ主トシテ休暇又ハ課業以外ニ於ケル生徒ノ勞働ヲ利用シ種苗購入其他經費ノ大部分ハ寄宿舎生徒ノ炊事費殘余積立金ヨリ支出セリ現今既ニ數十種ノ花卉ヲ栽培スルニ至レリ構造ノ方法ハ其位置教室ト疊室トノ中間空地ヲ利用セシテ以テ建築物ト對象上歐洲式ノ整床花壇トナシ兩端ニ圓形ノ花壇ヲ設ケ中間ハ長方形ニシテ其ノ中央ニ貯水池ヲ設ケ水草ノ培養及ヒ灌溉ニ便ス全体ノ面積百四十四坪通路ヲ除キタル床地ノ面積ハ八十七坪ナリ之レニ接近シ約十五坪ノ果樹園ヲ設ケタリ○五月十一日福士進教諭ニ任セラル○五月廿九日教諭兼舎監井上改平依願兼職ヲ免セラル○全日教諭鬼頭濱太郎舎監ニ兼任セラル○六月十八日教諭鬼頭濱太郎奏任教諭ニ任セラル○七月廿八日長官代理トシテ渡邊屬兼視學臨場第十回別科修了證書授與式ヲ舉行ス修了生十八名ヲ出ス○七月寄宿舎取締規定ヲ家族の旨趣ニ基キ改正シ生徒ノ本分ヲ發揮シ品性ヲ陶冶スルヲ以テ目的トナシ專ラ自治公德勸勉力行時間嚴守清潔等ヲ守ラシムルコトニ勉ム全舎内ニ風紀係ヲオキ風紀ノ取締ニ任セシメ應接室ヲ設ケテ父兄及友人ノ應接ニ便ナラシメ圖書閱覽室ヲ設ケ雜誌新聞其他參考書ヲ備ヘ成ルヘ

ク有益ニ時間ヲ費サシムルコトニナセリ○七月生徒心得ヲ規定シタリ○八月從來生徒ノ多數ハ夏期休業中無益ニ空過スルモノ多キヲ遺憾トシ在學生一同ニ秋蠶種十蛾分ツ、配付シ該休業中各自宅ニ於テ之レヲ飼育セシメシニ何レモ相當ノ成績ヲ收メ(十蛾ニ付平均收繭七升五合)タリ其收繭中ヨリ五合ツ、出品セシメ上級生ヲ審査員ニ下級ヒヲ助手トナシ教師監督ノ下ニ審査ヲ遂ケシニ其成績初身者ノ飼育セシ繭繭トシテハ先ツ佳良ト評シテ可ナリ九月末日長官代理トシテ渡邊兼視學臨場褒賞授與式ヲ舉行ス(出品會ノ費用ハ出品繭ヲ賣却シテ之ニ充テタリ)同時ニ生徒ノ父兄會ヲ開催シ出品繭ハ勿論其他參考品ヲ陳列シテ父兄ハ勿論一般營業家ニ縦覽セシメタリ是一些事ナリト雖モ直接暑中無意味ニ空過スルノ弊ヲ去リ勞働ノ趣味及ヒ相當ノ報酬アルコトヲ覺リ且ツ共同ノ利アリテ必要ナルコト等ヲ了解スルモノ、如シ今後繼續實行センゴトヲ期ス○十月一日校長藤嶋盈文全國實業學校長會議臨席ノ爲メ上京ヲ命セラル○十一月五日學則ヲ改正シ乙種本科入學資格中學力ノ程度ヲ高メテ高等小學二學年修業以上トシ且ツ從來ノ冬期別科ヲ講習科トシ農閑ヲ利用シ十二月、一月ノ二ヶ月間養成トナシ夏期別科ノ修業期ヲ六ヶ月ニ延長シ成ルヘク完全ニ養成スルコト、ナセリ而シテ十一月中講習科生ヲ募集セシニ無慮八十有余名アリ選拔試驗ノ結果遂ニ設備ノ許ス限リ四十五名ヲ收容シテ養成セリ生徒ノ多數ハ多少蠶業ニ經驗アルモノ、ミ年齡ノ如キ平均廿四歳以上何レモ活動盛リノ人物ニシテ將來有望ナリ○十一月十一日秋期大運動會ヲ舉行ス○十二月卅一日教諭福士進依願退職ヲ命セラル○四十一年一月卅一日長官代理トシテ高木事務官臨場第一回講習科修了證書授與式ヲ舉行ス修了生四十一名ヲ出ス

○二月一日別科生三十名試験ノ上入學ヲ許可ス○二月十九日古屋永昌教諭ニ任セラル○二月廿八日教諭兼舍監中村清次郎依願兼職ヲ免セラル全日教諭古屋永昌全監ニ兼任セラル○三月廿六日長官代理トシテ安間縣觀學臨場第八回本科卒業證書授與式ヲ舉行ス卒業生廿九名ヲ出ス

一明治四十年四月九日教諭津田尙人休職ヲ命セラル○全月十日教諭中村清次郎鳥取縣へ出向ヲ命セラル○全月十一日乙種本科生四十五名入學ヲ許可ス○全月十九日教諭中村清次郎鳥取縣技手ニ轉任ヲ命セラル○全月二十日神戸測候所八鹿臨時測候所本校内ニ開設ス○全月廿八日服部知事臨校セラル○全月廿九日休職教諭津田尙人依願退職ヲ命セラル○五月十六日校長藤嶋盈文關西府縣農業學校長會列席並ニ蠶糸業視察ノ爲三重縣へ出張ヲ命セラル○全月十八日西川新松教諭ニ任セラル全日助教諭高橋義輝教諭ニ任セラル○全月廿一日書記成田猪三雄依願退職ヲ命セラル○六月五日教諭關口宗一京都府へ出張ヲ命セラル○全月十日神戸測候所八鹿臨時測候所ヲ閉鎖ス○全月廿九日新田猛治書記ニ任セラル○七月一日文部省視學官澤村眞視察ノ爲メ來校セラル○全月廿五日飾磨郡農業技手大佛修一教諭ニ任セラル○全月三十日長官代理トシテ田中事務官臨場第十一回別科修了證書授與式ヲ舉行ス修了生廿六名ヲ出ス○八月十日不破内務部長校務視察トシテ來校セラル○全月十二日教諭井上政平熊本縣へ出向ヲ命セラル○全月十九日教諭井上政平熊本縣立熊本農業學校教諭ニ轉任ヲ命セラル○八月前年ノ例ニ依リ暑中休暇ヲ利用シ生徒ヲシテ各自宅ニ於テ秋蠶ヲ飼育セシムルコト、ナセシニ既ニ幾分ノ趣味ヲ感セシモノ、如ク生徒ノ希望ニヨリ前年ノ二倍余即チ廿八蛾宛配付セシニ何レモ

相應ノ成績ヲ得總收額十八石九斗ヲ收メ一人ノ平均收額金額拾參圓六拾五錢ヲ得タリ更ニ收額中ヨリ五合ツ、出品セシメ品評會ヲ開催シ父兄ハ勿論一般ノ縱覽ニ供セシメ前年ト同一ナレハ省略ス○十月十日養父郡西谷村ノ内藏垣村上垣守國翁百年祭ハ職員生徒參列ス○全月十七日秋季大運動會ヲ舉行ス○十一月十一日教諭西川新松願ニ依リ本職ヲ免セラル全日埋橋傳造教諭ニ任セラル○全月十四日校長藤島盈文校務調査及蠶業視察ノ爲メ京都府滋賀縣へ出張ヲ命セラル○十一月中運動場ノ周邊ニ桑樹ヲ移植シ且ツ桑園ノ一部分(約二畝步)ヲ割キテ農場ヲ設ケ蔬菜栽培ノ實習地トナセリ○十二月物置、堆肥舎、養蠶用火爐場並ニ校舎敷地排水溝ヲ増築セリ○十二月二日講習科生試験ノ上四十三名入學ヲ許可ス○十二月八日成啓會第二回秋蠶繭品評會褒賞授與式ヲ舉行ス○全月十九日教諭大佛修一願ニ依リ本職ヲ免セラル○四十一年一月廿九日第二回講習科修了証書授與式ヲ舉行ス修了生卅七名ヲ出ス○二月一日別科生試験ノ上三十名入學ヲ許可ス○二月十三日稻葉可吉教諭ニ任セラル○二月廿二日文部省告示第四十五號ヲ以テ甲種本科ヲ四十二年四月ヨリ廢止ノ件認可セラル○三月五日兵庫縣令第二十號ヲ以テ學則ヲ改正シ女子部ヲ加設セラル○三月兵庫縣フォルマリン液檢定所ヲ本校内ニ設置ス○全月廿五日甲種本科第九回乙種本科第一回卒業証書授與式ヲ舉行ス卒業生甲種本科生廿三名乙種本科生廿三名ヲ出ス

一明治四十一年四月兵庫縣原蠶種試驗場ヲ本校内ニ設置ス○全月六日日本科男子部生徒卅六名及女子部生徒卅二名入學ヲ許可ス○全月女子部寄宿舎取締規程並ニ生徒心得ヲ規定ス○全月蠶室全部模樣替修繕ヲナス○全月三十日教諭埋橋傳造休職ヲ命セラレ池澤理平教授ヲ囑託セラル○全日神戸測候所八鹿臨時觀測所ヲ本校内ニ開設ス○五月運動場ノ北隅ニ溜池ヲ掘リ非常災害ノ用水ニ供ス○六月十日神戸測候所八鹿臨時觀測所ヲ閉鎖ス○六月校舎ノ兩側並ニ運動場ノ周圍ニアル柵ヲ取り除キ代ユルニ桑園ニ接近セル方面ヲ除キ悉ク枳殼ヲ栽培ス○全月廿四日西村熊次郎ヨリ八鹿村ノ内上網場村字上川原桑園千九百八十七坪全附屬地二百二十坪ヲ購入ス○全月廿五日教諭囑託池澤理平囑託ヲ解カル○七月二十日山崎繁教諭ニ任セラル○全月廿四日教諭兼舎監水田尙興休職ヲ命セラレ春海浩平教諭兼舎監ニ任セラル○全月三十日別科第十二回修了証書授與式ヲ舉行ス修了生廿七名ヲ出ス○八月前年ノ例ニヨリ暑中休暇ヲ利用シ生徒ヲシテ各自宅ニ於テ秋蠶ヲ飼育セシメ其收額中ヨリ一升ツ、ヲ出品セシメ品評會ヲ開催スルコト、ナシタリ○全月十九日教諭古屋永昌蠶業上調査ノ爲メ京都蠶業講習所へ出張ヲ命セラレ全月廿三日出發廿七日歸校○十月三日教諭關口宗一奏任教諭ニ昇任セラル○全月十七日秋季大運動會ヲ舉行ス○十一月三日本校成啓會第三回秋蠶繭品評會褒賞授與式ヲ舉行ス當日出品繭並ニ生徒成績品ヲ陳列シ父兄ハ勿論一般ノ縱覽ニ供セリ○全月十六日觀艦式拜觀ノ爲メ職員七名本科一二年級生徒四十三名ヲ引率シ神戸市へ向ケ出發全月十八日歸校ス○十二月一日講習科生徒四十六名入學ヲ許可ス○全月五日教諭關口宗一蠶業上調査並ニ教授法視察ノ爲メ岡山縣へ出張ヲ命セラレ全月十四日出發十八日歸校ス○全月廿一日武村太右衛門ヨリ八鹿村ノ内上網場村字上川原桑園千五百六十五坪ヲ購入ス○校長藤島盈文蠶業並ニ學事視察ノ爲メ東京府靜岡縣へ出張ヲ命セラレ四十二年一月八日出發全十四日歸校ス○

111
全月廿九日長官代理トシテ佐々木縣屬臨場講習科第三回修了證書授與式ヲ舉行ス修了生四十二名ヲ出ス○二月一日別科生徒廿六名入學ヲ許可ス○全月五日校長藤島盈文願ニ依リ本職ヲ免セラレ教諭關口宗一校長ニ任セラレ○全日兵庫縣告示第五十八號ニ依リ兵庫縣ノオルマリン液檢定所ヲ廢止セラレ○三月廿六日長官代理トシテ田中事務官臨場本科男子部第十回女子部第一回卒業證書授與式ヲ舉行ス卒業生男子部廿九名女子部廿九名ヲ出ス

一明治四十二年四月一日鈴木純一教諭ニ任セラレ○全月十日本科男子部生徒四十名女子部生徒十四名入學ヲ許可ス○全月十四日助教諭佐藤ハツミ宮城縣へ出向ヲ命セラレ○全月廿九日神戸測候所八鹿臨時觀測所ヲ本校内ニ開設ス○五月六日日本科男子部生徒一名入學ヲ許可ス○教諭鈴木純一農業調査ノ爲メ京都農業講習所へ出張ヲ命セラレ六月五日出發全月九日歸校ス○六月十日神戸測候所八鹿臨時觀測所ヲ閉鎖ス○七月五日兵庫縣令第卅五號ヲ以テ學則ヲ改正セラレ○全月卅一日第十三回別科修了證書授與式ヲ舉行ス修了生廿一名ヲ出ス○教諭山崎繁齋調査ノ爲メ京都農業講習所へ出張ヲ命セラレ九月六日出發全月十日歸校ス○九月食堂模範替修繕ヲナス○十月八日第四回成會秋禮贈品評會褒賞授與式ヲ舉行ス○全月九日服部知事臨校セラレ○十一月第一寄宿舍模範替修繕ヲナス○十二月一日講習科生三十名入學ヲ許可ス○全月三日講習科生一名入學ヲ許可ス○明治四十三年一月十三日教諭兼舍監鬼頭濱太郎休職ヲ命セラレ○全月十六日洋燈室並ニ渡廊下ヲ新築ス○全月廿九日第四回講習科修了證書授與式ヲ舉行ス修了生廿八名ヲ出ス○二月一日別科生徒廿九名入學ヲ

許可ス○全日教諭高橋義輝舍監ニ兼任セラレ○全月十四日喜田專吉教諭ニ任セラレ○三月廿六日長官代理トシテ佐々木縣屬臨場本科男子部第十一回女子部第二回卒業證書授與式ヲ舉行ス卒業生男子部廿一名女子部十三名ヲ出ス

○第一二 學則及諸規則

(一) 兵庫縣立農業學校學則

第一章 目的 教科目

第一條 本校ハ明治三十二年文部省令第九號農業學校規定ニ從ヒ乙種ノ程度ニ據リ農業ニ從事スルモノニ須要ナル教育ヲナスヲ以テ目的トス

第二條 本校ニ本科(男子部女子部)別科及講習科ヲ置ク

第二章 修業年限・授業日數

第三條 修業年限ハ本科男子部二ヶ年女子部一ヶ年別科六ヶ月講習科二ヶ月トス

第四條 本科ノ授業日數ハ每學年二百日以上トス但シ傳染病豫防ノ爲メ必要ナル其非常ノ變災又ハ特別ノ事情ニ據リ臨時休業ヲ爲ス場合ニ於テハ此限ニアラス試験及修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セズ

第三章 學年學期 休業日

第五條 本科ノ學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
 別科ノ修業期ハ二月一日ニ始マリ七月卅一日ニ終リ講習科ノ修業期ハ拾二月一日ニ始マリ翌年一月三十一日ニ終ル

第六條 學年ヲ分チテ左ノ三期トス

- 第一學期 四月一日ニ始マリ七月三十一日ニ終ル
- 第二學期 八月一日ニ始マリ拾二月三十一日ニ終ル
- 第三學期 一月一日ニ始マリ三月三十一日ニ終ル

第七條 休業日ハ左ノ如シ但實習ノ都合ニ據リ休業セサルコトアルヘシ

- 一 祝日 大祭日
- 一 日曜日
- 一 春期休業 (自四月一日至四月七日)
- 一 夏期休業 (實習ノ都合ニ依リ四週間以内)
- 一 冬期休業 (自拾二月廿五日至翌年一月七日)
- 一 學校創立紀念日

第四章 學科目 學科程度及每週授業時數

第八條 本科男子部ノ學科目ハ修身、國語、數學、理科、體操、英語、蠶體解剖生理及病理、養蠶、製絲、桑樹栽培、氣候、農業大意、及實習トシ其程度及每週授業時數左ノ如シ

學科目	學年	
	第一學年	第二學年
修身	人倫道德ノ要旨	同
國語	講讀、作文、習字	同
數學	算術	同上幾何ノ初步
理科	理化大意 博物大意	同上
體操	普通體操 兵式體操	同上
英語	讀方、譯解、習字	同上作文
蠶體解剖生理病理	蠶體解剖	蠶體生理病理
養蠶	飼育法	同上製種法
製絲		同上製法
桑樹栽培	栽桑法	同上
氣候		同上
農業大意	通論	各論

實	習	顯微鏡、養蠶、桑園	不定時	同	上	不定時
計			二七			二七

第九條 本科女子部ノ學科目ハ修身、國語、算術、理科、蠶體解剖及生理病理、養蠶、製絲、農業大意、家事、裁縫、及實習トシ其程度及每週授業時數左ノ如シ

學	科	目	程	度	每週授業時數
學	修身	人倫道德ノ要旨			一
國	國語	講讀、作文			三
算	算術	筆算、珠算			三
理	理科	理化、博物、害虫、害菌大意			三
蠶	蠶體解剖生理及病理	蠶體解剖、生理及病理			四
養	蠶	飼育法、製種法			三
製	製絲	製絲			二
農	農業大意	栽桑、園藝			二
家	家事	家事經濟、育兒、割烹			二

裁	縫	通常衣服裁方、縫方、繕方	四
實	習	顯微鏡、養蠶	無定時
計			二七

第十條 別科及講習科ノ學科目及每週授業時數左ノ如シ

別	科	目	科	習	科	目	科	習	科	目	每週授業時數
學	修身	修身	學	修身	學	修身	學	修身	學	修身	一
理	理科大意	理科大意	理	理科大意	理	理科大意	理	理科大意	理	理科大意	六
裁	裁桑法	裁桑法	裁	裁桑法	裁	裁桑法	裁	裁桑法	裁	裁桑法	四
養	養蠶	養蠶	養	養蠶	養	養蠶	養	養蠶	養	養蠶	八
蚕	蚕體解剖、生理、病理	蚕體解剖、生理、病理	蚕	蚕體解剖、生理、病理	蚕	蚕體解剖、生理、病理	蚕	蚕體解剖、生理、病理	蚕	蚕體解剖、生理、病理	七
製	製絲法	製絲法	製	製絲法	製	製絲法	製	製絲法	製	製絲法	二
農	農業大意	農業大意	農	農業大意	農	農業大意	農	農業大意	農	農業大意	二
顯	顯微鏡實習	顯微鏡實習	顯	顯微鏡實習	顯	顯微鏡實習	顯	顯微鏡實習	顯	顯微鏡實習	二

養 園 實 習	不定時	
桑 園 實 習	不定時	
計	三〇	三〇

第五章 入學退學 懲戒

第拾一條 本科生徒入學ノ時期ハ每學年ノ始ヨリ三十日以内トス但シ欠員アル時ハ臨時入學ヲ許スコトアルヘシ

第拾二條 削除

第拾三條 本科ニ入學ヲ許スヘキモノハ年齡拾四年以上ニシテ修業年限二箇年ノ高等小學校ヲ卒業シタル者修業年限三箇年ノ高等小學校第二學年ノ課程ヲ修了シタル者舊小學校令ニ依ル修業年限四ヶ年ノ高等小學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

第拾四條 別科及講習科ニ入學ヲ許スヘキモノハ年齡拾七年以上ノ男子ニシテ修業年限六箇年ノ尋常小學校ヲ卒業シタル者舊小學校令ニ依ル高等小學校第二學年ノ課程ヲ修了シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有シ現ニ養蠶ノ業ニ從事セル者又ハ曾テセシコトアル者タルヘシ

第拾五條 本科入學志願者中前二條ニ規定セル卒業者又ハ修了者ニアラサル者ニ就テハ試験ニ據リテ其學力ヲ檢定ス

入學志願者ノ數入學ヲ許スヘキ人員ニ超過スルトキハ試験ニ據リテ入學者ヲ選拔ス

第拾六條 本科生徒ニシテ退學シタルモノ一ヶ年以内ニ再入學ヲ志願シタルトキハ試験ニ據ラシテ原學年以下ノ學年ニ入學ヲ許スコトアルヘシ

第拾七條 入學志願者ハ父兄ノ連署ヲ以テ左式ノ願書及履歷書ヲ差出スヘシ但シ第拾三條第拾四條ニ規定セル卒業者又ハ修了者ハ當該學校長ノ證明書ヲ添付スヘシ

入 學 願

私儀御校何科へ入學志願ニ付御許可相成度履歷書(第拾三條第拾四條ニ規定セル卒業者又ハ修了者ニアリテハ及證明書ノ四字ヲ挿入スヘシ)相添へ此段相願候也

原 籍 道府縣郡市町村番地
寄 留 同 前
族 籍 職業戶主又ハ誰男女又ハ兄弟姉妹 氏 名

原 籍 道府縣郡市町村番地
寄 留 同 前
族 籍 職業父兄(本人トノ續柄ヲ記入スヘシ) 氏 名

年 月 日 年 月 日 生

兵庫縣立蠶業學校長 某 殿
○ 學 則

履 歷 書

學 業

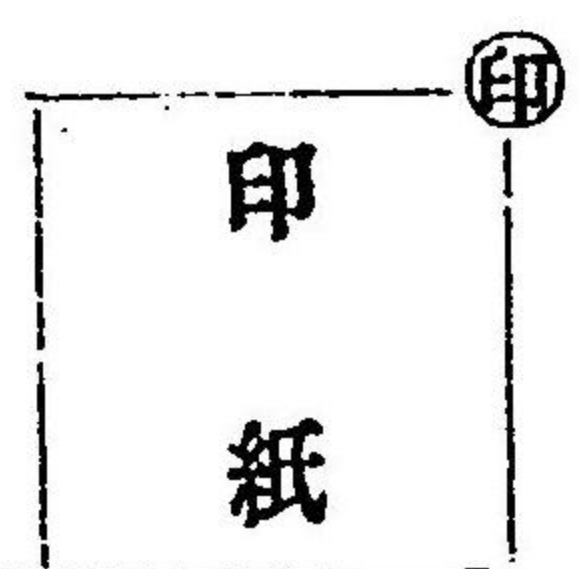
- 一 何年何月何地何學校ニ入學何年何學年修業又ハ卒業
- 一 何年月ヨリ何某ニ就キ何學科何々マテ修業
- 賞 罰
- 一 何年月何所ニ於テ何事ニツキ賞罰

年 月 日

第拾八條 入學許可ヲ受ケタル者ハ保證人二人ヲ定メ左式ノ在學證書ヲ學校長ニ差出スヘシ

在 學 證 書

(用紙美濃紙)



原籍 道府縣郡市町村番地

寄留 同 前

族籍 職業戶主又ハ戶主誰男女又ハ兄弟姉妹 名

年 月 日 生

右ノ者今般御校へ入學御許可相成候ニ付テハ本人ニ關スル一切ノ事件拙者共引受ケ可申候據テ證書差出候也

原籍 道府縣郡市町村番地

寄留 同 前

族籍 保證人 氏 名

原籍 道府縣郡市町村番地

寄留 同 前

族籍 父兄(本人トノ續柄ヲ記入スヘシ) 名

保證人 氏 名

兵庫縣立農業學校長 某 殿

右保證人ハ成年者ニシテ當町村内ニ於テ獨立ノ生計ヲ營ム者ニ相違無之候也

年 月 日 町 村 長 氏 名

右某父兄(後見人若クハ親戚)某ハ當市町村内ニ於テ獨立ノ生計ヲ營ムモノニ相違無之候也

年 月 日 市 町 村 長 氏 名

第拾九條 保證人ハ成年者ニシテ獨立ノ生計ヲ營ミ其内ノ一人ハ本人ノ父兄又ハ後見人若シクハ親戚他ノ一人ハ學校所在地ヨリ一里以内ニ現住スルモノタルヘシ但シ學校長ニ於テ保證人ヲ不適當ト認メタルトキハ之ヲ

改メシムルコトアルヘシ

第二拾條 生徒又ハ保證人ニシテ轉居改印其他身上ニ異動ヲ生シタルトキハ速ニ其旨届出ツヘシ

第廿一條 學校所在地一里以内ニ現住スル保證人旅行セントスルトキハ相當代理人ヲ選ミ届出ツヘシ

第廿二條 保證人ニシテ第拾九條ニ規定セル資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ之ヲ定メ届出ツヘシ

第廿三條 生徒退學セントスルトキハ其事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

○ 學 則

第廿四條 學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命ス

- 一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三 引續キ一ケ年以上缺席シタル者
- 四 正當ノ事由ナクシテ引續キ一ケ月以上缺席シタル者

第廿五條 學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトアルヘシ

第六章 課程ノ修了及卒業ノ認定

第廿六條 本科ノ各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ム但シ正當ノ事由アリテ試験ニ缺席シタルモノニ對シテハ平素ノ學業ノ成績ノミヲ考查シテ之ヲ定ムルコトアルヘシ

試験ハ分チテ學期試験及學年試験トシ學期試験ハ第一學期及第二學期內ニ於テ之ヲ行ヒ學年試験ハ學年末ニ於テ之ヲ行フ但シ正當ノ事由アリテ試験ニ缺席シタル者ノ爲メニ特ニ追試験ヲ行フコトアルヘシ本科生ニ對シテハ國語、數學、英語、實習及體操科ノ試験ヲ行ハサルコトアルヘシ

第廿七條 本科ノ學科ヲ卒業セル者ニハ左式ノ卒業證書ヲ授與ス

卒業證書

族 籍

氏 名

年 月 日 生

右ハ本校成規ノ本科ヲ修メ其業ヲ卒ヘタリ據テ之ヲ證ス

年 月 日

兵庫縣立蠶業學校長氏名印

番 號

第廿八條 別科及講習科課程ノ修了ヲ認ムルニハ修業期限ノ終リニ於テ試験ヲ行ヒ其ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ム

定ム

第廿九條 別科及講習科ヲ修了セル者ニハ左式ノ修了證書ヲ授與ス

修了證書

族 籍

氏 名

年 月 日 生

右ハ本校成規ノ別科（講習科）課程ヲ修了セリ據リテ之ヲ證ス

年 月 日

兵庫縣立蠶業學校長氏名印

番 號

第三拾條 試験ニ關スル細則ハ學校長ノ定ムル處ニ依ル

第 七 章 授 業 科

第卅一條 本科生ハ在學中授業料金參拾錢ヲ納ムヘシ

但シ學校ノ休業全月ニ及フトキハ其ノ月ノ授業料ヲ徵收セス

第卅二條 授業料ハ毎月五日迄ニ收ムヘシ但一月四月ハ拾二日九月ハ拾五日迄ヲ納期トス

第卅三條 別科講習科生徒ハ授業料ヲ徵收セス

第 八 章 寄 宿 舍

第卅四條 寄宿舍ニ入合セントスル者ハ左記ノ在合證書ヲ差出スヘシ

在 合 證 書 (用紙美濃紙)

氏 名

右者今般御校寄宿舍へ寄宿致サセ候ニ付テハ御金則及時々ノ御命令堅ク相守ラセ可申候依テ證書差出候也

年 月 日 右 某

保 證 人 氏

同 氏 名 氏 名

名 氏 名

兵庫縣立醫業學校長 某 殿

第卅五條 寄宿舍ニ關スル細則ハ學校長ノ定ムル處ニ依ル

(二) 試 驗 細 則

第一條 試験ノ評點ハ各學科一百點ヲ以テ定點トス

第二條 學期試験ハ第一學期第二學期ノ終リニ於テ其ノ學期中ニ修得シタル各學科ニ付之ヲ行フ

第三條 讀書、作文、數學、習字、及體操ニ就テハ平常點ニヨリ試験ヲ行ハズ

但シ教師ノ見込ニヨリ試験ヲ行フコトアルヘシ

第四條 學年試験ハ第三學期ノ終リニ於テ其ノ學年中ニ之ヲ行フ

第五條 學年試験成績點ハ各學期ノ成績ト學年試験ノ成績トヲ加ヘ三分シテ之ヲ定ム

第六條 學年課程修了ノ認定ハ學年試験ノ成績ニ於テ各學科五拾點以上ニシテ平均六拾點以上ヲ得タルモノヲ

以テ標準トス

第七條 全學科卒業ノ成績點ハ三學年ノ試験成績點ヲ以テ之レヲ定ム

第八條 凡テ學期試験ニ缺席セシモノハ更ニ其試験ヲ行ハズ

但正當ノ事由アリテ缺席シタル者ニハ特ニ追試験ヲ行フコトアルヘシ

(三) 兵庫縣立醫業學校生徒心得

○ 學 則

○ 男生 徒心得

- 第一條 教育ニ關スル勅語ノ聖旨ヲ奉戴スヘシ
 - 第二條 常ニ智徳ノ進修ヲ圖リ大成ヲ期スヘシ
 - 第三條 身体ノ健全ヲ圖リ元氣ヲ振作スヘシ
 - 第四條 志操ヲ高潔ニシ思慮ヲ周密ニスヘシ
 - 第五條 勤勉質素ヲ尚ヒ實業家ノ本分ヲ確守スヘシ
 - 第六條 恭謙ニシテ誠實ナルヘシ
 - 第七條 公德ヲ重シ同情ヲ旨トスヘシ
 - 第八條 秩序ヲ重シ禮讓ヲ尚フヘシ
 - 第九條 自治及協同ノ美風ヲ修養スヘシ
- 女生 徒心得
- 第一條 教育ニ關スル勅語ノ聖旨ヲ奉戴シ校則ヲ守リ師長ノ命ニ從ヒ女生徒タルノ本分ヲ盡スヘシ
 - 第二條 常ニ衛生運動及鍛練ノ三方面ニ留意シ身体ノ健全ヲ圖ルヘシ
 - 第三條 校友相互ニ心ヲ協セ親切ニ交リ相助ケ相戒メテ善ニ進ムヘシ
 - 第四條 交遊ヲ選ヒ夜行ヲ慎ミ品位ヲ汚損スヘキ行爲ヲナスヘカラス

- 第五條 服裝髮飾携帶品等ハ禮節ニ戾ラサル限リ華美ヲ戒メ質素ヲ主トスヘシ
- 第六條 家事裁縫作法等ハ日常寄宿舎(家庭ヲモ含ム)ニ於テ正課時間外實地ニ練習スルコトヲ心懸クヘシ
- 第七條 道德上有害ナル雜誌新聞小説等ヲ購讀スヘカラス
- 第八條 室内ニテハ疾走又ハ高聲ニ笑語或ヒハ吟唱スヘカラス
- 第九條 左ノ訓辭ヲ實行センコトヲ期スヘシ
 - 一 至誠以テ女子ノ本分ヲ盡スニ足ル實力ヲ修養スルコト
 - 二 長上ヲ敬虔スルノ念ヲ失ハサルコト
 - 三 恭謙ニシテ禮讓ヲ尚フコト
 - 四 公德ヲ重シ同情ヲ旨トスルコト
 - 五 從順ニシテ自己ニ信賴スルコト
 - 六 勤勉ニシテ忍耐持久スルコト
 - 七 質素ニシテ氣品高キ風ヲ尚フコト
 - 八 快活ニシテ内ニ端正ノ風ヲ持スルコト
 - 九 清潔整頓及ヒ秩序ヲ尊フコト
 - 十 勤勞ヲ愛好スルノ風ヲ養フコト
 - 十一 他人ノ長所ニ倣ヒ其非ヲ言ハサルコト
 - 十二 人ヲ羨ミ嫉マス譏謗セサルコト
 - 十三 感情ニ驅ラレス虛榮心ニ陷ラサルコト

○ 學 則

(四) 生徒心得細則

○ 男生徒心得細則

- 第一條 校ノ内外ヲ問ハス生徒タルノ体面ヲ保チ善良ナル校風ヲ發揮スルヲ勉ムヘシ
- 第二條 師長ノ指揮訓誡ニ順ヒ校規示達ヲ遵守スヘシ
- 第三條 常ニ適度ノ運動ヲ怠ラス衛生ニ注意シ飲酒喫煙ヲナスヘカラス
- 第四條 清潔ヲ貴ヒ容儀ヲ整ヒ粗暴浮華ヲ戒ムヘシ
- 第五條 始業時十分前ニ必ス登校スヘシ
- 第六條 課業ニ要スル書籍其他ノ物品ヲ忘レサル様注意シ不必要ノ物品ハ一切携帯スヘカラス
- 第七條 登校シタル時ハ帽子其ノ他ノ携帯品ハ各規定ノ場所ニ整置シ混亂セシム可カラス
- 第八條 授業中ハ靜肅ヲ旨トシ專心課業ニ勉勵スヘシ
- 第九條 終業ノ禮ヲナスト雖モ教師ニ先チテ退場スヘカラス
- 第十條 登校中ハ妄リニ門外ニ出ツヘカラス
- 第十一條 疾病又ハ事故ニ由リ欠課シタル時ハ其ノ理由ヲ具シ届出ツヘシ通學者ニシテ缺席二日以上ニ涉ルトキハ保證人ノ連署ヲ要ス
- 第十二條 凡テ本校ニ差出ス願届書類ハ本人自ラ是ヲ認ムヘシ

- 第十三條 風儀ヲ害スル場所ニ出入シ又ハ鷹獵ノ圖書ヲ閱讀スヘカラス
- 第十四條 校ノ内外ヲ問ハス喧擾ニ涉ル所爲アルヘカラス
- 第十五條 無用ノ金錢ヲ携帯シ又ハ貸借ヲナスヘカラス
- 第十六條 學校ノ建物、樹木物品等ヲ汚損又ハ破毀セサル様注意スヘシ若シ是レヲ犯シタルモノハ其ノ情狀ニヨリ賠償セシムヘク犯者不明ナルトキハ全學級若クハ全生徒ノ責任ニ歸スヘシ
- 第十七條 窓ヨリ唾ヲ吐キ或ハ墨汁紙屑塵埃等ノ汚物ヲ放棄スヘカラス
- 第十八條 痰唾ハ必ス唾壺ニナスヘシ
- 第十九條 日々時刻ヲ定メ復習ヲ怠ルヘカラス
- 第二十條 各學級ニ級長及副級長各一名ヲ置ク
- 第二十一條 級長及副級長ハ學校長之レヲ選任ス
- 第二十二條 級長及副級長ノ任期ハ一學年間トス但シ其ノ任ニ堪ヘスト認ムルトキハ解任スルヲアルヘシ
- 第二十三條 級長及副級長ノ任務左ノ如シ
 - 一 教室内ノ取締ヲナス事
 - 二 命令示達ヲナスコト
 - 三 當該學級ヲ代表スルコト

四 副級長ハ級長ヲ補佐シ級長不在ノトキハ是レヲ代理スルコト

第廿四條 登校時限中ハ制服ヲ着用スヘシ 但シ不得已事項アル時ハ袴ヲ着用シ外出ノ時ハ制帽或ハ略帽ヲ用ユヘシ

第廿五條 別科生モ袴ヲ着用スヘシ

第廿六條 制服ヲ着用シタル場合ハ必スボタンヲ掛クヘシ

第廿七條 實習中ノモノハ校内ニ於テノミ右ノ規定ニ由ラサルモ妨ケナシ

第廿八條 教室内ニ於テハ教師ノ教壇ニ立ツテ合圖トシテ一齊ニ敬禮スヘシ

第廿九條 途中ニ職員ニ遇ヒタルトキハ脱帽停止シテ禮ヲナスヘシ校内ト雖モ始メテ遇ヒタル場合モ亦然リ

第三拾條 校内ニ於テ朝禮ヲ終リタル職員ニ遇ヒタル時ハ少シク体ヲ前方ニ屈シ會釋スヘシ但シ職員ハ是レニ

對シ目禮ス

第卅一條 右二項ノ場合各生徒間ニ於テハ互ニ敬禮スヘシ

第卅二條 參觀人ニ對シテハ相當ノ敬意ヲ表シ便宜ヲ與フヘシ

第卅三條 生徒タルノ体面ヲ汚ス行爲ハ一切之レヲ禁ス

○ 女生徒心得細則

第一條 校ノ内外ヲ問ハス女生徒タルノ体面ヲ保チ善良ナル校風ヲ發揮スルニ勉ムヘシ

第二條 始業時十分前ニ必ス登校スヘシ

第三條 課業ニ要スル書籍其他ノ物品ヲ忘レサル様注意シ不必要ノ物品ハ一切携帯スヘカラス

第四條 登校シタル時ハ携帯品ハ各指定ノ場所ニ整置シ混亂セシム可カラス

第五條 授業中ハ靜肅ヲ旨トシ専心課業ニ勉勵スヘシ

第六條 終業ノ禮ヲナスト雖モ教師ニ先チテ退場スヘカラス

第七條 登校中ハ妄リニ門外ニ出ツヘカラス

第八條 疾病又ハ事故ニ由リ欠課シタル時ハ其理由ヲ具シ届出ツヘシ通學者ニシテ缺席二日以上ニ涉ル時ハ保證人ノ連署ヲ要ス

第九條 凡テ本校ニ差出ス願届書類ハ本人自ラ是レヲ認ムヘシ

第十條 校ノ内外ヲ問ハス喧擾ニ涉ル所爲アルヘカラス

第十一條 無用ノ金錢ヲ携帯シ又ハ貸借ヲナスヘカラス

第十二條 學校ノ建物樹木物品等ヲ汚損又ハ破毀セサル様注意スヘシ若シ是レヲ犯シタルモノハ其ノ情狀ニヨリ辨償セシムヘク犯者不明ナルトキハ全學級若クハ全生徒ノ責任ニ歸スヘシ

第十三條 窓ヨリ唾ヲ吐キ或ハ墨汁紙屑塵埃等ノ汚物ヲ放棄スヘカラス

第十四條 痰唾ハ必ス唾壺ニナスヘシ

第十五條 日々時刻ヲ定メ復習ヲ怠ルヘカラス

第十六條 級長及副級長各一名ヲ置ク

第十七條 級長及副級長ハ學校長之ヲ選任ス

第十八條 級長及副級長ノ任期ハ一學年間トス但シ其任ニ堪ヘスト認ルトキハ解任スルコトアルヘシ

第十九條 級長及副級長ノ任務左ノ如シ

一 教室内ノ取締ヲナス事

二 命令示達ヲナス事

三 當該學級ヲ代表スル事

四 副級長ハ級長ヲ補佐シ級長不在ノトキハ是ヲ代理スル事

第二十條 途中職員ニ遇ヒタルトキハ停止シテ禮ヲナスヘシ校内ト雖モ始メテ遇ヒタル場合モ亦同シ

第廿一條 校内ニ於テ朝禮ヲ終リタル職員ニ遇ヒタル時ハ少シク体ヲ前方ニ屈シ會釋スヘシ但シ職員ハ此レニ

對シ目禮ス

第廿二條 右二項ノ場合各生徒間ニ於テハ互ニ敬禮スヘシ

第廿三條 參觀人ニ對シテハ相當ノ敬意ヲ表シ便宜ヲ與フヘシ

第廿四條 生徒タルノ体面ヲ汚ス行爲ハ一切之ヲ禁ス

(五) 寄宿舎取締規程

○ 男子部寄宿舎取締規程

第一條 寄宿舎ハ家族的生活ノ主旨ニ基キ生徒タルノ本分ヲ發揮セシムルニ努メ專ラ品性ヲ陶冶スルヲ以テ目的トス

第二條 寄宿生ノ守ルヘキ要項ハ左ノ如シ

一 自治

二 公德

三 勤勉力行

四 時間嚴守

五 清潔

第三條 寄宿舎ニ於テハ總テ舍監ノ指揮ニ從フヘシ

第四條 寄宿舎各部ニ正副部長各一名及各室ニ室長一名ヲ置ク

但シ部長ハ寄宿生ノ互選ニ據リ學校長之ヲ命シ室長ハ室員互選ノ上舍監之ヲ命ス

第五條 部長ノ任期ハ一學年間トス 但シ場合ニヨリ改選ヲ命スルコトアルヘシ

第六條 部長及室長ハ舍監ノ指揮ヲ受ケ部内ノ整理取締ノ責ニ任ス

○ 學 則

第七條 風紀室ヲ設ケ風紀係ヲ置キ每週交替ニ其ノ任ニ當ラシム

但シ風紀係ハ部長一名室長二名トシ合監之レヲ命ス

第八條 風紀係ハ一般風紀ニ關スル取締及左ノ事項ヲ掌ルヘシ

- 一 合監ノ命令示達
- 二 洒掃ノ監督
- 三 時間ノ報道
- 四 点燈消燈ノ監督
- 五 食堂廊下圖書室擊劍場及洋燈室等ノ整理

第九條 建物器物等ハ汚穢又ハ毀損スヘカヲサレハ勿論特ニ貸與セラレタル器具物品ハ責任ヲ負ヒテ之ヲ保管

スヘシ 但シ責任者不明ナルトキハ其室全員ノ責任トス

第十條 寄宿生ハ互ニ金錢其他物品ノ貸借ヲナスヘカラス

第十一條 合監ハ隨時人員及室内ノ検査ヲ行フ

第十二條 不必要ノ圖書器具類ハ舍内ニ所持スルヲ許サス

第十三條 寄宿生ノ願届書ハ部長及風紀係ヲ經テ合監ニ差出ヌヘシ

第十四條 許可ヲ經ルニアラサレハ時限外々出スルヲ許サス消燈時限ニ後クレテ歸舍スルトキハ證明書ヲ差出

スヘシ

第十五條 病氣ノ爲メ一時退舍セントスルトキハ學校醫ノ診斷書ヲ添ヘ保証人連署ノ上願出ツヘシ

第十六條 晨起就褥喫飯入浴自修外出等ノ時限ハ時々之ヲ揭示ス

第十七條 炊事ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第十八條 本規程ニ成文ナキ事項ハ學校長ノ指揮ヲ受ケテ合監之ヲ處理ス

第十九條 本規程ニ違背シタルモノハ相當ノ處分ヲナスコトアルヘシ

附 則

第二十條 已ムヲ得サル事故ノ爲ニ通學ヲ許可セラレタル者ハ左ノ條件ヲ守ルヘシ

- 一 家主ノ連署ヲ以テ宿所ヲ願出許可ヲ受クヘシ
- 二 宿所ノ表ニ必ス學校名並ニ自己ノ姓名ヲ書シタル標札ヲ掲クヘシ
- 三 本規程第二條ノ各項ヲ遵守スヘシ
- 四 晨起及就褥時限等本校寄宿舎ノ規定ニ準スヘシ
- 五 風紀衛生ヲ重シク學業ニ精勵スヘシ

女子部寄宿舎取締規程

第一條 寄宿舎ハ家族的生活ノ主旨ニ基キ女生徒タルノ本分ヲ發揮セシムルニ努メ専ラ品性ヲ陶冶スルヲ以テ

目的トス

第二條 寄宿生ノ守ルヘキ要項ハ左ノ如シ

- 一 誠 實
- 二 自 治
- 三 公 德
- 四 同 情
- 五 勤 勉 力 行
- 六 時 間 嚴 守
- 七 清 潔

第三條 寄宿舎ニ於テハ總テ舎監ノ指揮ニ從フヘシ

第四條 寄宿舎各室ニ室長一名ヲ置ク 室長ハ室員互選シ上舎監之ヲ命ス

第五條 室長ハ舎監ノ指揮ヲ受ケ部内ノ整理取締ノ責ニ任ス

第六條 室長ハ風紀ニ關スル取締及左ノ事項ヲ掌ルヘシ

- 一 舎監ノ命令示達
- 二 洒掃ノ監督

三 時間ノ報道

四 點燈消燈ノ監督

五 食堂廊下洋燈室等ノ整理

第七條 建物器物等ハ汚穢又ハ毀損スヘカラサルハ勿論特ニ貸與セラレタル器具物品ハ責任ヲ負ヒテ之ヲ保管

スヘシ

第八條 寄宿生ハ互ニ金錢其他物品ノ貸借ヲナスヘカラス

第九條 舎監ハ隨時人員及室内ノ検査ヲ行フ

第十條 不必要ノ圖書器具類ハ舎内ニ所持スルヲ許サス

第十一條 常ニ室中及押入ノ中ヲ清潔ニ掃除シ衣服寢具其ノ外都テノ什器ヲ位置正シク安排シ又ハ收束シ置ク

ヘシ

第十二條 毎月一回各室生徒總掛リニテ舎内ノ大掃除ヲ爲シ窓障子等ニ至ル迄都テ清潔ニ淨拭スヘシ

第十三條 障子ノ紙ヲ破損シタル時ハ速ニ繕ヒ置クヘシ

第十四條 窓ヨリ物ヲ投棄シ或ハ窓ニ物ヲ掛ケ置クヘカラス

第十五條 許可ヲ經ルニアラサレハ外出ヲ許サス 但シ外出ノ時ハ二人以上ノ同伴者ヲ要ス

第十六條 特別ノ事故アルニアラサレハ夜分ノ外出ヲ許サス

第十七條 書信ヲ出サントスルハ其届先及自己ノ姓名並帳簿ニ記シ書信ヲ舍監ニ差出スヘシ
但封書ハ郵便切手ヲ貼付シ置クヘシ

第十八條 他方ヨリ來ル書信ハ總テ舍監之ヲ受取り更ニ各人ニ配布スヘク生徒自ラ之ヲ授受スヘカラス

第十九條 出先ノ確ニ判明セサル書信若クハ物品ノ到着セシ時及舍監ニ於テ取締上必要ト認メラル、場合ニハ舍監ノ命ニヨリ其ノ信書物品ノ檢閲ヲ受クヘシ

第二十條 來訪人アルトキハ舍監ニ於テ其來訪ノ事由ヲ尋テ許否ヲ決シテ後ニ通知スヘキコトヲ生徒ハ私ニ面接スヘカラス

第二十一條 病氣ノ爲メ一時退舍セントスルトキハ學校醫ノ診斷書ヲ添ヘ保証人連署ノ上願出ツヘシ

第二十二條 晨起就褥喫飯入浴自修外出等ノ時限ハ時々之ヲ揭示ス

第二十三條 炊事洗濯ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第二十四條 本規程ニ成文ナキ事項ハ學校長ノ指揮ヲ受ケテ舍監之ヲ處理ス

第二十五條 本規程ニ違背シタルモノハ相當ノ處分ヲナスコトアルヘシ

附 則

第二十六條 已テ得サル事故ノ爲通學ヲ許可セラレタル者ハ左ノ條件ヲ守ルヘシ

一 家主ノ連署ヲ以テ宿所ヲ願出許可ヲ受クヘシ

二 宿所ノ表ニ必ス學校名並自己ノ姓名ヲ書シタル標札ヲ掲クヘシ

三 本規程第二條ノ各項ヲ遵守スヘシ

四 晨起及就褥時限等本校寄宿舎ノ規定ニ準スヘシ

五 風紀衛生ヲ重シシ學業ニ精勵スヘシ

(六) 生徒學資金保管規程

第一條 本校寄宿生ノ學資金ハ學校長舍監ニ於テ保管スルモノトス

第二條 學資金ハ父兄ヨリ直接學校長ヘ送金委託スルモノトス

但送金方ハ郵便爲替價格表記等ニヨリ郵送ノ時ハ書留ニナシ現金ヲ送付スル時ハ封金シ必ズ送狀添付スヘシ

第三條 學資金ハ其ノ月五日迄ニ送附スルモノトス

但月額費用ノ外臨時費ヲ要スルトキハ其ノ都度生徒ヨリ父兄ニ通牒スルモノトス

第四條 生徒ヘノ仕拂期日ハ毎月十日、二十日、廿八日ノ三回ニシテ既定ノ雜費ハ一ヶ月一人ニ付金壹圓五拾錢一回金五拾錢トス

第五條 生徒ハ各自學資金出納簿ヲ備ヘ收支ヲ明記スヘシ又學資金ヲ請求スルトキハ之ヲ調理シ仕拂期日ノ前日ニ舍監ニ差出シ其承認ヲ受クヘシ

第六條 各生徒納入ノ義務アル本校規定ノ費用ハ隨時學校長ニ於テ控除ス

第七條 保管金ハ毎年三月末日ヲ以テ決算シ殘餘金ヲ生シタル時ハ退舍生ニ限リ交付ス

第八條 學資金預入ヨリ生スル利潤金ハ隨時寄宿生全体ノ増賄料ニ充ツ

第九條 學資金ノ收支ハ保管者ヨリ別ニ通知セス各生徒ヨリ學資金出納簿ヲ父兄ニ示スヘシ

第十條 學資金ハ避クヘカラサル災難ニ罹リ亡失シタル時ノ外保管者其ノ責ニ任ス

(七) 兵庫縣立蠶業學校蠶種配付規程 (明年四十二年三月五日 兵庫縣告示第六十九號改正)

第一條 本校ニ於テ製造スル蠶種ハ左記各號ノ一ニ該當スル者ニ限リ無償ヲ以テ之ヲ配付ス

一 本縣内ニ住所ヲ有シ販賣用ノ蠶種百枚以上ヲ製造スル者

二 本校ヲ卒業シタル者並生徒ノ父兄

三 本縣内蠶業ニ關スル學校講習所傳習所及ヒ試驗場

第二條 請求者一人ニ配付スヘキ蠶種ノ量ハ二百八十蛾分以内トス

但シ場合ニ依リ請求ニ應セサルコトアルヘシ

第三條 配付スヘキ蠶種ハ春蠶又昔ノ一種トス

第四條 蠶種ノ配付ヲ受ケントスル者ハ毎年四月二十日迄ニ第一號書式ノ請求書ヲ提出スヘシ

第五條 蠶種ノ配付ハ請求書到達ノ順序ニ依リテ之ヲ定ム

第六條 蠶種ノ配付ニ要スル費用ハ請求者ノ負擔トス

第七條 蠶種ノ配付ヲ受ケタル者ハ第二號書式ニ依リ收繭中ノ上繭一升ヲ添ヘ翌年六月三十日迄ニ其ノ成績ヲ

報告スヘシ

第八條 前條ノ報告ヲ怠リタル者ニハ當分蠶種ヲ配付セス

(第一號書式) 蠶種配付請求書

一 春蠶 又 昔 何蛾分

右御配付相成度此段請求候也

住 所

氏 名 印

年 月 日

兵庫縣立蠶業學校長 某 殿

(第二號書式) 飼育成績報告書

種 類		上 繭		容 量	一 升ノ粒數
蠶 量	下	重 量	重 量		
經 過		收		穫	

備考	平均温度	噸量一匁ニ對スル給桑量	給桑量	給桑回数	飼育日數	同功滿		屑滿		合計
						重	容	重	容	
						重	容	重	容	重
						量	量	量	量	量

右及報告候也

年 月 日

住 所

兵庫縣立蠶業學校長某 殿

飼育人 氏

名 〇

○第三 本校々地及建物

校 地

養父郡八鹿村ノ内九鹿村及上綱場村ニアリ官有地第二種ニシテ此總面積一萬六千九百九十四坪アリ内二千五百七十坪ハ校舍敷地、千四百八十八坪ハ運動場、六千四百八十六坪ハ桑園、二百二十坪ハ桑園附屬地ナリ

建 物

養蠶室、第二寄宿舍ハ二階建其他ハ平房建建物總坪數八百八十七坪五合ナリ之ヲ區別スレハ左ノ如シ

建 物	棟 數	坪 數	備 考	坪 數	備 考
本館	一	棟	四百四十二坪		
教場	三	棟	五十二坪	校長室	一 十坪
	一	棟	八坪	教員室	一 十六坪
内事務室	一	棟	八坪	宿直室	一 六坪
	一	棟	卅四坪	生徒控所	一 十六坪
女關押入廊下			卅四坪		
校舍附屬廊下			五十四坪五合	門 候 室	一 棟
養蠶室	二	棟	四百四十八坪七合五勺	殺 蛹 場	一 棟
藁小屋蠶室	一	棟	十八坪	貯 桑 室	一 棟
貯桑室附屬廊下			十三坪五合		
第一寄宿舍附屬廊下			廿一坪五合	第一寄宿舍	一 棟
食堂及炊事場附屬浴室			八坪	食堂及炊事場	一 棟
蠶糞置場	一	棟	四坪	特別教室	一 棟
小使室	一	棟	十二坪	第二寄宿舍	一 棟
第二寄宿舍附屬廊下			十六坪五合	物 置	一 棟
肥料納屋	一	棟	五坪	堆 肥 舍	一 棟

本校校地建物

○第四 (一) 圖書及器具器械標本

種別	數量	種別	數量
法倫文歷史數理化經理	二四 二二 一三七 六四 六三 五六 三六 二八	地博外國物理	四九 二〇一 七五 二三七 一八三 一六 三一八 一四九九
律理學史學學學	二四 二二 一三七 六四 六三 五六 三六 二八	物理博物外國	四九 二〇一 七五 二三七 一八三 一六 三一八 一四九九
經濟學	二八	物理博物外國	四九 二〇一 七五 二三七 一八三 一六 三一八 一四九九

(二) 器具器械及標本

種別	數量	種別	數量
----	----	----	----

種別	數量	種別	數量
廳文裝廚點掃計教地體裁洗割農	六九二 一九〇 四七 一〇九五 一〇三 一三 六七 三三五 一 一八二四 二〇 二二 一五 二〇〇	養蠶繭	二七、二八七
飾	一〇九五	實驗	一、三三六
燈	一〇三	製絲	三二一
除量	一三	理學	一八四
計量	六七	化學	四四四
教器	三三五	動物學	二三三
地體	一	植物學	六三三
體操	一八二四	礦物學	五
縫紉	二〇	擊劍	一六
濯	二二	博物	五〇
洗	一五	標本	一、二二二
割	二〇〇	模型	二二
農具	二〇〇	合計	三六、二五五

○ 圖書及器具器械標本

四五

○第五經費

(一) 創立以來各年度經費豫算額

年 度 別	經 常 部	臨 時 部
明治三十一年度	六、六五七四〇三	八、八五〇二七四
明治三十二年度	五、〇〇八三五五	
明治三十三年度	七、九八三〇四六	二七〇〇〇〇
明治三十四年度	九、〇〇三四八二	五、一四三〇一〇
明治三十五年度	一〇、六〇二二四二	二、〇〇〇四九四
明治三十六年度	一一、〇三六五三二	七、四六四二二〇
明治三十七年度	一〇、九九四九一一	
明治三十八年度	一〇、四〇三八五一	
明治三十九年度	一〇、二七七〇〇〇	

(二) 明治四十二年度經費豫算

明治四十一年度	一〇、〇一八〇〇〇	一、一三二〇〇〇
明治四十二年度	一〇、五四九〇〇〇	三、一〇〇〇〇〇

一金壹萬六百五拾四圓

內 譯

金五千六百貳拾四圓

內

金四千九百四圓

金四百八拾圓

金貳百四拾圓

金壹千五百八拾九圓

內

金五、拾圓

●經費

俸 給

校長及教員給

書記給

加俸給

雜 給

手 當

金壹千五百拾七圓
 金參百八拾五圓
 金九拾七圓
 金五拾四圓
 金貳千貳百五拾五圓
 內
 金四百九十圓
 金九圓
 金九百拾圓
 金貳百圓
 金六拾九圓
 金貳百六拾參圓
 金參拾圓
 金八拾圓
 金貳百四圓

諸備給
 旅費
 恩賞
 國庫納金
 校費
 備品費
 文具費
 消耗品費
 圖書及印刷費
 通信運搬費
 賄費
 被服費
 蠶種及種苗購入費
 雜費

一金貳千百參拾貳圓
 臨時部
 修繕費
 建築費

○第六職員

明治四十三年六月一日現在

受持學科	就職年月	職名	氏名	族籍
修身、製絲	明治三十四年四月	校長	關口宗一	兵庫縣平民
養蠶、實習	全四十年二月	教諭兼舍監	古屋永昌	山梨縣平民
農業、化學	全四十一年二月	教諭	稻葉可吉	京都府平民
蠶體解剖、生理、病理、顯微鏡使用法、栽桑、實習	全四十一年七月	教諭	山崎繁	兵庫縣平民
蠶體解剖、生理、病理、顯微鏡使用法、栽桑、實習	全四十二年四月	教諭	鈴木純一	三重縣平民
數學、物理、氣候	全四十三年二月	教諭	喜田專吉	兵庫縣平民
修身、國語、英語	全四十三年五月	教諭兼舍監	三木武次	兵庫縣平民
体操、博物	全三十八年七月	教諭兼舍監	高橋義輝	香川縣平民

修身、家事、裁縫	會計	庶務
全四十二年三月	全三十四年二月	全四十年六月
教諭兼舍監	書記	書記
山村クイ	今井虎藏	新田猛治
大阪府平民	兵庫縣平民	兵庫縣平民

五〇

〇第七生徒

(一) 生徒入退學區別表

(自明治四十二年四月至全四十二年三月)

學年	區別	入退	
		入	退
第一學年	高等小令(舊同) 舊中學校甲種農乙種農 其他	三四	二
第二學年	學校卒令(舊同) 舊中學校甲種農乙種農 其他	九	五
女子部	學校卒令(舊同) 舊中學校甲種農乙種農 其他	二	三
別科	學校卒令(舊同) 舊中學校甲種農乙種農 其他	二	七
講習科	學校卒令(舊同) 舊中學校甲種農乙種農 其他	一七	三一
合計	學校卒令(舊同) 舊中學校甲種農乙種農 其他	七五	一五
第一學年	病氣者	二	二
第二學年	家事都合者	六	一
女子部	死亡者	一	一
別科	其他	二	三
講習科	合計	一五	一
合計	合計	一九	九

(二) 生徒年齡表

(明治四十二年六月調)

學年	區別	年齡
第一學年	第一學年	二五
第二學年	第二學年	一四
女子部	女子部	七
別科	別科	三
合計	合計	二八
第一學年	第一學年	八
第二學年	第二學年	四
女子部	女子部	三
別科	別科	一
講習科	講習科	二
合計	合計	一八
第一學年	第一學年	三
第二學年	第二學年	二
女子部	女子部	一
別科	別科	三
講習科	講習科	三
合計	合計	一〇
第一學年	第一學年	一
第二學年	第二學年	一
女子部	女子部	一
別科	別科	一
講習科	講習科	一
合計	合計	一〇

(三) 入學者年齡表

區別	最高		最低		平均
	年	月	年	月	
女子部	二	二	一	四	一
男子部	二	三	一	一	一
合計	二	二	一	二	一
女子部	一	七	一	四	一
男子部	二	二	一	七	二
合計	二	二	一	五	二
講習科	三	二	一	七	二
別科	三	四	一	七	二
合計	三	二	一	七	二

〇生徒

五一

四) 入學者府縣郡市別表

府縣郡市名	本		科計	別科	講習科	合計
	男子部	女子部				
養父郡	一九	一二	三一	二	一〇	四三
城崎郡	二五	一	二六		五	三一
神崎郡	五二		五二			一〇四
赤穂郡	三五		三五	一		三六
美方郡	三一		三一			三一
宍粟郡	一一		一一			一一
多紀郡	一一		一一			一一
出石郡	一一	一	一二			一二
飾磨郡				二		二
加西郡				一		一
水上郡	一		一	二		三
朝來郡				二		二
合計	一四一	一四	一五五	二九	三一	二一五

五) 生徒郡市別表

(明治四十二年六月一日現在)

府縣郡市名	本		科計	別科	講習科	合計
	男子部	女子部				
多可郡	一一		一一	二		一三
加古郡	二一		二一			二一
加東郡	二二		二二			二二
有馬郡	一一		一一		二	一三
廣島縣	一一		一一			一一
山口縣	一一		一一			一一
福岡縣	一一		一一			一一
鳥取縣	一〇		一〇			一〇
京都府	四一	一四	五五	二九	三一	一五五
合計	一四一	一四	一五五	二九	三一	二一五

○ 生徒

府縣郡市名	本		科計	別科	講習科	合計
	男子部	女子部				
養父郡	一八	八	二六	二	一〇	五〇

有馬郡	川邊郡	多可郡	氷上郡	多紀郡	加西郡	佐用郡	安粟郡	赤穂郡	神崎郡	朝來郡	出石郡	美方郡	城崎郡	
			一	一			五	二		一	三	四		
				一	一	一	四		一		四	三		
				一	二	一	一	四	五	二	一	二	七	八
	一	一	三	三		三	二		一		一	二	一	
二		一					二			四	五	一	五	
二	一	二	四	五	一	四	八	五	三	五	八	〇	四	

蓋

廣島縣	山口縣	福岡縣	鳥取縣	宮崎縣	鹿児島縣	岡山縣	京都府	合計
一	一	一						三八
								二三
								一四
								七五
								二四
								三一
								一三〇

備考 講習科生ハ四十二年十二月一日現在ヲ示ス

(六) 生徒學年別氏名表 (明治四十三年三月一日現在)

本科 男子部 第二學年

- 小谷 伍一郎 朝來郡
- 朝野 淳 藏美方郡
- 小林 壽 三養父郡
- 小倉 正 安栗郡
- 坂出 敏夫 美方郡
- 藤原 榮吉 養父郡
- 尾崎 誠一 安栗郡
- 尾田 俊藏 城崎郡

○ 生

徒

五五

西田喜一 養父郡 仲井茂城 城崎郡 中村北郎 美方郡 中嶋勘治郎 美栗郡
 吉田和一 養父郡 盛谷平馬 養父郡 吉田鶴二 養父郡 齋藤律治 養父郡
 本上盛之助 美方郡 千種精二 加西郡 朝倉理之輔 養父郡 小林德三郎 多紀郡
 尾崎仲 美栗郡

本科 男子部 第一學年

吉田勇一 美方郡 山崎長谷 福岡縣 岩本優 吉美方郡 瀧原三雄 山口縣
 和田正一 養父郡 瀧野利一 神崎郡 圓山修一郎 養父郡 中島彌代吉 城崎郡
 高倉義貞 養父郡 木村治成 廣島縣 加納悅治 養父郡 武村淳一 養父郡
 毛戸與一 美方郡 田中篤郎 城崎郡 高品鐵次 養父郡 谷芳太郎 養父郡
 春木喜一 養父郡 足立倅一 養父郡 奥野茂 城崎郡 離新六 赤穂郡
 石田哲太郎 養父郡 宮本晴太郎 養父郡 碓井喜一郎 養父郡 小林捷二 多紀郡
 和田精一 養父郡 田中專之輔 城崎郡 中尾喜代司 養父郡 陰山延一 養父郡
 橋本孝八 赤穂郡 上垣伊之助 養父郡 河本定一 赤穂郡 前川吾平 赤穂郡
 植田茂喜 出石郡 坂東俊作 水上郡 宮本大三郎 養父郡

本科 女子部

神原幾世 養父郡 坂本しまへ 養父郡 平山ちよ 養父郡 平山さき 養父郡
 高木よね 養父郡 西田操 養父郡 西村まきの 養父郡 伊藤るん 養父郡
 吉谷はま 養父郡 中嶋民恵 出石郡 井上さよ 養父郡 渡邊まつる 養父郡
 山根静子 養父郡

別科

毛戸政吉 美方郡 赤井亮一 鳥取縣 以後清藏 鳥取縣 藤田米藏 鳥取縣
 廣瀬照太郎 養父郡 小谷太市郎 鳥取縣 田邊正雄 鳥取縣 佐野甚之助 朝來郡
 本生義雄 鳥取縣 谷尾林藏 鳥取縣 灰野龜藏 水上郡 永井若治 多紀郡
 草壁惣次 加東郡 藤定筆吉 飾磨郡 沖本清槌 山口縣 丹羽義雄 鳥取縣
 田中實二 多可郡 酒井政太郎 多紀郡 中村文平 鳥取縣 常岡誠二 水上郡
 西川廣太郎 加西郡 山田利一郎 出石郡 陰山萬次 加東郡 原富藏 多紀郡
 長谷川米作 飾磨郡 木村大三 朝來郡 松田政藏 鳥取縣 増田幾三郎 加古郡
 岩崎八郎 養父郡

○第八卒業生

○卒業生

卒業生

合計	死亡		神職	兵士	小學校教員	公吏	郡書記	銀行員	稅務署員	郵便局員	醫師	辯護士	公立實業學校在學
	乙	甲											
女子部	乙	甲	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
五	一											11	
〇	二							11		11			
九									11				
三	一				11	11					11		
三	二		11			11	11	11					
四	二	11	11			11							
八		11	11	11									
九	一	11	11										
三		1							11			1	1
二													1
九九					11								1
二	一												
四七九	一	九	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二

卒業生

私立東京高等農學校在學	習所	京都實業講習所	本校助手	實業從事	蠶種製造業	製絲業	養蠶教師	生絲檢査所員	蠶病豫防吏	蠶業會技手
女子部	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲
				一					二	
				三			一		一	11
一				六	一		三		三	
				七		一	三		五	
				一	一		四		九	
				九	一		一		五	
				七	一		四	二	九	
				九	一		三		一	
				〇四	一		六四		五二	
			一	三四			三六		八	
			四	二			四		一	
				三五	五	六	一	二	五	一
			四	五六	八		三六	三	四七	11

卒業生

出石郡農業技手 西村不 苦 美方郡
 實業從事 小林精 一 養父郡
 多可郡農業技手 (山本改) 松岡勝 彌 美方郡
 實業從事 田中俊 一 美方郡
 靈病豫防吏員 糸井積 次 朝來郡
 靈病豫防吏員 吉田莊 次 朝來郡
 實業從事 來日武 貞 城崎郡
 實業從事 嶋田勝 治 養父郡

明治三十六年三月

第四回卒業生

十九名

朝來郡東河村助役 足立信 三 朝來郡
 養父郡關宮小學校訓導 井上瀨一郎 養父郡
 靈病豫防吏員 瀬田貞三郎 出石郡
 養父郡 寺尾博 以 養父郡
 靈病豫防吏員 村上 武 養父郡
 醫師 田中 勉 養父郡

攝津下三番郵便局長 木田繁 三 川邊郡
 養父郡 德田董太郎 美方郡
 養父郡 維田宗一 養父郡
 實業從事 武藤新之助 養父郡
 養父郡 永濱真三 美方郡
 靈種製造業 山田德治 出石郡
 實業從事 中井武二郎 美方郡

製糸業 片岡勘之助 養父郡
 靈病豫防吏員 嶋田伊太郎 養父郡
 死 亡 余田次 一 水上郡
 養父郡 田淵誠 夫 美方郡
 養父郡 尾立信 良 養父郡
 實業從事 尾崎常 吉 養父郡

靈病豫防吏員 西村晴 二 出石郡
 兵庫縣淡路路 長嶋六郎 養父郡
 農試場技手 安積十三 朝來郡
 實業從事 大橋仙之助 朝來郡
 朝來郡中川村助役 今井恕之 朝來郡
 實業從事 株本秀繁 美方郡

明治三十六年六月

第四回臨時卒業生

三名

實業從事 北村寛 一 城崎郡
 靈病豫防吏員 野口一治 美方郡
 水上郡和田靈 今後俊 雄 美方郡
 業講習所教師 寺尾公壽 美方郡
 靈病豫防吏員 銀行員 福井治一郎 養父郡
 靈病豫防吏員 今田 寛 出石郡
 養父郡 養父教師 山下永 一 養父郡

明治三十七年三月

第五回卒業生

三十三名

實業從事 北村寛 一 城崎郡
 靈病豫防吏員 野口一治 美方郡
 水上郡和田靈 今後俊 雄 美方郡
 業講習所教師 寺尾公壽 美方郡
 靈病豫防吏員 銀行員 福井治一郎 養父郡
 靈病豫防吏員 今田 寛 出石郡
 養父郡 養父教師 山下永 一 養父郡

卒業生

六九

實業從事 中嶋恭三 養父郡
 全 上 佐々木正一郎 養父郡
 栃木縣靈病豫防吏員 寺田秀之助 養父郡
 實業從事 田中直一 美方郡

死 亡 長谷川市郎左衛門 城崎郡
 一年志願兵 西村 綽 養父郡
 養父郡 秋田政章 美方郡
 靈病豫防吏員 太田孝 雄 美方郡
 靈病豫防吏員 橋本景 吉 城崎郡
 實業從事 秋山理一 養父郡
 全 上 敷森進一 出石郡

靈病豫防吏員 別所美 雄 養父郡
 一年志願兵 小澤三 郎 水上郡
 靈病豫防吏員 藤村常太郎 美方郡
 島取縣靈病豫防吏員 山内勢三郎 水上郡
 養蠶教師 西上賢三 美方郡
 實業從事 水嶋登司 城崎郡
 一年志願兵 太田義廣 城崎郡
 實業從事 森井廣治 加西郡

明治四十年三月

第八回卒業生

靈病豫防吏員 谷岡琢三 城崎郡
 養蠶教師 岡田源助 城崎郡
 靈病豫防吏員 島田義太郎 養父郡
 靈病豫防吏員 渡邊寅雄 養父郡
 實業從事 中村吉治 栗原郡
 養蠶教師 田路強 栗原郡

養蠶教師 西村忠治 美方郡
 島取縣靈病豫防吏員 吉田徳治 多可郡
 實業從事 小谷恒一 城崎郡
 靈病豫防吏員 西垣幸一郎 美方郡
 實業從事 西元恒造 山口縣
 一年志願兵 安東健治 城崎郡
 實業從事 内山吉松 佐用郡
 全上 早崎貞太郎 養父郡

二十九名

水上郡和田靈病豫防吏員 和田榮太郎 水上郡
 養蠶教師 藤原順次 神崎郡
 實業從事 三上本太郎 粟原郡
 全上 (芦田改) 中川弘 水上郡
 靈病豫防吏員 田中五一 養父郡
 實業從事 内藤直次 神崎郡

明治四十一年三月

第九回卒業生

靈病豫防吏員 長谷川政夫 城崎郡
 靈病豫防吏員 岸本源治 水上郡
 靈病豫防吏員 平山太一郎 養父郡
 實業從事 大谷通治 島根縣
 靈種製造業 大植信一 城崎郡

卒業生

靈病豫防吏員 福田寛 養父郡
 實業從事 朝倉仁平 美方郡
 靈病豫防吏員 原良三 佐用郡
 島根縣原靈種製造所技手 竹内通義 島根縣
 靈病豫防吏員 竹中末美 美方郡
 靈種製造業 西村健一 養父郡
 靈病豫防吏員 飯野利右衛門 養父郡
 實業從事 山口俊雄 朝來郡

四十六名

島取縣靈病豫防吏員 西村彌一 養父郡
 靈病豫防吏員 川戸健之助 出石郡
 養蠶教師 足立政次郎 水上郡
 養蠶教師 松岡保治 美方郡
 靈病豫防吏員 中川精造 養父郡

一年志願兵	上田 恭之助	水上市郡	實業從事	福井 廣一	尖栗郡
實業從事	田中 鷹一	廣島縣	養蠶教師	日浦 吉藏	美方郡
蠶病豫防吏員	石田 理貞	養父郡	養蠶教師	西村 茂雄	山口縣
蠶病豫防吏員	宮田 雄平	冰上郡	城崎郡栗野郵便局員	井上 壽之助	城崎郡
蠶病豫防吏員	秋山 芳郎	養父郡	蠶病豫防吏員	嶋田 芳三	養父郡
實業從事	白岩 寛三	養父郡	蠶病豫防吏員	道下 利一	出石郡
蠶病豫防吏員	木下 茂	城崎郡	蠶病豫防吏員	平野 仙太郎	養父郡
蠶病豫防吏員	西井 唯次	朝來郡	養蠶教師	廣瀬 恭助	佐用郡
蠶病豫防吏員	瀨崎 利雄	城崎郡	養蠶教師	平山 辰次郎	養父郡
實業從事	田村 和一郎	養父郡	養蠶教師	黑澤 亮	朝來郡
養蠶教師	堀 純三	冰上郡	蠶病豫防吏員	小笠原 振一	神奈川縣
京都府蠶病豫防吏員	河井 元雄	京都府	長野縣立小縣甲種蠶業學校在學	足立 政太郎	朝來郡
養蠶教師	片岡 信治	養父郡	實業從事	寺川 藤一	養父郡
實業從事	小野山 光治	養父郡	福知山歩兵第十一中隊		

乙種

明治四十二年三月 第十回卒業生

實業從事	足立 善四郎	出石郡	養蠶教師	橋本 謙治	出石郡
實業從事	中嶋 歌之助	養父郡	實業從事	松井 研之亮	冰上郡
全上	大石 一郎	出石郡	全上	新免 松樹	城崎郡
養蠶教師	藤井 卯之助	朝來郡	實業從事	赤對 完治	冰上郡
實業從事	和田 市郎	城崎郡	蠶病豫防吏員	小林 政市	尖栗郡
實業從事	飯室 弘	京都府	養蠶教師	小林 吉之助	尖栗郡
蠶病豫防吏員	栗田 力藏	養父郡	養蠶教師	田路 九市	尖栗郡
實業從事	中嶋 邦一	城崎郡	養蠶教師	中村 龜藏	美方郡
蠶病豫防吏員	朝倉 精一	養父郡	實業從事	澁谷 武司	城崎郡
蠶病豫防吏員	松本 善作	朝來郡	養蠶教師	田中 米次郎	美方郡
長野縣立小縣甲種蠶業學校在學	大田 源六	姫路市	實業從事	田添 藤藏	熊本縣
蠶病豫防吏員	黒井 正雄	美方郡	實業從事	西澤 伍一郎	朝來郡
蠶病豫防吏員	伊藤 一郎	養父郡	養蠶教師	大林 正規	美方郡
實業從事	春名 藤十郎	尖栗郡			

卒業生

實業從事 木曾宗 平 安栗郡
 養病豫防吏員 古田 荇 朝來郡
 實業從事 足立以 一 氷上郡
 實業從事 細尾慶 一 氷上郡
 養蚕教師 三村彌太郎 氷上郡
 實業從事 太田恒寅之助 城崎郡

明治四十三年三月

第十一回卒業生

二十一名

多紀郡大山村ノ内北野新田村 養病豫防吏員 小林徳三郎 多紀郡平民
 美方郡温泉村ノ内歌長村 實業從事 朝野淳藏 美方郡平民
 朝來郡中川村ノ内八代村 養蚕教師 小谷伍一郎 朝來郡平民
 養父郡八鹿村ノ内八鹿村 本校助手 藤原榮吉 養父郡平民
 養父郡八鹿村ノ内八鹿村 本校助手 小林壽三 養父郡平民
 美方郡八田村ノ内前村 實業從事 中村北郎 美方郡平民
 安栗郡繁盛村ノ内千町村 養蚕教師 小倉正 安栗郡平民
 養父郡宿南村ノ内宿南村 本校助手 吉田和一 養父郡平民

七六

實業從事 阿曾源 盈 安栗郡
 實業從事 森脇平一 郎 出石郡
 養病豫防吏員 西村正 雄 城崎郡
 實業從事 今村幸一 郎 朝來郡
 實業從事 高橋 豊 美方郡

養父郡宿南村ノ内宿南村 實業從事 西田喜一 養父郡平民
 城崎郡五莊村ノ内上陰村 養蚕教師 仲井茂 城崎郡平民
 城崎郡豊岡町ノ内豊田町 本校助手 尾田俊藏 城崎郡平民
 安栗郡千種村ノ内黒土村 實業從事 尾崎誠一 安栗郡平民
 養父郡建屋村ノ内三谷村 實業從事 盛谷平馬 養父郡平民
 養父郡宿南村ノ内宿南村 實業從事 吉田鶴二 養父郡平民
 美方郡小代村ノ内佐坊村 實業從事 本上盛之助 美方郡平民
 安栗郡菅野村ノ内高下村 實業從事 尾崎 仲 安栗郡平民
 美方郡照來村ノ内桐岡村 實業從事 坂出敏夫 美方郡平民
 養父郡宿南村ノ内三谷村 養蚕教師 朝倉理之輔 養父郡平民
 安栗郡河東村ノ内矢原村 實業從事 中嶋勘治郎 安栗郡平民
 養父郡宿南村ノ内宿南村 實業從事 齋藤律治 養父郡平民
 加西郡多加野村ノ内野上村 實業從事 千種精二 加西郡平民

明治四十二年三月

女子部第一回卒業生

二十九名

實業從事

植木し加

養父郡

實業從事

坂本みちゑ

養父郡

卒業生

七七

實業従事	吉谷りん	城崎郡	小學校教員	山根すて	養父郡
實業従事	植木さち	養父郡	實業従事	神谷陸	東京府
本校助手	上治まさ	美方郡	實業従事	山根すぎ	養父郡
實業従事	木村たつ	安栗郡	養蠶教師	佐野りゑ	朝來郡
實業従事	大谷つる	養父郡	小學校教員	根岸春	姫路市
養蠶教師	佐野しづ	朝來郡	養蠶教師	中嶋まさ	養父郡
實業従事	大西とら	水上郡	實業従事	長嶋ひて	養父郡
實業従事	田淵さと	美方郡	實業従事	藤本とめ	朝來郡
實業従事	藤田つた	養父郡	實業従事	熊原久恵	養父郡
實業従事	朝倉さき	養父郡	實業従事	森文子	朝來郡
實業従事	別所花子	養父郡	實業従事	佐々木壽子	美方郡
實業従事	進藤千代	安栗郡	實業従事	池口ゑい	養父郡
實業従事	森清子	朝來郡	實業従事	岸田とみ	多紀郡
實業従事	足立さく	水上郡			

明治四十三年三月

女子部第二回卒業生

十三名

七八

養父郡八鹿村ノ内九鹿村	實業従事	坂本しまへ	養父郡平民
養父郡高柳村ノ内八木村	實業従事	渡邊まつゑ	養父郡平民
養父郡八鹿村ノ内八鹿村	死	高木よね	養父郡平民
福井縣敦賀郡敦賀港橋町	實業従事	伊藤ゑん	福井縣平民
養父郡八鹿村ノ内八鹿村	實業従事	神原幾世	養父郡士族
養父郡養父市場村ノ内養父市場村	實業従事	平山さき	養父郡平民
養父郡八鹿村ノ内八鹿村	實業従事	平山ちよ	養父郡平民
養父郡宿南村ノ内赤崎村	實業従事	吉谷はま	養父郡平民
養父郡八鹿村ノ内九鹿村	實業従事	山根静子	養父郡平民
養父郡八鹿村ノ内石原村	實業従事	井上さよ	養父郡平民
出石郡室埴村ノ内寺坂村	實業従事	中嶋民恵	出石郡平民
養父郡八鹿村ノ内九鹿村	實業従事	西田操	養父郡平民
養父郡八鹿村ノ内九鹿村	實業従事	西村まさの	養父郡平民

明治三十二年七月

卒業生

第一回修了生

五名

七九

實業從事 小林辰太郎 城崎郡 死亡 國眼精一 城崎郡
 實業從事 中川理之助 養父郡 實業從事 渡邊庄太郎 出石郡
 實業從事 西垣善太郎 美方郡

明治三十三年七月 第二回修了生 四名

實業從事 (正垣改) 衣川 實 養父郡 實業從事 吉見富太郎 氷上郡
 實業從事 松林利市 川邊郡 實業從事 足立秋藏 氷上郡

明治三十四年七月 第三回修了生 十一名

實業從事 松榮精一郎 三原郡 養蠶教師 難波耕太郎 氷上郡
 養蠶教師 近藤小三郎 氷上郡 養蠶教師 山中新之助 氷上郡
 實業從事 奧田藤一郎 出石郡 蠶種製造業 小川鹿之助 出石郡
 蠶種製造業 河本爲藏 城崎郡 實業從事 眞野常平 三原郡
 實業從事 廣川彦三郎 三原郡 養蠶教師 本城茂太郎 美方郡
 養蠶教師 井上德太郎 美方郡

明治三十五年七月 第四回修了生 七名

實業從事 陰山清一 城崎郡 前出 岡田源助 城崎郡

養蠶教師 高 雄 喜代藏 氷上郡 養蠶教師 高田民藏 京都府
 實業從事 沢野泰次 氷上郡 養蠶教師 野崎傳次郎 朝來郡
 實業從事 森崎與一 長崎縣

明治三十七年三月 第五回修了生 二十二名

從 川西泰一 佐用郡 養蠶教師 (西村改) 福富信吾 出石郡
 實業從事 岩淺銘之助 養父郡 養蠶教師 近藤勝治 氷上郡
 不詳 森 眞一 養父郡 養蠶教師 藤原金藏 氷上郡
 蠶病豫防吏員 兼井倉治 出石郡 實業從事 中島爲藏 養父郡
 實業從事 齋藤松太郎 養父郡 實業從事 小林松三郎 城崎郡
 蠶病豫防吏員 宿南清 養父郡 實業從事 渡邊熊藏 養父郡
 養蠶教師 細見重太郎 氷上郡 實業從事 秋山利一 養父郡
 實業從事 植木芳太郎 養父郡 舞鶴海兵團 上道泰治 朝來郡
 朝來郡日下 田治米順二郎 朝來郡 蠶病豫防吏員 伊藤直三郎 氷上郡
 製糸場員 國村門藏 出石郡 實業從事 勝地作二郎 養父郡
 實業從事 林久兵衛 養父郡 養蠶教師 齋藤龜藏 出石郡

卒業生

八一

明治三十七年七月

第六回修了生

六名

養蠶教師	前川近之助	水上郡	實業從事	青木萬治	水上郡
實業從事	前田安一	和歌山縣	養蠶教師	荻野仙之助	水上郡
死亡	齋藤半十	熊本縣	實業從事	本位田重治	岡山縣

明治三十八年三月

第七回修了生

十五名

前出	足立政次郎	水上郡	實業從事	桑原二郎	山口縣
實業從事	堀達治	水上郡	實業從事	向喜一郎	養父郡
實業從事	竹内照吉	養父郡	實業從事	高井善作	養父郡
實業從事	小林彌一郎	養父郡	養蠶教師	西岡竹治	城崎郡
實業從事	川瀬力造	養父郡	實業從事	吉田俊治	朝來郡
養蠶教師	岡本貞治	佐用郡	實業從事	安田重吉	城崎郡
養蠶教師	中嶋卓治	出石郡	實業從事	芦田實治	水上郡
養蠶教師	中安光太郎	城崎郡	死亡	本田佐候	愛媛縣

明治三十八年七月

第八回修了生

二名

明治三十九年三月

第九回修了生

七十二名

實業從事	三木辨吉	城崎郡	養蠶教師	中道俊太郎	水上郡
養蠶教師	日原永三郎	水上郡	養蠶教師	足立三治	水上郡
朝來郡與布土製糸場員	岸田精一郎	朝來郡	實業從事	増田圓治	朝來郡
實業從事	大橋太十郎	京都府	養蠶教師	能勢廣治	水上郡
蠶種製造業	石田要之助	出石郡	實業從事	谷掛金次	多紀郡
養蠶教師	梶村幾次郎	京都府	養蠶教師	向金之助	養父郡
養蠶教師	小谷卯之助	城崎郡	養蠶教師	中嶋猪之助	養父郡
養蠶教師	坂西國太郎	養父郡	實業從事	足立喜代治	水上郡
養蠶教師	足立繁太郎	水上郡	養蠶教師	竹井誠	岡山縣
實業從事	堀本忠藏	水上郡	實業從事	西村豐治	朝來郡
實業從事	山本榮一	岐阜縣	實業從事	河野嘉一郎	京都府
實業從事	安岡幾藏	城崎郡	實業從事	谷多吉	水上郡
前出	黒澤亮	朝來郡	實業從事	喜且耕一	出石郡
實業從事	足立吉五郎	水上郡	養蠶教師	大槻増吉	水上郡

卒業生

八三

養蠶教師	肥太郎	養父郡	朝來郡山口村助役	長谷波 幾	治	朝來郡
蠶病豫防吏員	藤平三郎	水上郡	養蠶教師	足立和	七	水上郡
實業從事	中野貞吉	多可郡	實業從事	吉井伸十郎	京都府	京都府
實業從事	大槻廣右衛門	京都府	養蠶教師	木下樵太郎	水上郡	水上郡
養蠶教師	市川伊一郎	朝來郡	實業從事	近藤寬	藏	京都府
實業從事	谷垣喜太郎	城崎郡	養蠶教師	夜久政次郎	治	水上郡
實業從事	荒木鉄治	京都府	實業從事	中嶋俊太郎	京都府	京都府
死亡	高橋幸重	水上郡	養蠶教師	土谷覺	治	水上郡
銀行員	柴垣時三	城崎郡	養蠶教師	足立儀兵衛	治	水上郡
實業從事	足立勇治	神崎郡	蠶病豫防吏員	小山言司	朝來郡	朝來郡
養蠶教師	芦田鉄治	水上郡	實業從事	寄砂鬼常吉	城崎郡	城崎郡
養蠶教師	北村柳吉	城崎郡	養蠶教師	内田文造	養父郡	養父郡
死亡	中原竹治	水上郡	養蠶教師	大橋類	治	朝來郡
實業從事	長谷川正三	養父郡	養蠶教師	梅田忠太郎	治	水上郡

實業從事	足立章	水上郡	實業從事	小山彌一郎	朝來郡
養蠶教師	吉谷芳太郎	養父郡	實業從事	藤本義一郎	朝來郡
實業從事	福井菊藏	京都府	蠶病豫防吏員	原政一	水上郡
兵士	尾崎政太郎	養父郡	實業從事	鶴井喜市郎	水上郡
養蠶教師	岡森太藏	城崎郡	實業從事	垣田周太郎	水上郡
蠶種製造業	河本實藏	城崎郡	蠶種製造業	米田政太郎	養父郡
蠶種製造業	西村秀太郎	美方郡	養蠶教師	中嶋熊太郎	養父郡

明治三十九年七月 第十回修了生 十八名

蠶病豫防吏員	森田實造	城崎郡	實業從事	田口猪之助	水上郡
蠶病豫防吏員	石井福三郎	美方郡	蠶病豫防吏員	三角健藏	城崎郡
蠶病豫防吏員	足立雅之助	朝來郡	養蠶教師	西村鶴次郎	養父郡
蠶病豫防吏員	中野勳	養父郡	實業從事	足立國藏	朝來郡
實業從事	盤見鉄右衛門	水上郡	蠶病豫防吏員	日下勝造	朝來郡
蠶病豫防吏員	井口兼太郎	美方郡	養蠶教師	春木晋	水上郡
養蠶教師	西村良吉	養父郡	實業從事	神崎幸造	水上郡

卒業生

實業從事	植村 肇	城崎郡	養蠶教師	清水官次郎	水上郡
實業從事	瀬戸山彦 熊	鹿兒嶋縣	實業從事	小副川政吉	佐賀縣
實業從事	明治四十年七月	第十一回修了生	實業從事	二十六名	
實業從事	由良謙之助	水上郡	實業從事	井口教平	佐用郡
養蠶教師	足立綱之祐	水上郡	養蠶教師	原田丈太郎	朝來郡
養蠶教師	岸上登一郎	宍粟郡	實業從事	藤原 義	朝來郡
和歌山縣蠶病豫防吏員	渡邊孫右衛門	多可郡	實業從事	足立植太郎	水上郡
實業從事	足立淺太郎	水上郡	兵士	村尾此一	城崎郡
銀行員	長澤三郎	城崎郡	養蠶教師	(由良改) 森孝治郎	城崎郡
養蠶教師	荻野定平	水上郡	實業從事	小山 賢	城崎郡
實業從事	足立穉治	水上郡	養蠶教師	坂東松治	水上郡
養蠶教師	今中憲一郎	多可郡	養蠶教師	(野垣改) 高橋重吉	多紀郡
香川縣蠶病豫防吏員	中嶋俊次	養父郡	養蠶教師	森 庄治	美方郡
養蠶教師	西村豊一	美方郡	實業從事	西澤千秋	美方郡
養蠶教師	荒垣希一	養父郡	實業從事	馬場榮治郎	宍粟郡

養蠶教師 夜久健之助 朝來郡 實業從事 大谷新之助 養父郡

明治四十一年七月 第十二回修了生 二十七名

實業從事	谷口敏郎	城崎郡	養蠶教師	吉岡彌太郎	神崎郡
養蠶教師	(天下改) 畠中保太郎	城崎郡	實業從事	田村作一	美方郡
蠶病豫防吏員	江本武一	城崎郡	養蠶教師	山田健三郎	出石郡
實業從事	寺尾 仁	養父郡	蠶病豫防吏員	河本米造	城崎郡
實業從事	土居徳一	愛媛縣	養蠶教師	松岡政治	朝來郡
蠶病豫防吏員	來日昌造	城崎郡	養蠶教師	高見彦一	水上郡
實業從事	今川與一	京都府	養蠶教師	田中安藏	水上郡
實業從事	松原彌之助	養父郡	養蠶教師	吉谷清一	城崎郡
養蠶教師	龜井金助	水上郡	實業從事	清水龜治	備磨郡
養蠶教師	朝倉金次	朝來郡	鳥取縣蠶病豫防吏員	山榊正保	鳥取縣
實業從事	田野豊太郎	美方郡	實業從事	田中彌一	朝來郡
實業從事	河南貞次郎	多紀郡	實業從事	山口利右衛門	水上郡
養蠶教師	小川吾一郎	多可郡	實業從事	植木卷太郎	水上郡

實業從事 穴田喜滿 美方郡

明治四十二年七月

第十三回修了生

二十一名

佐用郡江川村ノ内西河内村	鳥取縣醫病豫防吏員	重田敬太郎	佐用郡平民
水上郡美和村ノ内酒梨村	養蠶教師	杉山延治	水上郡平民
美方郡射添村ノ内入江村	實業從事	片村忠治	美方郡平民
鳥取縣氣高郡青谷村大字長和瀬村	實業從事	岡田丈吉	鳥取縣平民
佐用郡長谷村ノ内奥金近村	實業從事	金澤熊市	佐用郡平民
水上郡國領村ノ内東中村	實業從事	松川喜三郎	水上郡平民
城崎郡田鶴野村ノ内赤石村	實業從事	江中寛一郎	城崎郡平民
佐用郡長谷村ノ内口長谷村	蠶病豫防吏員	竹田榮太郎	佐用郡平民
多紀郡大山村ノ内大山上村	實業從事	齋藤與兵衛	多紀郡平民
多紀郡畑村ノ内丸山村	實業從事	齋藤林藏	多紀郡平民
川邊郡東谷村ノ内山下町	實業從事	橋本佐七	川邊郡平民
鹿兒嶋縣肝屬郡垂水村本城	實業從事	大窪清信	鹿兒嶋縣士族
養父郡廣谷村ノ内廣谷村	養蠶教師	高階新太郎	養父郡平民

多紀郡味間村ノ内味間奥村	實業從事	酒井忠藏	多紀郡平民
宍粟郡葛澤村ノ内上ノ村	養蠶教師	内海治市	宍粟郡平民
神崎郡寺前村ノ内高朝田村	養蠶教師	北尾松次郎	神崎郡平民
宍粟郡西谷村ノ内内谷村	養蠶教師	黒田政一	宍粟郡平民
宮崎縣東臼杵郡東海村大字大武	實業從事	大野輝吉	宮崎縣平民
岡山縣勝田郡北吉野村大字荒内	實業從事	山本多治郎	岡山縣平民
美方郡温泉村ノ内歌長村	實業從事	山本淺平	美方郡平民
水上郡黒井村ノ内内野村	實業從事	野村文三郎	水上郡平民

① 講習科

明治四十年一月

第一回修了生

四十一名

實業從事	成田伊太郎	城崎郡	蠶病豫防吏員	井上信太郎	美方郡
前出	森孝治郎	城崎郡	死亡	天野正行	島根縣
實業從事	中嶋保和	城崎郡	實業從事	武田茂	城崎郡
實業從事	赤松貞一	養父郡	實業從事	小西善一	城崎郡
實業從事	藤本政之助	城崎郡	實業從事	中嶋民造	城崎郡

○ 卒業生

前出	足立銅之助	水上郡	實業從事	谷垣肅一	城崎郡
養蠶教師	久下萬治	水上郡	實業從事	松田德治	出石郡
實業從事	西村庄助	美方郡	前出	高橋重吉	多紀郡
養蠶教師	赤松保夫	水上郡	實業從事	井上牛太郎	養父郡
養蠶教師	福岡健治郎	安栗郡	養蠶教師	朝野虎之助	美方郡
實業從事	野間源造	京都府	養蠶教師	尾上市太郎	城崎郡
實業從事	岡本菊十郎	城崎郡	實業從事	牧野久太郎	京都府
實業從事	西村源藏	美方郡	實業從事	道盛米久	美方郡
實業從事	今西彌平次	京都府	前出	岸田與太郎	城崎郡
實業從事	足立三重郎	水上郡	前出	藤原義	朝來郡
養蠶教師	松葉喜太郎	出石郡	實業從事	日野春覺	大分縣
蠶種製造業(旗谷改)	安田庫治	出石郡	實業從事	谷垣豐吉	城崎郡
前出	荒垣希一	養父郡	前出	河井元雄	京都府
實業從事	上坂喜一	城崎郡	養蠶教師	榑本熊太郎	美方郡
實業從事	羽淵市太郎	養父郡	實業從事	西村數太郎	美方郡

九〇

明治四十一年一月 第二回修了生

實業從事	小西幸治郎	城崎郡	實業從事	三雲清一	徳嶋縣
實業從事	谷原覺造	城崎郡	實業從事	大禮峯太郎	城崎郡
實業從事	淵上由松	水上郡	養蠶教師	柴田政治	朝來郡
實業從事	早崎重藏	城崎郡	兵士	田口猪之助	水上郡
實業從事	田邊久作	京都府	實業從事	武中政太郎	城崎郡
養蠶教師	田中福藏	美方郡	實業從事	橋本豐助	城崎郡
實業從事	小山正太郎	城崎郡	前出	朝倉金次	朝來郡
實業從事	田畑賢一	安栗郡	養蠶教師	永井清太郎	多可郡
實業從事	竹中壽三郎	城崎郡	實業從事	藤林六郎	京都府
養蠶教師	中嶋幹造	出石郡	實業從事	糸乘貞市	城崎郡
前出	松原彌之助	養父郡	實業從事	仲井重吉	城崎郡
實業從事	安東源藏	城崎郡	前出	吉岡彌太郎	神崎郡
養蠶教師	足立丑藏	水上郡	實業從事	藤原盛太	神崎郡
前出	田野豐太郎	美方郡			

三十七名

卒業生

九一

實業從事	官垣憲治郎	水上郡	養蠶教師	井上彌太郎	水上郡
實業從事	谷掛久太郎	多紀郡	養蠶教師	上治菊太郎	美方郡
前出	來日昌造	城崎郡	養蠶教師	水口廣吉	出石郡
前出	齋藤與兵衛	多紀郡	養蠶教師	穴田芳藏	美方郡
實業從事	大西金次	水上郡	養蠶教師	水口寅吉	出石郡
實業從事	中山熊藏	美方郡			
明治四十二年一月 第三回修了生 四十二名					
步兵第廿聯隊	保田精一郎	城崎郡	兵士	橋本昌	城崎郡
實業從事	長砂宇吉郎	城崎郡	實業從事	岡田健一	城崎郡
養蠶教師	赤木實藏	城崎郡	養蠶教師	藤原竹治	城崎郡
實業從事	谷口壯一	佐用郡	實業從事	上坂作造	城崎郡
實業從事	神內孫三郎	京都府	實業從事	有木政治	愛媛縣
養蠶教師	野村安太郎	佐用郡	實業從事	神谷佐太郎	朝來郡
前出	重田敬太郎	佐用郡	養蠶教師	今中喜一	多可郡
實業從事	難波茂七郎	神崎郡	實業從事	和田音吉	赤穂郡

養蠶教師	今中政治	多可郡	實業從事	小山覺治	城崎郡
死亡	小川藤吉	出石郡	實業從事	岡田充太郎	城崎郡
實業從事	小田垣吉治	城崎郡	實業從事	船引土松	佐用郡
實業從事	太田庄吉	美方郡	實業從事	杉立昌一	城崎郡
實業從事	足立敷雄	水上郡	死亡	大岸武道	美方郡
實業從事	二位民之助	城崎郡	前出	金澤熊市	佐用郡
實業從事	太田垣太作	朝來郡	實業從事	福井信太郎	美方郡
養蠶教師	畑中敬治郎	多可郡	養蠶教師	濟木文太郎	美方郡
實業從事	村尾久太郎	美方郡	實業從事	谷垣勝太郎	養父郡
實業從事	田中久茂	城崎郡	死亡	東井信海	出石郡
實業從事	宮嶋英一	出石郡	前出	北尾松次郎	神崎郡
實業從事	道下清一	出石郡	實業從事	吉良清一	京都府
實業從事	瀬尾菊太郎	城崎郡	養蠶教師	正垣岩藏	養父郡

明治四十三年一月

第四回修了生

二十八名

養父郡廣谷村ノ内小城村

卒業生

實業從事

松田仙三郎

養父郡平民

美方郡小代村ノ内神水村	鬮病豫防吏員	毛戸政吉	美方郡平民
有馬郡小野村ノ内乙原村	實業從事	住鹿之助	有馬郡平民
朝來郡梁瀬村ノ内大月村	實業從事	佐野甚之助	朝來郡平民
出石郡高橋村ノ内後村	實業從事	石田鉄造	出石郡平民
出石郡神美村ノ内袴狹村	實業從事	宮下保	出石郡平民
朝來郡枚田村ノ内桑原村	實業從事	安積秋次	朝來郡平民
出石郡高橋村ノ内東中村	實業從事	田中謙之助	出石郡平民
有馬郡中野村ノ内上青野村	實業從事	五十嵐貞治	有馬郡平民
朝來郡山口村ノ内岩津村	養蠶教師	須田一	朝來郡土族
出石郡資母村ノ内奥赤花村	養蠶教師	伊崎淺次	出石郡平民
城崎郡田鶴野村ノ内下鶴井村	實業從事	北邦司	城崎郡平民
朝來郡生野町ノ内森垣村	實業從事	宮本甚太郎	朝來郡平民
養父郡廣谷村ノ内小城村	實業從事	長嶋治夫	養父郡平民
養父郡高柳村ノ内八木村	實業從事	平野順治	養父郡平民
城崎郡國府村ノ内上佐野村	實業從事	田和千代吉	城崎郡平民

城崎郡八條村ノ内九日市上ノ町村	實業從事	宮村精市	城崎郡平民
多可郡杉原谷村ノ内大河村	養蠶教師	藤田孝太郎	多可郡平民
養父郡高柳村ノ内八木村	實業從事	小林基一	養父郡平民
安栗郡西谷村ノ内齊木村	養蠶教師	菅谷兵吉	安栗郡平民
出石郡高橋村ノ内正法寺村	養蠶教師	山田利一郎	出石郡平民
養父郡南谷村ノ内宮本村	養蠶教師	多村治惣治	養父郡平民
城崎郡清瀧村ノ内太田村	實業從事	向藤原長太郎	城崎郡平民
養父郡關宮村ノ内吉井村	實業從事	井上莊太郎	養父郡平民
安栗郡菅野村ノ内青木村	實業從事	小林治郎吉	安栗郡平民
養父郡宿南村ノ内青山村	養蠶教師	多田徳助	養父郡平民
養父郡宿南村ノ内淺倉村	實業從事	成田徳太郎	養父郡平民
京都府天田郡曾我井村字和久市	實業從事	今田源太郎	京都府平民

合計 六百九十二名
 本 科 男子部 二百六十六名
 別 科 女子部 四十二名
 講 習 科 二百三十六名
 百四十八名

○第九 桑園

九六

(一) 桑園ノ概況

本校桑園反別ハ合計二町二反三畝十五歩ニシテ其區別左ノ如シ

第一號桑園	八畝四歩	第二號桑園	六畝三歩
第三號桑園	六畝廿四歩	第四號桑園	九畝十五歩
第五號桑園	五反五畝二十三歩	第六號肥料小屋敷地	三畝七歩
第七號通路地	六畝二歩	第八號溝渠地	一畝十歩
第九號塵芥捨場	二十五歩	網場桑園	一町一反八畝十二歩
		全附屬地	七畝十歩

◎桑園ノ土質

本校桑園中網場桑園ヲ除キ他ノ桑園ノ土質ハ重粘土ニシテ表土頗ル淺ク僅カニ四五寸ニ過ギズ而シテ地下水表面亦甚淺ク地表ヲ去ルコト僅ニ一尺五寸乃至二尺ノ處ニアリ加フルニ地面低ク四邊皆卑濕ナル水田ナルヲ以テ排水ノ効ヲ奏セス一朝降雨アラシカ畦間ノ如キ雨水ノ滯留フルコト數日ニ亘ル此ノ如キ地形ナルヲ以テ元來桑樹ノ發育頗ル不良ナリト雖モ創立以來銳意土肥ノ肥膏ニ務メ栽培法ニ注意セルカ故ニ近年ニ至リ桑樹ノ繁茂頗ニ良好トナレリ

◎桑樹ノ病害

桑樹ノ病害ハ年々豫防驅除ニ務ムト雖モ土地既ニ桑園トシテ不適當ナルニヨリ其害甚ナカラズ害虫トシテ其害ノ甚シキハ天牛、尺蠖、金蜘蛛、介殼虫、桑螟蛾等ニシテミドリヨコバイ、アカフヨコバイ、クハシラミ、クダマキモドキ之ニ次ギアカハラヒトリ(赤毛虫)キハラゴマダラヒトリ(巢虫)オホケンモン(白蜘蛛)ナシケンモン、クハコノガ(野蠶)ヒメヅウムシ、ピロウドコガネ、クハハムシ、ヒメハムシ、カサハラハムシ等多少發生ス亦本年五月ニハ五號桑園根刈仕立ノ部ニ蛭蟻ノ發生多ク第二化目ノモノ夏芽ヲ害スルノ恐アリタルニヨリ銳意之ヲ驅除ニ務メタリシヲ以テ幸ニ其害ヲ免ル、コトヲ得タリ

害虫トシテハ年々害藥病、白澁病ノ二種最多ク稀ニハ赤澁病、枝枯病、桑椹結核病等ヲ見ルコトアリ

其他ノ病害トシテ本校桑園ニ多キハ萎縮病ニシテ之ヲ爲被ムル損害ハ少ナカラサルモ地下水淺キ爲如何ニ栽培管理ニ注意スルモ之ヲ防クコトヲ得サルハ遺憾ノ至リナリ

(二) 桑樹ノ種類

第一號桑園 本園ハ見本桑園ニシテ明治四十年四月左ノ桑樹ヲ栽植シ根刈仕立トナシタリ

早生桑 伊太利、節曲赤、雄鶴早生、白早生、柳田、奎早生、多胡早生、本大和、但馬早生、木大和

中生桑 九紋龍、鶴田、彦次郎、畦倒シ、大伊達、平次郎、小左衛門、青木、四ッ目、小牧、群馬赤木、

中澤、山中高助、椿桑

○桑園

九七

晚生桑 小幡、達磨、根小屋高助、鼠返、午房桑、細枝

早生桑各種四十株宛他ハ二十株宛ニシテ何レモ畦間四尺株間二尺ニ栽植シアリ

第二號桑園 中間木ヲ植付ケ立木仕立トナセリ此ノ桑園ハ周圍ニ建築物多キ爲空氣ノ流通悪シク日光ノ透射

充分ナラス常ニ病害ニ犯サル、コト多シ故ニ之カ驅除豫防ニ務ムルヲ以テ桑樹ノ繁茂ハ良好ナリ

第三號桑園 此ノ桑園ノ一部凡ソ二十歩ハ園藝場ナリシモ本年ハ之ヲ廢シテ茲ニ多胡早生ヲ植ヘ九拳式、八

拳式、六拳式、四拳式、三拳式、二拳式等各種ノ仕立トナシ以テ桑樹仕立法ノ見本園トナセリ殘部ハ二等分

シテ魯桑實生、及ヒ小牧ヲ栽植シアルモ近來萎縮病ニ犯サル、コト多ク爲ニ發育不良ナリ

第四號桑園 三十五年四月ニ嶋村、及節曲ノ二種ヲ植ヘ込ミ根刈仕立トナシ培養ニ務メ爲ニ株肥ヘ枝繁リ從

ツテ收穫多量ニ上リタルモ萎縮病ニ犯サレタルモノ多カリシヨリ秋期ニ於テ全部掘起シ溝堀リトナシ翌春

ニ至リ中生桑甲撰ヲ栽植スベク準備セリ

第五號桑園 此區ハ大部分但馬地方特有ノ立木仕立ナリ即チ栽植ノ歲地際ヨリ二尺五寸ノ處ニ於テ本幹ヲ切

斷シ其年發生シタル數芽ノ内良好ナルモノ三芽ヲ殘シテ成長セシメ二年目ニ於テ前年成長シタル枝ヲ各幹際

ヨリ一尺五寸乃至二尺ヲ殘シテ切斷シ其年發生セシモノ、内良好ナルモノ三芽又ハ四芽ヲ殘シテ成長セシメ

爾後自然ノ成長ニ放任シ三年目又ハ四年目ヨリ收穫スルナリ而シテ時々贅芽又ハ垂枝ヲ剪伐シテ以テ樹形ヲ

整理シ收穫ハ新稍ヲ擷キ取ル種類ハ中間木ナリ

此區ノ南方凡ツ一反歩ニハ早生桑伊達市平チ畦間五尺株間三尺ノ割合ニ栽植シ根刈仕立トナセルカ發育最モ

良好ナリ

網場桑園 本桑園ハ八鹿村之内上網場村宇上川原ト稱シ圓山川ノ沿岸ニアリ學校ヲ距ルコト二十町計リ土質

ハ砂礫土ニシテ空氣ノ流通尤モ良キ所ナレハ桑園トシテ好適ナルモ從來土地荒廢セルニヨリ桑樹ノ繁茂極メ

テ不良ナリ然ルニ明治四十一年ヨリ學校ノ所有トナリ培養ニ務メタルヲ以テ近年樹勢ヲ恢復スルニ至レリ桑

樹ハ中間木ニシテ立木仕立ナリ

全附屬地ハ沼地ニシテ年々土壤堆積スルヲ以テ本桑園ニ其土壤ヲ入レ以テ土質改良ノ資ニ供セリ

(三) 耕耘及施肥

耕耘及施肥ハ概略四期ニ分テ之ヲ行ヘリ即チ發芽前一回收穫後一回七月中旬ヨリ八月上旬ノ間ニ一回及落葉

後之ナリ耕耘ノ方法ハ刈桑園ト立木仕立桑園トノ間ニハ多少異ナル所アリ即チ刈桑ニアリテハ土地濕潤ナル

ニヨリ常ニ株際ニ土ヲ盛り畦ノ中央ハ溝トナシ潑水ノ憂ヒナカテシムルト雖モ立木仕立ニアリテハ常ニ地面ヲ

平トナス只施肥ヲ行フ場合ニノミ地形ヲ變スルノミ施肥ハ春期畦間ヲ堀リテ溝トナシ其内ニ腐熟セル堆肥ヲ施

シ其上ヲ土ニテ被ヒ他ニハ株間ヲ堀リテ壺トナシ人糞尿ヲ施ス收穫後ニアリテハ耕耘ト同時ニ亦人糞尿ヲ施シ

八月ノ頃ニ至レハ青柴草若シクハ堆肥ヲ施スナリ

(四) 生徒ノ桑樹栽培實習

●桑園

園

桑園ノ耕耘除草及ヒ施肥ハ主トシテ生徒ニ行ハシメ傍ヲ接木法、苗取法ヲ課ス亦桑樹ノ病虫害ハ其發生ノ時期ヲ見テ之ヲ驅除豫防ノ法ヲ授ケテ以テ學理ノ印象ヲ深カラシム

○第十 生徒養蠶實習

(一) 春 蠶 實 習

本年春蠶實習ヲ課シタルハ本科男子部二年級二十三名全一年級三十八名女子部十四名別科二十四名トス本科男子部ハ混合シ四名乃至八名ヲ以テ一組ト爲シ南側一號室ヨリ六號室マテ併ニ舊寄宿舎三室ヲ割キテ蠶室トナシタルモノニ收容シ別科生ハ六人宛ヲ以テ一組トナシ南側蠶室七號ヨリ十號室マテニ收容シ女子部ハ四名乃至五名ヲ一組トシテ北側蠶室一號室ヨリ三號室マデニ收容シ各主任教師ノ下ニ飼育實習ニ從事セシメタリ

- 四月十三日 ヨリ天候ノ模様ニヨリ實習準備ニ着手セリ即チ左ノ如シ
- 四月十三日 蠶室ノ掃除及蠶具ノ洗滌
- 四月十四日 貯桑室ノ掃除、貯桑籠ノ洗滌及ヒ蠶室周圍ノ掃除
- 四月十五日 學課
- 四月十六日 蠶架ノ組立及ヒ障子張
- 四月十七日 學課
- 四月十八日 日曜

- 四月十九日 學課
- 四月二十日 學課
- 四月二十一日 蠶室ノ消毒 桑樹害虫ノ驅除
- 四月二十二日 學課
- 四月二十三日 學課
- 四月二十四日 午前二時凍害豫防法
- 四月二十五日 日曜
- 四月二十六日 蠶具類ノ消毒
- 四月二十七日 全上
- 四月二十八日 學課
- 四月二十九日 學課
- 四月三十日 臨時休業
- 五月一日 掃立

實習ノ方法

南側第三號室ヲ催青實習室ニ當テ生徒ヲシテ交代ニ温濕度ノ觀測、炭火ノ周旋等ヲナサシメタリ其規程左ノ如

○生徒養蠶實習

催青室觀測心得

- 一 催青室内及室外ノ天氣濕度ノ高低蠶種ノ狀況等ハ毎日左ノ時間ヲ觀測スベシ
午前 一時 五時 八時 十一時 午後 二時 六時 八時 十時
- 二 觀測ハ各級ヲ通シテ其席順ニヨリ毎時刻當番之レヲ行フベシ
若シ差支アリテ之レヲ行フ能ハザルトキハ主任教師ノ許可ヲ受ケ代人ヲ撰定ス可シ
- 三 觀測毎ニ可寧ニ催青室内外ノ狀態及蠶卵ノ色澤其他ノ狀況ニ就テ專心注目シ以テ之ニ關スル技能ヲ練磨セ
ン事ヲ心掛クヘシ
- 四 觀測ノ結果ハ催青室内備付ノ日誌ニ詳細之ヲ記入シ記名捺印スヘシ
- 五 補温其他催青室内ノ處置ハ凡テ擔當教師ノ指揮ニ從フ可シ
- 六 過失若クハ故意ニヨリ觀測ヲ怠リタルトキハ其翌日全時間ノ觀測ヲ行ハシムベシ

實習當直

養蠶中ハ實習當直ヲ設ケ毎日必ス一室ヨリ一人宛之ニ當ラシムヘク伍別ヲ編成シ調桑貯桑ハ勿論戸障子ノ開閉等萬事幹旋セシメタリ該當番ノ心得ヲ規定セルコト左ノ如シ

實習當直心得

- 第一條 當直ハ別ニ定ムル日割ニヨリ執務ス可シ
- 第二條 當直ハ他出ヲ許サス
- 第三條 當直ノ任務ハ當日午前一時ヨリ午後十二時迄トス
- 第四條 當直ノ任務ハ左ノ如シ
 - 一 採桑ヲ收受スル事
 - 二 貯桑並ニ時々手入ヲナスコト
 - 三 剉桑及調理ヲナスコト
 - 四 每給桑前調桑ヲ秤量シテ交付スルコト
 - 五 剉桑毎ニ桑葉收支簿ニ明記スルコト
 - 六 庖丁ヲ剉桑毎ニ砥クコト
 - 七 室内外乾濕計ノ水ヲ入レ替フルコト
 - 八 剉桑場ノ拂拭掃除及諸器具ヲ整頓スルコト
 - 九 最終ノ給桑后桑葉收支簿ニ主任教師ノ認印ヲ受ケ次日ノ當直ニ引繼クコト
- 第五條 蠶兒ノ第四齡ヨリ貯桑當番ヲ置キ翌日ノ當直ヲ以テ之ニ充ツ
- 第六條 以上ノ外凡テ主任教師ノ指示ニ服從執務ス可シ

生徒養蠶實習

飼育中ハ夜間觀測當番ヲ設ケ生徒ヲシテ交代ニ蠶室ヲ巡回セシメ左ノ任務ヲ負ハシメタリ

夜間觀測當番心得

- 第一項 夜間觀測當番ハ室及席ノ順序ニ依リ第三項規定ノ時間内一時間毎ニ交代シ室内室外ノ温濕度及其他ノ要件ヲ觀測シ之ヲ各室内ニ備付ケタル觀測簿ニ記入ス可シ
 - 第二項 前項觀測ノ外火爐拔氣窓或ハ戸障子等ノ狀況ニ注目シ蠶兒ノ衛生及火ノ元ニ注意スヘシ
 - 第三項 觀測時刻ハ毎日午前九時ニ始マリ翌日午前四時ニ終ルモノトス
 - 第四項 異常ノ狀況或ハ事件ヲ發見シタルトキハ主任教師及其室員ニ報告シ適當ノ手段ヲ執ル可シ
 - 第五項 自己ノ當番終リタルトキハ直ニ當番標ヲ次ノ當番ニ引繼ギ豫メ其當番セルヲ通知シ置ク可シ
 - 第六項 支障ノ爲メ當番ニ當リ難キ場合ニ於テハ主任教師ノ許可ヲ受ケ代人ヲ選定スヘシ
 - 第七項 當番其任務ヲ果サ、ルカ或ハ誤テ之ヲ怠ルトキハ其翌日全時間ノ當番ヲ擔當セシムルモノトス
- 一般生徒ノ服膺スベキ實習心得ヲ示スコト左ノ如シ

實習心得

- 第一條 誠實熱心實習ニ從事シ専ラ教師ノ指導ニ服従ス可シ
- 第二條 常ニ順整清潔ヲ貴ビ不潔ノ行爲アルベカラズ
- 第三條 毎給桑前氣象ノ觀測ヲナシ温濕度其他ノ調査ヲ怠ラズ日誌ニ記入スヘシ

第四條 毎給桑后其給桑量及蠶沙ノ乾濕度合蠶兒ノ舉動其他注意スヘキ事項ヲ日誌ニ記入スヘシ

第五條 毎給桑后次回ノ給桑量ヲ豫定シ各室毎ニ當直ニ請求ス可シ

第六條 採桑ハ専ラ教師ノ指揮ヲ守リ桑樹ヲ害シ且ツ農作物ヲ踏ミ荒サ、ル様注意スヘシ

第七條 桑葉ハ大切ニ取扱ヒ仮令一葉ト雖モ撒亂放棄スベカラズ

第八條 給桑量及炭火等ヲ勝手ニ増減ス可カラズ

第九條 蠶具ノ取扱方ハ鄭重ニナシ其都度所定ノ位置ニ整置スヘシ若シ破損紛失シタルトキハ室長ヲ經テ教師ニ申出ツ可シ但シ故意ニナシタルトキハ之ヲ辨償セシム

第十條 火ノ元ヲ嚴密ニ注意スヘシ

第十一條 蠶室内ハ特ニ靜肅ニナシ奔走或ハ亂暴ノ行爲ヲナスベカラズ

第十二條 各室ニ室長一名ヲ置ク其任務左ノ如シ

- 一 蠶室ノ拂拭及器具ノ整頓ヲ督勵スルコト
- 二 主任教師ノ指揮ヲ受ケ其室整理ノ責ニ任ス

蠶種ノ貯藏及催青

蠶種ハ昨年生徒ノ採種セル一化性又昔ニシテ本年一月十二日ニ洗滌ヲ施シ二月三日ニ貯藏器ニ收メ四月十一日マテ貯藏セリ今貯藏中ノ温度ヲ月別トナシ示ストキハ左ノ如シ

○ 生徒養蠶實習

月	最高	最低	平均
二月中	四七、〇	三一	三五、六
三月中	五六、〇	三一	四三、三
四月中	五九、〇	三七	五一、〇

四月十二日貯藏器ヲ開封シ自然ノ温度ニ感觸セシメ全十六日ヨリ催青室ニ移シ標準温度ヲ定メ全二十二日ヨリ火力ヲ使用シ漸進法ニヨリテ催青シ五月一日ヲ以テ掃立チ行ヘリ左ニ催青中ノ温濕度觀測表ヲ示セハ左ノ如シ

月 日	晴 雨	温 室 度	温 外 度	温 催 青 室 度	温 内 度
四月十二日	晴	五三、〇	：	五三、三	：
四月十三日	快晴	六四、七	：	六二、七	：
四月十四日	曇	六三、七	：	六四、七	：
四月十五日	曇	四八、七	：	五二、〇	：
四月十六日	晴	三三、三	：	四八、〇	：
四月十七日	快晴	五六、三	：	五七、〇	：
四月十八日	晴	五三、七	：	六三、七	：
四月十九日	曇后雨	五〇、〇	：	五〇、三	：

四月二十日	曇	五五、〇	：	五五、八	：
四月廿一日	晴	六一、〇	：	六一、〇	：
四月廿二日	晴	五七、八	七四、三	六二、三	六八、八
四月廿三日	晴	五二、六	六三、〇	五八、五	六七、三
四月廿四日	快晴	五九、八	五三、九	六一、〇	五五、八
四月廿五日	快晴	六三、六	五八、〇	六九、一	五八、一
四月廿六日	晴	六五、八	五三、六	七〇、五	五七、〇
四月廿七日	曇后晴	六四、四	七〇、九	七二、一	六二、六
四月廿八日	晴后雨	五七、九	八八、三	七二、九	六四、七
四月廿九日	雨	四九、七	七一、七	六九、九	五五、一
四月三十日	雨后晴	五一、三	七三、七	七一、七	六三、九

掃 立

收蟻ハ打落法ニ依レリ即前日包紙ヲ以テ包ミ置キタルモノヲ掃立當時ニ至リ包紙ヲ開キ大ナル硝子板上ニ覆卵紙ヲ下向ケトナシ板上ヲ去ル二三寸ノ高サニ於テ羽簾ノ柄ヲ以テ臺紙ノ裏面ヲ二三回摺ケ様ニ打チテ蟻糞ヲ落シ直ニ蟻量ヲ秤量シテ各室ニ分配セリ

○ 生徒養蠶實習

蟻糞ハ掃立紙ノ上ニ適宜ニ擴グ其細碎セル粉糖ヲ撒布シ呼出桑ト稱シ蟻量一匁ニ對シ凡ソ一匁ノ割合ヲ以テ桑葉ヲ與ヘ蟻兒ノ匍ヒ上ルヲ待テ更ニ少許ノ糖ヲ振りテ攪拌シ之ヲ一尺平方ノ割台ニ擴グ少時間ヲ經テ桑葉三匁ヲ給與シ以テ掃立トナス

生徒ノ實習ニ供シタル蟻量ハ合計四十九匁五分ニシテ一人五分宛ヲ飼育セリ之ヲ細別スレハ左ノ如シ

一 蟻量十一匁五分	本科二年生
一 全 十九 匁	全 一年生
一 全 七 匁	全 女子部
一 全 十二 匁	別 科 生

蟻兒ノ發育經過

第一齡 本齡中ハ氣候適順ニシテ大雨モナク亦強風モナク時トシテ氣温ニ激變アリタルモ蟻兒ノ發育ニ惡影響ヲ及ボズ程ノコトモナク爲ニ蟻座ハ適當ノ乾燥ヲナシ蟻兒ノ舉動活潑ニシテ良好ノ發育ヲ遂ゲタリ

第二齡 本齡中ハ氣温常ニ低ク爲ニ蟻座ノ狀態不良ナリシカハ火力ヲ使用シテ排濕ト補温トニカメ無事ニ發育經過セシムルコトヲ得タリ

第三齡 本齡前半期ハ雨多ク且氣温低カリシニヨリ室内多濕ニシテ蟻兒ノ舉動不活潑ナリシモ後半期ニ至リ天候恢復シテ蟻兒ノ發育ニ適應セルヲ以テ大ニ元氣旺盛トナリ發育經過良好ナリシ

第四齡 本齡中ハ日々晴天打チ續キ且温暖ナリシ故ニ飼育容易ニシテ蟻兒ノ發育ハ尤モ良好ナリシ

第五齡 本齡中ノ天候ハ前齡ト同一ニシテ晴天續キナリシモ氣温ハ遙カニ高カリシヲ以テ蟻兒ノ發育ヲ大ニ促進セシメタリ

蟻兒ノ發育經過表ヲ示セバ左ノ如シ

齡	南 側 室				北 側 室			
	飼育月日	休眠月日	停食月日	經過日數	飼育月日	休眠月日	停食月日	經過日數
第一齡	五月十一日	五月五日	五月六日	六日	五月十一日	五月五日	五月六日	六日
第二齡	五月十七日	五月十日	五月十一日	五日	五月十七日	五月十日	五月十一日	五日
第三齡	五月二十三日	五月十七日	五月十八日	六日	五月二十三日	五月十七日	五月十八日	六日
第四齡	五月三十日	五月廿四日	五月廿五日	六日	五月三十日	五月廿四日	五月廿五日	六日
第五齡	六月六日	六月三日	六月三日	七日	六月六日	六月三日	六月三日	七日
計				卅三日				卅三日

右飼育ニ對スル收繭額左表ノ如シ

第一齡	五月十一日 午前十一時	五月五日 午後八時	五月六日 午前七時	四日ト一日ト六日ト	二十時間 七時間 三時間	七、〇	六七、〇	三元	二、六〇
第二齡	五月七日 午後二時	五月十日 午後十一時	五月十一日 午前十時	三日ト一日ト五日ト	二十時間 廿三時間 十九時間	六、〇	七四、〇	二元	六、六五
第三齡	五月十三日 午前九時	五月十七日 午後二時半	五月十八日 午前九時	五日間 二日間 七日間	六、〇	六、〇	六、〇	三元	二、三〇
第四齡	五月二十日 午前九時	五月廿四日 午後五時	五月廿五日 午前五時	四日ト二日ト七日ト	二十時間 九時間 五時間	六、〇	六三、〇	三元	八、五四
第五齡	五月廿七日 午後二時	六月一日 午後十時	六月四日 午前五時	七日ト	七、〇	七、〇	七、〇	四、〇	三、九一八
計				廿六日ト 三時間	七、〇 十五時間 十八時間	七、〇	六、二	一、七六	五、六〇五

收繭總量 百四十九貫五百八十七匁

内上 繭 百二十九貫九百六十八匁

中 繭 四貫四百二十七匁

下 繭 一貫〇四十九匁

同功繭 十四貫百四十三匁

繭量一匁ニ改算スレバ左ノ如シ

收繭總量 三貫〇二十二匁

内上 繭 二貫六百二十六匁
 中 繭 八十九匁
 下 繭 二十一匁
 同功繭 二百八十六匁

(二) 繭種ノ製造及成績

全校生徒ヲシテ繭種製造法ヲ課スル爲各自ノ飼育シタルモノヨリ種繭トシテ三百粒宛ヲ撰別セシメ南北兩側繭室共第二號室ニ集メ蠶軀驅除ノ設備ヲナシ種繭ヲ保護シタルニ上簇後十九日ヨリ六月二十二日ヨリ發繭ヲ始メ繭種製造ニ着手シ全二十五日ニ結了セリ

繭種ハ之ヲ鏡檢シ一般當業者ニ配布セリ検査ノ成績ハ左ノ如シ

明治四十二年度繭種検査成績

種 類	製造蛾數	欠蛾其他	検査蛾數	無毒蛾數	有毒蛾數	有毒歩合百分率
一化性又昔	一〇、〇五六	二九〇	九、七六六	九、三六九	三九七	四、一

(三) 秋 蠶 實 習 備 考

○ 生徒養蠶實習

本年秋季發育ヲ課シタルハ本科生男子部ニシテ一年級三十七名二年級二十二名ナリ
 一年級二年級ヲ混同シテ南北ノ兩室ニ配置シ七月十日十一日ノ兩日ニ蠶室ノ掃除蠶具ノ洗濯及消毒ヲ行ヒテ
 準備ヲナセリ

催青及掃立

蠶種ハ山梨縣東山梨郡上方力村代永金太郎氏ノ採種ニ係ル一化性風穴秋蠶種國富ニシテ七月二日出穴七月八日
 午後二時着校直ニ開封シテ舊寄宿舎ノ一室ヲ催青室ニ當テ生徒ヲシテ催青セシム其觀測温濕度ハ左ノ如シ

秋蠶種催青中温濕度表

月日	晴雨	最高室	最低室	平均室	最高內	最低內	平均內
七月八日	曇	七八	七六	七六、七	八〇	七九	七九、三
七月九日	曇	八〇	七二	七六、八	八三	七九	八〇、二
七月十日	曇	七八	七四	七六、二	八〇	七九	七九、四
七月十一日	晴	八一	七四	七七、六	八四	七三	七七、二

斯クシテ七月十二日午前十時打浴法ニヨリ掃立ヲナス總蠶量十二匁即チ生徒一人ニ對シ二分宛ナリ

蠶兒ノ發育經過

第一齡 本齡中ハ曇天勝ニシテ南風多ク蒸熱甚シク飼育困難ナリシ

第二齡 本齡ハ晴天ニシテ氣温高ク飼育困難ナリシモ蠶兒ノ發育ハ齊一ナリ

第三齡 本齡ハ晴天ニシテ温度高ク濕氣少ク爲ニ蠶座ノ狀態適當ニシテ蠶兒ノ發育良好ナリシ

第四齡 前齡ト異ナラス

第五齡 本齡中ハ晴天ニシテ時々驟雨アリタルヲ以テ乾濕ノ調和宜シク且ツ高温ナリシヲ以テ常ニ蠶兒ハ活潑

ニ發育シ病蠶等ヲ生スルコト少クシテ上簇スルニ至レリ

今其經過表ヲ示セハ左ノ如シ

南側蠶室

齡	掃立及飼	停食及上	竣脱月日	經過日	全日數	室內温濕度	蠶量一匁ニ對スル給桑量
一齡	七月十二日 午前十一時	七月十五日 午前十二時	七月十六日 午前十一時	三十一日	三十一日	八三、六	三〇、一
二齡	七月十六日 午前五時半	七月十八日 午前四時半	七月十九日 午前十一時	三十一日	三十一日	八五、〇	三三
三齡	七月十九日 午前十一時	七月廿一日 午後五時半	七月廿二日 午前十一時	三十一日	三十一日	八一、八	三三
四齡	七月廿二日 午後五時半	七月廿五日 午後四時半	七月廿六日 午後十時	三十一日	三十一日	八二、〇	三三
五齡	七月廿六日 午後十時	八月一日 午前六時	六日	六日	六日	八三、六	三五
計				六十七日	六十七日		一九二

種別	日次		最高	最低	湿度	降水量	向風力	天氣	摘	要
	午前	午後								
一 齡	七月十二日	七月十五日	八、七	一、二、五	六五		西	快晴霜アリ		
二 齡	七月十一日	七月十四日	一三、五	一、一、〇	六一		北	快晴霜アリ		
三 齡	七月十日	七月十三日	一六、七	一、七、五	六〇		南	曇		
計										

八月四日收繭ヲ行ヒタルニ左ノ結果ヲ得タリ

- 一、收繭總量二十三貫百八十一匁
- 内上 繭 十八貫八百十八匁
- 中 繭 八百十六匁
- 下 繭 七百二十四匁
- 同功繭 二貫八百二十三匁

繭量一匁ニ對スル各種繭繭ノ割合ヲ見ルニ左ノ如シ

- 上 繭 一貫五百六十八匁
- 中 繭 六十八匁
- 下 繭 六十匁
- 同功繭 二百三十五匁
- 計 一貫九百三十一匁

(四) 養蠶期中ノ氣象

參考ノ爲明治四十二年四月ヨリ八月ニ至ル五ヶ月間當校ニ於ケル氣象觀測ノ結果ヲ掲グ但毎日午前十時ノ觀測ニシテ温度ハ攝氏ヲ以テ示ス

明治四十二年四月

種別	日次		最高	最低	湿度	降水量	向風力	天氣	摘	要
	午前	午後								
一 日	八、七	一、七、〇	一、二、五	六五			西	快晴霜アリ		
二 日	一三、五	一八、〇	一、一、〇	六一			北	快晴霜アリ		
三 日	一六、七	一七、五	四、〇	六〇			南	曇		

生徒養蠶實習

四日	一六、二	二〇、三	四、〇	六八	二、四	東	軟	晴	午後十時頃ヨリ小雨
五日	一四、二	二二、二	七、九	八四	西	和	曇		
六日	一六、七	一七、七	六、五	六三	南	強	曇	午後四時頃ヨリ雨	
七日	七、二	八、二	〇、三	五一	北	強	曇		
八日	八、二	一七、〇	〇、〇	七三	西	軟	曇		
九日	一六、七	二三、一	〇、〇	五八	西	和	晴	霜アリ	
十日	二一、九	二四、五	九、〇	四三	西	強	晴	暴風雷鳴アリ、午後四時ヨリ小雨	
十一日	一〇、二	一五、〇	七、五	八六	西	強	晴		
十二日	一四、七	二三、〇	一、〇	四七	北	軟	快晴	霜アリ	
十三日	二二、二	二六、二	六、九	三四	東	和	快晴	霜アリ	
十四日	二〇、四	二二、五	一、三	五三	南	疾	曇	午後二時ヨリ強風、六時ヨリ降雨	
十五日	八、七	一〇、二	八、〇	八四	西	和	雨	昨日來ノ降雨午前十一時止ム	
十六日	九、九	二二、五	二、一	四七	北	軟	快晴		
十七日	二二、二		〇、三	四四	東	和	快晴	霜アリ	

十八日	一八、四	一八、五	一〇、二	六二	西	軟	快晴	午前五時ヨリ強風、午前八時ヨリ雨午後四時止ム
十九日	一四、七	一七、四	九、七	六八	西	軟	曇	
二十日	一六、二	二二、八	一〇、七	六七	北	和	晴	
廿一日	二〇、六	二二、五	一一、〇	四八	北	和	曇	
廿二日	一四、四	一六、二	八、四	六四	北	軟	曇	
廿三日	一五、四	二七、〇	〇、三	四四	西	和	快晴	霜アリ
廿四日	二二、七	二七、一	四、七	三三	西	軟	快晴	
廿五日	二二、一	二五、三	六、〇	三九	南東	強	快晴	午後四時ヨリ曇
廿六日	一九、四	二三、七	一四、五	五一	南	強	曇	
廿七日	二二、二	二三、六	九、二	五六	東	和	晴	午前十一時ヨリ曇午後一時ヨリ三時迄
廿八日	一七、七	一七、四	一五、一	九四			雨	午前五時ヨリ雨
廿九日	一一、六	二二、三	七、四	七三	北東	和	曇	昨夜來雨、午前九時半ヨリ曇
三十日								

○ 生徒養育會
明治四十二年五月

日次	種別	午前十時	最高	最低	湿度	降水量	向風	力	天氣	摘	要
一日		一五、三	二五、九	〇、二	四八		北	靜	晴	午前霜及霧アリ	
二日		二一、〇	二四、四	三、三	四四		南	軟	晴		
三日		二一、五	二四、三	八、五	五七	一、六	南西	軟	曇	午後五時五十八分ヨリ小雨トナル	
四日		一七、四	二三、四	一三、八	七三	一、四	南	軟	曇	前日來ノ降雨午前九時四十分止ム	
五日		一八、九	二七、〇	一三、四	八六	〇、三	南東	靜	雨	午前四時三十分ヨリ小雨トナル間斷アリ午後六時四十分止ム	
六日		二二、五	二二、五	一四、七	七三	〇、一	北西	和	曇	午後九時五十分ヨリ雨トナル	
七日		一八、九	二八、六	一一、九	七二	〇、三	北	軟	曇		
八日		一九、六	二五、七	七、八	四六		北	和	晴		
九日		一七、九	二二、八	五、八	六一		北	軟	曇		
十日		二〇、五	二〇、一	六、九	五五		北	和	曇		
十一日		一五、九	一三、六	一一、八	六九	二、三	北東	軟	曇	午後五時五十分方雨トナル電雷アリ	
十二日		一三、四	一四、四	一〇、四	九〇	七、二	北東	軟	雨	前日來ノ雨午前九時四十分止ム	
十三日		一二、九	二一、六	一〇、三	八七		北	軟	曇		

十四日	一六、二	二二、八	四、九	六〇			北	軟	晴		
十五日	一九、一	一五、〇	七、八	六三	三八、一		北東	軟	曇	午後四時五十分ヨリ降雨	
十六日	一三、六	二〇、二	一〇、五	八七	二、〇		北西	軟	雨	前日來ノ雨午前十一時四十分止ム午後少時間微雨アリシモ其後曇トナリ入夜晴天	
十七日	一八、九	二六、六	三、五	五四			北西	軟	快晴		
十八日	一九、二	二九、四	六、四	六二			北西	軟	快晴		
十九日	二三、〇	二四、七	八、七	五六			南西	和	晴	早朝曇天ナリシガ午前八時頃ヨリ晴天	
二十日	二三、七	二四、六	九、四	五一			北西	疾風	晴		
廿一日	二三、六	二四、三	五、一	四一			東	軟	快晴		
廿二日	一五、一	二七、四	七、〇	七一			北	軟	曇	午前八時五十五分ヨリ雨九時五十五分迄微雨アリ	
廿三日	一七、五	三〇、七	六、四	七五			北東	軟	快晴		
廿四日	二六、八	二八、一	一一、〇	三八			南西	軟	曇		
廿五日	二五、一	二〇、一	一一、五	四四	一〇、三		南	軟	晴	午後薄曇トナリ全九時廿分ヨリ降雨	
廿六日	一九、〇	二二、一	一三、〇	八一	七、八		北	軟	曇	前夜來ノ雨午前八時五十分止ム午後少時小雨後曇天	
廿七日	二〇、一	二四、八	九、七	四九			北	軟	晴		

○ 生徒養育費

廿八日	廿九日	三十日	卅一日
二二、二	二四、五	二五、二	二五、四
二七、八	三一、七	三一、三	二九、七
六、七	八、五	九、〇	一〇、四
三七	三八	四五	五四
南西和	南	北東	北
快晴	快晴	快晴	曇

明治四十一年六月

日次	種別	午前十時	最高	最低	濕度	降水量	向風	力	天氣	摘要
一日		二五、六	三〇、三	一〇、一	五二		北	軟	曇	
二日		二六、六	三〇、七	一三、八	五一		東	軟	曇	
三日		二七、一	三〇、八	一三、四	五〇		南	軟	快晴	
四日		二七、七	二三、一	一四、一	五二	六、八	南東	和	曇	未明ヨリ降雨
五日		二二、七	二二、七	一九、七	七二	三四、九	南東	疾	雨	微雨アリ
六日		二〇、七	一九、七	一七、九	八〇	〇、一	北	和	曇	午後六時前ヨリ曇天
七日		一八、七	二八、五	一六、四	八九	〇、二	北東	軟	雨	

八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日
二二、二	二〇、〇	二〇、八	一七、三	二四、八		二〇、二	二一、〇	二二、三	二四、四	二二、六	一八、七	二一、〇	二〇、五
二二、九	二三、九	二三、五	二五、一		三〇、三	二二、四	二四、〇	二七、八	二七、四	二七、二	二二、〇	二六、四	二三、二
一一、一	一八、六	一五、六	一二、〇	一三、一		一六、六	一五、〇	一二、五	一五、〇	一三、八	一八、〇	一五、〇	一七、〇
五七	九二	五六	五九	五七		七八	六八	六六	六七	七三	九四	七五	九一
一一、一	六、二	六、二	〇、三	一、三	一八、〇			一二、五	一三、五	二七、二	六、五	九、六	一二、八
南	北東	北西		北東	北西	北西	北	西	西	北西	北	北	南
和	軟	軟		軟	疾	疾	疾	和	和	疾	曇	和	和
晴	雨	晴	曇	快晴	雨	雨	曇	時	曇	曇	雨	曇	雨
	午後四時雨止ニ後曇天		午前十一時ヨリ午後一時迄小雨		午前五時ヨリ小雨終夜雨			午後五時半ヨリ六時迄雷雨	午後一時ヨリ七時迄雨		午前一時ヨリ雨		午前四時半ヨリ雨

○ 生徒調査會

日次	午前十時	最高	最低	湿度	降水量	向風	風力	天氣	摘	要
廿二日	二三、四	二七、八	一一、一	六七	〇、三	西	和	晴		
廿三日	二七、三	二八、五	一八、六	六九	〇、二	東	疾	晴		
廿四日	二七、七	二七、六	二〇、〇	九六	五八、九	西	和	曇	午前十一時ヨリ雨	
廿五日	二一、二	二二、三	二〇、五	九六	二、七	北	強	雨	午後五時ヨリ曇	
廿六日	二二、七	二五、〇	一八、七	八六	二五、三	南	和	曇	午前三時ヨリ九時迄雨午後八時ヨリ雨	
廿七日	二〇、六	二五、〇	一九、〇	九九	〇、二			雨	昨夜來雨之、キ午後三時止ム	
廿八日	二五、五	三〇、三	一七、五	七三	八、七	西	軟	晴		
廿九日	二〇、八	二二、〇	二〇、〇	九一	二六、七	南	和	雨	午前七時頃ヨリ雨	
三十日	二一、〇	二二、七	一八、五	九一	一、一	北	強	雨	午後十一時ヨリ曇	

明治四十二年七月

日次	午前十時	最高	最低	湿度	降水量	向風	風力	天氣	摘	要
一日	二二、〇	二二、三	一七、二	八〇		東	軟	曇		
二日	一九、八	一九、七	一五、五	八四	二、六	北	軟	曇	午後六時ヨリ雨	

日次	午前十時	最高	最低	湿度	降水量	向風	風力	天氣	摘	要
三日	一八、六	二〇、七	一五、五	七六		北	軟	曇	午前一時雨止ム	
四日	二〇、七	二二、七	一一、二	六三	七、〇	北	和	晴		
五日	一八、九	二二、〇	一七、二	九二	七、七	南	軟	雨	午前六時ヨリ雨	
六日	二一、〇	二五、六	一八、四	八三	一一、三			曇	午後七時ヨリ雨	
七日	二三、二	二五、二	二〇、六	七六	三三、〇	北	強	曇	午後四時ヨリ九時迄雨	
八日	二三、〇	二四、五	二〇、〇	八四	二、〇	北東	軟	晴	時々雨	
九日	二二、七	二六、〇	一九、五	九〇	〇、三	北西	和	曇		
十日	二四、五	二六、三	二〇、〇	八二	〇、五	北東	軟	曇		
十一日	二六、五	二八、三	一七、五	七二	一、七	東	軟	曇		
十二日	二五、四	三一、二	二二、五	九三	〇、五	南	和	曇	午前六時頃ヨリ雨午後又雨	
十三日	二九、七	三二、五	二四、〇	九八		南	和	曇		
十四日	三二、三	三四、五	二二、五	七九		北東	和	快晴		
十五日	三一、四	三三、五	二二、五	九二		西	軟	晴	午後五時頃曇雷鳴	
十六日	三二、四	三三、二	二二、五	六二		東	軟	晴		

● 生徒養護費

十七日	三〇、四	三四、〇	二三、五	六二	西	快晴	午後二時夕立約三十分雷鳴
十八日	三一、五	三四、三	二三、〇	六三	西	和	
十九日	三一、〇	三二、五	二三、〇	五八	西	快晴	
二十日	二三、四	三一、七	二三、〇	七四	西	和	
廿一日	三一、六	三四、八	二三、〇	七九	西	和	
廿二日	三一、五	三四、六	二二、六	五六	西	和	
廿三日	三一、〇	三二、七	二三、九	六五	南	快晴	午前三時頃迄三十分間夕立
廿四日	三〇、三	三三、四	二二、〇	六八	南	快晴	午後七時三十分雷雨
廿五日	三〇、四	三二、七	二二、五	六八	南	和	
廿六日	三一、三	三四、〇	二三、五	五八	西	和	
廿七日	三一、五	三四、一	二三、八	六六	北	和	午後〇時三十分頃雷雨
廿八日	三〇、一	三四、八	二二、五	六八	西	和	
廿九日	三一、一	三四、〇	二二、五	六五	南	和	
三十日	三〇、六	三二、八	二〇、五	六八	南	快晴	

一二四

卅一日	三〇、八	三三、二	二三、五	六七	南	強	曇
-----	------	------	------	----	---	---	---

明治四十二年八月

日次	種別	午前十時	最高	最低	湿度	降水量	向風	力	天氣	摘要
一日		二九、五	三一、八	二三、六	六八		北東	疾	曇	午前二時ヨリ四時迄強風雨
二日		三一、八	三二、八	二五、五	五七		南	強	晴	
三日		三一、八	三四、二	二二、五	五三		南	強	快晴	
四日		三一、六	三四、〇	二二、二	五三		南	和	快晴	
五日		二九、八	三〇、一	二二、〇	七〇		北	和	曇	
六日		二八、九	三四、一	二三、七	六七		南	和	曇	
七日		三三、〇	三四、五	二三、七	六〇		南	強	晴	
八日		三〇、七	三四、二	一九、八	六一		南	和	晴	
九日		三〇、五	三六、一	二〇、〇	七一		南	和	快晴	
十日										

○ 生徒養育

一二五

十一日	三一、〇	三五、〇	二一、六	六二	一、二	北	和	晴	快晴	午後二時ヨリ三十分夕立雷雨
十二日	三〇、一		二一、二	六三		北	和	晴		
十三日		三四、一								
十四日	三〇、五	三五、〇	二〇、九	六二		南	和	晴	地震アリ	
十五日	二八、五	三五、六	二一、〇	六三		東	軟	曇	地震アリ	
十六日	二七、一	二九、〇	二二、六	七七	一、五	西	和	曇	地震アリ午後五時頃三十分間夕立	
十七日	二三、五	二八、八	二一、〇	八五	五、五			雨	午前九時ヨリ雨	
十八日	二八、七	二九、〇	二二、五	六三	二、八	南	強	晴		
十九日	二五、〇	三二、七	二二、九	八一	五、八	北	軟	雨	午前九時半午後三時同九時各三十分夕立	
二十日	二七、五	二七、九	二二、六	七九		東	和	曇	午前三時ヨリ一時間余夕立	
廿一日	二五、五	二七、二	二一、五	八〇		東	和	曇		
廿二日	二五、六	三〇、五	一七、五	六九		北	和	晴		
廿三日	二八、五	二八、五	一五、五	五七		北	疾	快晴	地震アリ	
廿四日	二五、七	二九、二	一八、七	六八		北	強	晴		

廿五日	二七、一	三一、四	一七、二	六九		西	和	晴		
廿六日	二九、五	三三、六	一九、三	六〇	六、五	南	和	晴	午後二時半ヨリ雷雨	
廿七日	三一、〇	三二、五	二一、八	六八	一九、一	東	和	晴	午後三時ヨリ雷雨	
廿八日	二七、三	三〇、七	二二、一	八四	四、七	西	和	晴	午後三時ヨリ雷雨	
廿九日	二八、三	三二、〇	二二、四	七四				快晴		
三十日	二九、〇	三二、六	二二、六	七五	五、五			晴	午後二時ヨリ五時迄暴風雷雨	
卅一日	二七、八	三一、一	二二、八	八〇		北	和	晴		

○第十一 生徒稻作實習

明治四十二年五月本科男子部生徒六十四名ニ對シテ水稻栽培實習ヲ課シタリ其成績概要左ノ如シ

一、種類 早生藤兵衛號、中生福山號、共ニ當地方ニ栽培セラル、モノ

一、苗代 九鹿村共同苗代ヲ七坪借用セリ其位置ハ田圃ノ中央ニアリテ周圍ノ狀況頗ル良好ナリ五月二十日播種ス其種子ノ分量ハ鹽水撰チ行ヒタルモノニ升八合ニシテ一坪四合宛トナス(各三坪半)發芽ノ模様整一ニシテ生育良好ナリ(其生育期間三十二日半)

一、本田 面積百二十八坪生徒一人ニ對シテ一坪宛ニシテ其位置ハ南側ニ接シテ人家アリ多少日光ヲ遮リタル

モ一部分ニ止マレリ又西側ハ道路ニ接シ之ニ沿フテ灌漑溝アリテ冷水浸入ノ憂ヒアルヲ以テ周圍ニ小溝ヲ設ケ温水ヲ灌漑スル装置ヲナシタリ挿秧ハ六月廿二日ニ行ヒ一坪三十六株一株ノ本數五乃至六本トナシタルニ收穫當時ニ於ケル一株ノ莖數ハ藤兵衛號二十四本福山號二十七本トナレリ其生育期間ハ百二十六日ニシテ苗代時代ヲ通シテ全生育期間百五十九日ナリ

一、天氣 晴天七十二日、曇天五十七日、雨天三十日、合計百五十九日、其平均溫度ハ攝氏寒暖計二十一度二分華氏寒暖計七十度一分五厘ナリ其他天候ニヨル被害ナカリキ

一、手入 除草回数四回ニシテ肥料ハ桑園ノ跡地ナレハ多量ニ施サズ只原肥トシテ人糞尿約二十荷、詰草二十貫ヲ施シタルノミナリ

一、收穫 十月廿五日苜取リ爾後七日間乾燥シテ糶摺チ行フ乾燥ノ際生徒誤テ兩種ヲ混合セシヲ以テ別々ノ收量ヲ見出スコト能ハザレバ兩者合シテ其收量ヲ示サンニ玄米九斗一升七合、藁二十四貫六百匁ナリ收穫前雀ノ害ヲ受ケテ大ニ減收セリ生育ノ情況ハ福山號ハ藤兵衛號ニ優リ分蘗數多ク一穗ノ粒數モ

亦多クシテ收穫量多キ見込ナリ米質モ福山ヲ可トス稈長ハ藤兵衛號三尺五寸福山三尺二寸位ナリキ又兩者其收穫期同一ナリシタメ藤兵衛號ハ過熟ノ傾向アリ初年ノ試作ナレバ十分ナル結果ヲ得ザリシハ遺憾ナリキ

備考

一部分は、又西側、道路一段之沿、灌漑水ヲ冷水浸入、至、セルト以テ周圍、
小溝ヲ設ケ温床ヲ造リ、五月廿一日、挿根ハ五月廿一日、管ハ一坪三十六株、本數五乃至
六本トナシ、セルニ收獲當時、於、セル、株ノ本數ハ、藤兵衛六二十四本、福山號二十七本トナレリ、其生育
期間ハ、百二十六日、ニ、近代時算、地、ニ、全年生育期間百五十九日ナリ。

一、天氣
晴天七十二日、曇天五十七日、雨天二十日、合計百五十九日、其平均温度ハ攝氏寒暖計二十一度二
分、氏寒暖計七十度一分五厘ナリ、其中天氣ニヨリ被害ナクナリ。

一、手入
除草回数四回、一、肥料ハ桑園ノ跡地ナリ、多量ニ施シ、只原肥トシ、人糞尿約二十荷、品草二十
貫ヲ施シ、ケルノモナリ。

一、收穫
十月廿五日、新取、霜後七日間乾燥、一級摺シ行ノ乾燥ノ際、生徒誤テ兩種ヲ混合セシ、以テ別々ノ收
量ヲ見出スコト能ハザレバ、兩者合シテ其收量ヲ示サンニ、玄米九斗一升七合、莖二十四貫六百匁ナリ

備考
收穫前僅ノ害ヲ受ケ、大ニ收穫モリ生育ノ情況ハ、福山號ハ藤兵衛號ニ優リ、分葉數多ク一穗ノ粒數モ
亦多ク、ニテ收穫量多キ、其込テ、米賣、福山ヲ可トス、稈長ハ藤兵衛號三尺五寸、福山三尺二寸位ナリ、キ
又、兩者其收穫時期、一、藤兵衛號ハ過熟ノ傾向アリ、初年ノ試作ナレバ十分ナル結果ヲ得ザリ
一、遺留、

蠶業試驗成績

○第十二 蠶業試驗成績

(一) 外國蠶種發育經過調査

本試験ハ伊太利、佛蘭西、清國、韓國、其他ノ地方ニ行ハル、外國蠶種ノ發育經過ヲ知ラント欲シ行ヒタルモノニシテ其ノ種類左ノ如シ

伊太利種四號

伊太利種紋種

伊太利種ダランサイ

佛國種ハースアルプス

佛國種黒蛾

佛國種白蛾

清國種九號

清國種二十七號

清國種十號

清國種鹿角

○ 蠶業試験成績

清國種下木村
 清國種曹娥
 清國種六號
 清國種三十七號
 清國種大圓頭

柘蠶
 鵝蠶

韓國種乙號

高加索種カックヘチニ一號

飼育中ノ温度ハ平均七十度七分ニシテ湿度ハ平均六十六度八分ナリ其發育經過ハ左表ノ如シ但シ或ル事情ノ爲
 給桑量ノ調査ヲ缺キタルハ遺憾トスル所ナリ

伊太利四號發育經過表

齡	目標	餉食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	給桑回数	食桑中絶飼育日數	合計
第一齡		午後一時	午前七時	午前四時	午前十一時	三七	四日十五時	五日廿二時
第二齡		午前十一時	午後一時	午前十一時	午後五時	二九	四日間	五日六時
第三齡		午後五時	午前七時	午後十一時	午前七時	三一	五日六時	六日十四時
第四齡		午前七時	午前九時	午後十一時	午後十一時	二八	四日十六時	六日十六時
第五齡		午後十一時	午後二時	午後二時	午後二時	三八	七日十五時	七日十五時
合計								

清國二十七號發育經過表

齡	目標	餉食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	給桑回数	食桑中絶飼育日數	合計
第一齡		五月二日	五月六日	五月七日	五月八日	三八	四日十八時	六日一時
第二齡		五月八日	五月十一日	五月十二日	五月十四日	三一	四日六時	五日十九時
第三齡		五月十四日	五月十七日	五月十九日	五月二十日	三〇	四日二十時	六日六時
第四齡		五月二十日	五月廿三日	五月廿五日	五月廿七日	三三	五日四時	七日八時
第五齡		五月廿七日	六月二日	六月四日	六月十一日	三四	七日十三時	七日十三時
合計								

蠶業試驗成績

清國十號發育經過表

目標	餉食月日	催眠月日	停食月日	竣脫月日	給桑回数	食桑中絶飼育日數	合計
第一齡	五月三日	五月七日	五月八日	五月九日	四〇	五日間	一日九時間
第二齡	五月九日	五月十三日	五月十五日	五月十六日	三九	五日十二時	一日七時間
第三齡	五月十六日	五月廿一日	五月廿二日	五月廿四日	三六	五日廿一時	一日二十時
第四齡	五月廿四日	五月三十日	五月卅一日	五月卅一日	三八	七日十八時	一日二十時
合計	午後五時	午後六時	午後六時	午後六時	一五三	廿四日三時	四日十二時

清國龍角發育經過表

目標	餉食月日	催眠月日	停食月日	竣脫月日	給桑回数	食桑中絶飼育日數	合計
第一齡	五月二日	五月六日	五月七日	五月八日	三九	四日十八時	一日七時間
第二齡	五月八日	五月十一日	五月十二日	五月十四日	二九	三日廿一時	一日廿二時
第三齡	五月十四日	五月十七日	五月十八日	五月二十日	二九	四日十時間	一日十七時
第四齡	五月廿二日	五月廿四日	五月廿五日	五月廿七日	三三	五日七時間	二日間
第五齡	五月廿七日	六月一日	六月三日	六月十日	三四	六日十五時	二日間
合計	午後七時	正午	午前十時	午後七時	一六四	廿四日廿三時	六日廿二時

清國下木村發育經過表

目標	餉食月日	催眠月日	停食月日	竣脫月日	給桑回数	食桑中絶飼育日數	合計
第一令	五月二日	五月六日	五月七日	五月八日	三七	四日十五時	一日十時間
第二令	五月八日	五月十一日	五月十二日	五月十四日	二九	四日三時間	一日十六時
第三令	五月十四日	五月十七日	五月十九日	五月二十日	二七	四日十時間	一日十七時
第四令	五月二十日	五月廿三日	五月廿四日	五月廿七日	二八	四日十一時	二日十時間
第五令	五月廿七日	六月二日	六月三日	六月九日	三八	七日六時間	六日廿一時
合計	午前九時	午後五時	午後三時	午後三時	一五九	廿四日廿一時	七日五時間

清國曹娥

目標	餉食月日	催眠月日	停食月日	竣脫月日	給桑回数	食桑中絶飼育日數	合計
第一齡	五月三日	五月七日	五月七日	五月九日	四〇	五日間	一日七時間
第二齡	五月九日	五月十二日	五月十三日	五月十五日	三〇	四日二時間	一日廿二時
第三齡	五月十五日	五月十八日	五月十九日	五月廿一日	二七	四日八時間	一日十六時
合計	午後三時	午後八時	午後十一時	午後三時	一〇七	廿一日八時間	六日七時間

實業試驗成績

齡	目標	飼食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	給桑回数	食桑中絶飼育日數計
第四齡		五月廿一日	五月廿五日	五月廿六日	五月廿八日	三一	五日二時間 二日六時間 七日八時間
第五齡		五月廿八日	六月四日	六月六日	午後十一時	三七	八日七時間 廿六日十九時間 七日三時間 卅三日廿二時間
合計						一六五	

韓國乙發育經過表

齡	目標	飼食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	給桑回数	食桑中絶飼育日數計
第一齡		五月二日	五月七日	五月八日	五月十日	四九	六日四時間 一日十五時 七日十九時
第二齡		五月八日	五月十五日	五月十六日	五月十八日	四四	六日七時間 二日八時間 八日十五時
第三齡		五月十八日	五月廿四日	五月廿五日	五月廿八日	四二	七日間 二日十三時 九日十三時
第四齡		五月廿八日	六月三日	六月四日	正午	四〇	七日間 二日十三時 九日十三時
合計						一七五	

佛國ハースアルプス發育經過表

齡	目標	飼食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	給桑回数	食桑中絶飼育日數計
第一齡		五月三日	五月七日	五月八日	五月九日	四〇	四日二十時 一日十一時 六日七時間
第二齡		五月九日	五月十二日	五月十三日	五月十五日	二八	四日四時間 一日十四時 五日十四時
合計						六八	

齡	目標	飼食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	給桑回数	食桑中絶飼育日數計
第三齡		五月十五日	五月十八日	五月十九日	五月二十日	二四	四日四時間 一日十時間 五日十時間
第四齡		五月二十日	五月廿四日	五月廿五日	五月廿八日	三一	五日四時間 二日十時間 七日十四時
第五齡		五月廿八日	六月三日	六月四日	午前十時	三六	七日五時間 二日十時間 七日十四時
合計						一五九	

佛國黑蛾發育經過表

齡	目標	飼食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	給桑回数	食桑中絶飼育日數計
第一令		五月三日	五月七日	五月八日	五月九日	三九	四日廿時間 一日十一時 六日七時間
第二令		五月九日	五月十二日	五月十三日	五月十五日	三〇	四日八時間 一日十六時 六日七時間
第三令		五月十五日	五月廿九日	五月三十日	五月廿二日	三三	五日八時間 一日廿一時 七日五時間
第四令		五月廿二日	五月廿八日	五月廿九日	五月卅一日	四〇	六日十六時 二日二時間 八日十八時
第五令		五月卅一日	六月六日	六月七日	午後十一時	三七	七日九時間 二日二時間 八日十八時
合計						一七八	

佛國白蛾發育經過表

齡	目標	飼食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	給桑回数	食桑中絶飼育日數計
第一令		五月三日	五月七日	五月八日	五月九日	三九	四日廿時間 一日十一時 六日七時間
第二令		五月九日	五月十二日	五月十三日	五月十五日	三〇	四日八時間 一日十六時 六日七時間
第三令		五月十五日	五月廿九日	五月三十日	五月廿二日	三三	五日八時間 一日廿一時 七日五時間
第四令		五月廿二日	五月廿八日	五月廿九日	五月卅一日	四〇	六日十六時 二日二時間 八日十八時
第五令		五月卅一日	六月六日	六月七日	午後十一時	三七	七日九時間 二日二時間 八日十八時
合計						一七八	

蠶業試驗成績

齡	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡	合計
餉食月日	五月四日	五月十日	五月十五日	五月廿一日	五月廿九日	
催眠月日	五月七時	五月十三時	五月十八時	五月廿五時	六月五時	
停食月日	五月八日	五月十四日	五月十九日	五月廿六日	六月六日	
竣脫月日	五月十日	五月十五日	五月廿一日	五月廿九日		
給桑回数	三七	二三	二六	三三	三九	一五七
停食時間	四日十三時	三日七時	四日八時	五日七時	七日十七時	廿五日四時
食桑中	間	間	間	間	間	間
絕食中	一日五時	一日一時	一日十六時	二日十七時	六日十五時	六日十五時
飼育中	五日十八時	四日八時	六日	八日	七日十七時	卅一日十九時
合計	五日十八時	四日八時	六日	八日	七日十七時	卅一日十九時

柘蠶發育經過表

齡	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	合計
餉食月日	五月三日	五月十一日	五月二十日	五月廿九日	
催眠月日	五月八日	五月十七日	五月廿六日	六月四日	
停食月日	五月十日	五月十八日	五月廿七日	六月五日	
竣脫月日	五月十一日	五月二十日	五月廿九日		
給桑回数	五五	五〇	四三	三六	一八四
停食時間	六日二十時	七日三時	七日二時	七日	廿八日一時
食桑中	間	間	間	間	間
絕食中	一日七時	一日廿二時	二日九時	五日十四時	五日十四時
飼育中	八日三時	九日一時	九日十一時	七日	卅三日十五時
合計	八日三時	九日一時	九日十一時	七日	卅三日十五時

清國六號發育經過表

齡	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡	合計
餉食月日	五月二日	五月八日	五月十四日	五月廿二日	五月廿七日	
催眠月日	全六日	全十二日	全十八日	全廿四日	全三十日	
停食月日	全七日	全十二日	全十八日	全廿五日	全三十一日	
竣脫月日	全八日	全十四日	全廿一日	全廿七日		
給桑回数	卅九回	卅九回	廿八回	卅三回	四十二回	百八十一回
停食時間	七日	七日	一日十八時	一日十八時	六日九時	六日九時
食桑時間	四日	四日	四日十一時	五日六時	八日五時	二十五時
合計	六日	五日廿二時	五日廿一時	七日	八日五時	卅三日

清國卅七號發育經過表

齡	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡	合計
餉食月日	五月二日	五月八日	五月十四日	五月廿二日	五月廿七日	
催眠月日	全六日	全十二日	全十八日	全廿四日	全三十日	
停食月日	全七日	全十二日	全十八日	全廿五日	全三十一日	
竣脫月日	全八日	全十四日	全廿一日	全廿七日		
給桑回数	卅九回	卅九回	廿八回	卅三回	四十二回	
停食時間	七日	七日	一日十八時	一日十八時	六日九時	
食桑時間	四日	四日	四日十一時	五日六時	八日五時	
合計	六日	五日廿二時	五日廿一時	七日	八日五時	

蠶業試驗成績

合計	百八十一回	六日九時間	廿六日十五時間	廿三日間
----	-------	-------	---------	------

清國大圓頭發育經過表

齡	目標	餉食月日	催眠月日	停食月日	竣脫月日	給桑回数	停食時間	食桑時間	合計
第一齡	五月三日	五月十一時	五月七日	全八日	全九日	四十回	一日九時間	四日廿一時	六日六時間
第二齡	五月九日	午後五時	午後一時	全十三日	午後五時	三十回	一日十六時	四日三時間	五日十八時
第三齡	五月十五日	午後五時	全十三日	午後八時	午前十二時	廿八回	一日十三時	四日十一時	六日六時間
第四齡	五月廿一日	午前十二時	午前十時	午後十一時	午前十二時	廿四回	一日十一時	五日十一時	六日廿二時
第五齡	五月廿八日	午前十二時	午後二時	午後十一時	午後十時	廿八回	八日九時間	八日九時間	八日九時間
合計						百七十回	六日一時間	廿七日六時	廿二日七時

伊太利班紋種發育經過表

齡	目標	餉食月日	催眠月日	停食月日	竣脫月日	給桑回数	停食時間	食桑時間	合計
第一齡	五月三日	午前十一時	全七日	全八日	全九日	四十回	一日九時間	四日廿一時	六日六時間
第二齡	五月九日	午後五時	午後一時	全十三日	午後五時	三十回	一日十六時	四日三時間	五日十九時
第三齡	五月十五日	午後五時	全十三日	午後八時	午前十二時	廿八回	一日十三時	四日十一時	六日六時間
第四齡	五月廿二日	午前十時	全廿六日	全廿八日	全廿八日	卅四回	一日十一時	五日十一時	六日廿二時
第五齡	五月廿八日	午前十時	午前十二時	午前十時	午前十時	四十一回	七日廿四時	七日廿四時	七日廿四時
合計						百七十三回	六日一時間	廿六日廿二時	卅二日廿三時

鵝 發育經過表

齡	目標	餉食月日	催眠月日	停食月日	竣脫月日	給桑回数	停食時間	食桑時間	合計
第一齡	五月三日	午前十一時	全七日	全八日	全九日	四十回	一日九時	四日廿一時	六日六時
第二齡	五月九日	午後五時	午後一時	全十三日	午後五時	四十回	一日十時	四日十六時	六日二時
第三齡	五月十六日	午後七時	全廿一日	全廿二日	全廿四日	卅七回	一日十七時	六日	七日十七時
第四齡	五月廿四日	午前十二時	全三十日	全卅一日	午前十二時	四十二回	六日廿二時	六日廿二時	六日廿二時
合計						百五十九回	四日十二時	廿二日十一時	廿六日廿三時

清國九號(白)發育經過表

齡	目標	餉食月日	催眠月日	停食月日	竣脫月日	給桑回数	停食時間	食桑時間	合計
第一齡	五月三日	午前十一時	全七日	全八日	全九日	四十回	一日九時	四日廿一時	六日六時
第二齡	五月九日	午後五時	午後一時	全十三日	午後五時	三十回	一日十六時	四日三時	五日十九時

蠶業試驗成績

齡	飼食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	給桑回数	停食時間	食桑時間	合 計
第三齡	五月十五日	全十九日	全十九日	全廿一日	廿八回	一日十三時	四日十一時	六日
第四齡	五月廿一日	全廿五日	全廿六日	全廿八日	三十四回	一日十一時	五日十一時	六日二十二時
第五齡	五月廿八日	六月四日	全五日	午前十時	四十一回	時	七日十二時	七日十二時
合計					百七十三回	六日一時	廿六日十時	卅二日十一時

伊太利ダランサイ發育經過表

齡	飼食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	給桑回数	停食時間	食桑時間	合 計
第一齡	五月四日	全八日	全八日	全十日	卅三回	一日十五時	四日十二時	六日三時
第二齡	五月十日	全十四日	全十四日	全十六日	卅一回	一日十九時	四日六時	六日一時
第三齡	五月十六日	全二十日	全廿一日	全廿三日	三十回	二日間	四日廿一時	六日廿一時
第四齡	五月廿三日	全廿八日	全廿八日	全三十日	卅四回	一日十一時	五日十一時	六日廿二時
第五齡	五月三十日	六月六日	全七日	午前十時	四十二回	時	八日五時	六日廿二時
合計					百七十回	六日廿一時	廿五日七時	卅二日四時

高麗素カツクヘチユー發育經過表

齡	飼食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	給桑回数	停食時間	食桑時間	合 計
第一齡	五月五日	全九日	全十日	全十一日	四十一回	一日十時	四日廿三時	六日九時
第二齡	五月十一日	全十五日	全十五日	全十七日	三十回	一日六時	四日三時	五日九時
第三齡	五月十七日	全廿七日	全廿七日	全廿四日	卅六回	一日六時	五日十八時	七日
第四齡	五月廿四日	全廿八日	全廿九日	全三十日	卅四回	一日	五日十時	六日十時
第五齡	五月三十日	六月六日	全七日	午後三時	四十三回	間	八日八時	八日八時
合計					百八十四回	四日廿二時	廿八日十四時	卅三日十二時

(二) 發蛾日ヲ異ニセル蠶兒ト繭質トノ關係試驗

本試驗ノ目的ハ蠶兒ハ發蛾産卵ノ日時異ナルニヨリ虫質ニ強弱アルカ及之レガ繭質ト如何ナル關係ヲ有スルヤヲ調査セントスルニアリ

試驗ニ供シタル蠶種ハ本校ノ採種ニ係ル一化性又昔ニシテ昨年六月二十一日ヨリ全月二十六日ニ至ル六日間ニ渡リテ發蛾産卵セルモノヲ區別シテ試驗ヲ行ヒタリ

試驗ノ方法ハ左ノ如シ

- 標準區 六月二十二日ヨリ二十五日ニ至ル四日間發蛾産卵セルモノヲ混合飼育ス
- 第一區 六月二十一日發蛾産卵ノモノ

- 第二區 全月二十二日發蠶產卵ノモノ
- 第三區 全月二十三日發蠶產卵ノモノ
- 第四區 全月二十四日發蠶產卵ノモノ
- 第五區 全月二十五日發蠶產卵ノモノ
- 第六區 全月二十六日發蠶產卵ノモノ

左ニ各齡ノ經過ヲ表記セシ

第一齡 經過表

種別	目標	掃立日	停食月日	竣脱月日	室温	室内平均湿度	食桑中	停食中	日合	計
標準區	第一區	五月十一時	五月六日午後三時	五月七日午後十一時	七二、六	六九、五	五日四時	一日八時	六日十二時	
	第二區	同	同	同	同	同	同	同	同	
	第三區	同	五月六日午後一時	五月七日午後八時	七二、八	六九、五	五日間	一日九時	六日六時	
	第四區	同	同	同	同	同	同	同	同	
	第五區	同	五月六日午後五時	五月七日午後十一時	七二、六	六九、五	五日四時	一日六時	六日十時	

第六區	同	五月六日午後八時	五月八日午前四時	七二、二	七〇、	五日八時	一日八時	六日六時	
-----	---	----------	----------	------	-----	------	------	------	--

第二齡 經過表

種別	目標	餉食月日	停食月日	竣脱月日	室温	室内平均湿度	食桑中	停食中	日合	計
標準區	第一區	五月七日午後十一時	五月十一日午後五時	五月十三日午後七時	六八、五	七七	四日間	一日十八時	五日十八時	
	第二區	同	五月十一日午後七時	五月十三日午後三時	同	同	三日十八時	一日廿一時	五日十五時	
	第三區	五月七日午後八時	五月十一日午後五時	五月十三日午後三時	六九、三	七六、五	三日廿一時	一日廿二時	五日十九時	
	第四區	同	同	同	同	同	同	同	同	
	第五區	五月七日午後十一時	五月十一日午後七時	五月十三日午後三時	六八、五	七七	四日間	一日十八時	五日十八時	
	第六區	五月八日午前四時	五月十二日午前八時	五月十四日午前五時	六九、五	七六	四日四時	二日四時	六日八時	

第三齡 經過表

種別	目標	餉食月日	停食月日	竣脱月日	室温	室内平均湿度	食桑中	停食中	日合	計
標準區	第一區	五月十三日午後七時	五月十八日午後三時	五月二十日午後三時	六九、五	七四、五	四日二十時	二日間	六日廿時	
	第二區	五月十三日午後三時	五月十八日午前九時	五月二十日午前九時	六九、	七五、	四日十四時	二日四時	六日十八時	

蠶業試驗成績

種別	目標	飼食月日	催食日	竣脫月日	溫室內平均溫度	齡中	停食中	合計
第二區	同	五月十三日 午後七時	五月十八日 午後三時	五月二十日 午後三時	六九、五	四日廿時	二日間	六日二十時
第三區	同	五月十三日 午後三時	五月十八日 正午十二時	五月二十日 午前九時	同	四日廿一時	二日廿一時	六日十九時
第四區	同	同	同	同	同	同	同	同
第五區	同	五月十四日 午後七時	五月十八日 午後七時	五月二十日 午後三時	六九、	四日十七時	二日三時	六日二十時
第六區	同	五月十四日 午前五時	五月十八日 午後七時	五月廿一日 午前五時	七七、五	四日十四時	二日十時	七日間

第四齡經過表

種別	目標	飼食月日	催食日	竣脫月日	溫室內平均溫度	齡中	停食中	合計
標準區	同	五月二十日 午後三時	五月廿五日 午後七時	五月廿八日 午後二時	七四、	五日四時	二日十九時	七日廿三時
第一區	同	五月二十日 午前九時	五月廿五日 午後三時	五月廿八日 午前十時	七四、五	五日六時	同	八日一時
第二區	同	五月二十日 午後三時	五月廿五日 午後七時	五月廿八日 午後二時	七四、	五日四時	同	七日廿三時
第三區	同	五月二十日 午前九時	五月廿五日 午後三時	五月廿八日 午前十時	七四、五	五日六時	同	八日一時
第四區	同	同	同	同	同	同	同	同
第五區	同	五月二十日 午後三時	五月廿五日 午後七時	五月廿八日 午前十時	七四、	五日四時	二日十五時	七日十九時
第六區	同	五月廿一日 午前五時	五月廿六日 午前五時	五月廿八日 午後十一時	七三、八	五日間	二日十八時	七日十八時

第五齡經過表

種別	目標	飼食月日	催食日	終熟月日	溫室內平均溫度	齡中	日數
標準區	同	五月廿八日 午後二時	六月三日 午後二時	六月五日 午前十時	七二、五	七日廿時間	
第一區	同	五月廿八日 午前十時	六月三日 正午十二時	六月四日 午前十時	六九、	六日廿三時間	
第二區	同	五月廿八日 午後二時	六月三日 午後二時	六月四日 午後二時	六九、二	七日間	
第三區	同	五月廿八日 午前十時	六月三日 午後二時	六月四日 正午十二時	六九、	七日二時間	
第四區	同	同	同	同	六九、七	七日十九時間	
第五區	同	五月廿八日 午前十時	六月四日 午前十時	六月六日 午前五時	七〇、	七日十九時間	
第六區	同	五月廿八日 午後十一時	六月四日 午前十時	六月六日 午前五時	七二、	八日六時間	

全齡經過表

種別	目標	標立月日	催熟月日	終熟月日	溫室內平均溫度	齡中	絕食中	合計
標準區	同	五月十一日 午前十一時	六月三日 午後二時	六月五日 午前十時	七二、四	廿七日間	七日十七時	卅四日十七時
第一區	同	同	六月三日 正午十二時	六月四日 午前十時	七一、	廿五日十時	八日四時	卅三日十八時
第二區	同	同	六月三日 午後二時	六月四日 午後二時	七〇、八	廿六日一時	七日廿一時	卅三日廿二時

蠶業試驗成績

種別	目	標	上簇繭數	結繭繭數	中簇繭數	及遺失繭數	上簇繭對百頭
第 二 區	四 三	二九、二九	六四、三〇	二四六、三二	七五六、三六	三四〇〇、	一七〇 四四九五、
第 三 區	四 二	二八、五二八	六三、三〇	二四八、三三	七七五、三七	三四三四、	一七〇 四五四八、五
第 四 區	四 二	二八、五二八	六三、三〇	二四八、三三	七七五、四〇	三五〇五、	一七三 四六一八、五
第 五 區	四 四	二九、五二九	六四、三〇	二五五、三二	七五六、四〇	三五〇五、	一七五 四六〇八、五
第 六 區	四 五	三〇、〇三〇	六五、三二九	二四五、三二	七五六、四二	三五八四、	一七八 四七八〇、三

上簇及結繭繭ノ歩合表

種別	目	標	上簇繭數	結繭繭數	中簇繭數	及遺失繭數	上簇繭對百頭
標 準 區			六一二		五六五		四七
第 一 區			七三五		六六七		六八
第 二 區			七〇五		六四一		六四
第 三 區			六七八		六五九		一九
第 四 區			七六〇		七二二		三八
第 五 區			七七七		七六三		一四
第 六 區			七二五		六九〇		二五

收 繭 表

種別	目	標	上 繭	中 繭	下 繭	同 功 繭	額 上 繭	數 一 升 = 對 ス ル
標 準 區			四六六	九	八	四〇	二七七	一一一 匁
第 一 區			五七六	一〇	七	三七	二八六	一〇二
第 二 區			五一一	一一	一一	四九	二八〇	一〇七
第 三 區			五四四	一三	七	五一	二七九	一〇四
第 四 區			五九四	一五	七	五三	二六二	一〇六
第 五 區			六五四	三四	九	五〇	二七一	一一一
第 六 區			五八九	三四	七	三〇	二五八	一〇六

(備考) 各區ノ收繭ハ上簇終リヨリ七日目六月十一日ヨリ同十三日ニ於テ行ヒ調査ヲ遂ゲタリ

(三) 柘 葉 給 與 試 驗

本試験ハ普通ノ蠶兒ニ柘葉ヲ給與スルトキハ虫質及繭質ノ上ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤチ明カニセント欲シ行ヒタルモノナリ

本試験ニ供シタル蠶種ハ本校採種ニ係ル一化性又昔種ニシテ五月一日午前十一時收繭ヲ行ヒ左ノ方法ニヨリ試

○ 蠶業試験成績

驗ヲ行ヘリ

甲 區 本區ハ毫モ柘葉ヲ給與スルコトナク常ニ桑葉ヲ以テ飼育シタルモノニシテ他區ト比較對照スル爲設ケタルモノナリ

乙 區 本區ハ第一齡間柘葉ヲ給與シ第二齡ヨリ桑葉ヲ給與ス

丙 區 本區ハ第一及第二齡間柘葉ヲ給與シ第三齡ヨリ桑葉ヲ給與ス

丁 區 本區ハ全齡柘葉ヲ給與ス

各齡ニ於ケル發育經過ヲ示セバ左ノ如シ

第一齡經過表

種別/目標	室	外	室	内	飼食月日	催眠月日	斷飼月日	竣脱月日	食桑中	中	日	合	數
甲區	六、八	六、五	七、二	七、三	五月一日午	五月五日	五月六日午	五月七日	五日	一日	六日	六日	六
乙區	六、一	六、〇	七、一	七、〇	五月十一時	五月五日	五月六日	五月七日	五日	一日	六日	六日	六
丙區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
丁區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

第二齡經過表

種別/目標	室	外	室	内	飼食月日	催眠月日	斷飼月日	竣脱月日	食桑中	中	日	合	數
甲區	六、〇	七、五	六、一	七、六	五月七日	五月十日午	五月十一日	五月十三日	三日	一日	廿五日	廿五日	十
乙區	全	全	全	全	五月七時	五月十一時	五月十一日	五月十三日	三日	一日	廿五日	廿五日	十
丙區	七、二	七、五	七、二	七、三	五月十一時	五月十一日	五月十二日	五月十四日	四日	一日	廿六日	廿六日	十
丁區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

第三齡經過表

種別/目標	室	外	室	内	飼食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	食桑中	中	日	合	數
甲區	六、一	七、六	六、三	七、二	五月十三日	五月十七日	五月十八日	五月十九日	五日	一日	十八日	十八日	十
乙區	六、二	七、三	六、七	七、一	五月十三日	五月十七日	五月十八日	五月十九日	五日	一日	十八日	十八日	十
丙區	六、四	七、〇	七、九	七、五	五月十四日	五月十八日	五月十八日	五月廿日	四日	一日	廿六日	廿六日	十
丁區	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

第四齡經過表

種別/目標	室	外	室	内	飼食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	食桑中	中	日	合	數
甲區	六、五	七、〇	七、九	八、四	五月十九日	五月廿四日	五月廿五日	五月廿七日	五日	一日	廿七日	廿七日	十

蠶業試驗成績

種別	目標	室溫	外溫	室內溫	室內濕度	飼食月日	催熱月日	上簇月日	竣脫月日	食桑中	停食中	中日合數
乙區	全	全	全	全	全	五月廿四日	五月廿四日	全	全	五日	一日	七日
丙區	全	全	全	全	全	五月廿四日	五月廿四日	全	全	五日	二日	七日
丁區	全	全	全	全	全	五月廿五日	五月廿五日	全	全	六日	九日	七日

第五齡經過表

種別	目標	室溫	外溫	室內溫	室內濕度	飼食月日	催熱月日	上簇月日	竣脫月日	食桑中	停食中	中日合數
甲區	全	全	全	全	全	五月廿七日	六月二日	六月三日	六月十一日	七日	二日	七日
乙區	全	全	全	全	全	五月廿七日	六月二日	六月四日	六月十一日	七日	七日	七日
丙區	全	全	全	全	全	五月廿八日	六月三日	六月四日	六月十一日	七日	七日	七日
丁區	全	全	全	全	全	五月廿九日	六月四日	六月六日	六月十一日	八日	八日	七日

全齡經過表

種別	目標	室溫	外溫	室內溫	室內濕度	飼食月日	催熱月日	上簇月日	竣脫月日	食桑中	停食中	中日合數
甲區	全	全	全	全	全	五月十一日	六月二日	六月三日	六月十一日	廿六日	六日	卅三日
乙區	全	全	全	全	全	五月十一日	六月二日	六月四日	六月十一日	廿九日	六日	卅三日
丙區	全	全	全	全	全	五月十一日	六月二日	六月四日	六月十一日	廿九日	六日	卅三日
丁區	全	全	全	全	全	五月十一日	六月二日	六月四日	六月十一日	廿九日	六日	卅三日

體ノ重量表

種別	目標	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡
甲區	全	〇、一六三	一、〇八〇	五、〇〇〇	二四、〇〇〇	一一〇、〇〇〇
乙區	全	〇、一五二	一、〇〇〇	四、八〇〇	二三、九〇〇	一〇八、〇〇〇
丙區	全	〇、一五二	〇、九四〇	四、〇〇〇	二三、六〇〇	全
丁區	全	全	全	全	二〇、五〇〇	六三、〇〇〇

蠶兒頭數表

種別	目標	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡	上簇頭數
甲區	五厘	四八五	四七四	一	四五六	一八	四四八
乙區	全	四六八	四五二	一七	四三一	二〇	四一八
丙區	全	四六九	四五二	一七	四三一	二二	四〇八
丁區	全	四六四	三七二	八九	二九三	八二	七〇

蠶業試驗成績

本試験ハ種痘法改良ノ參考ト爲サントシ左ノ方法ニヨリ行ヒタルモノニシテ各區共蠶量三分ヲ掃立テタリ

普通 區 漸進温度ヲ用ヒ二週間ヲ要シ發生ニ至ラシメタルモノ

七十度區 貯藏器ヨリ出シテ四、五日間天然ノ氣温ニ觸レシメタル后終始七十度ノ温度ニ接觸シ

テ發生セシメタルモノ

七十五度區 貯藏器ヨリ出シテ四、五日間天然ノ氣温ニ觸レシメタル后終始七十五度ノ温度ニ感セ

シメ發生ニ至ラシメタルモノ

試験ニ供シタル蠶種ハ本校ニ於テ採種セル一化性又昔種ニシテ寒水洗ヲ施シ密閉式貯藏器ニ貯藏シ置キタルモノナリ

蠶兒發育經過表

第一 齡

種別	目標	飼立月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	發育中絶食中	經過日數	
普通區		五月一日	五月六日	五月六日	五月七日	食桑中 五日十四時	絶食中 廿一時	合計 六日十一時
七十度區		四月廿七日	五月二日	五月三十一時	五月四日	食桑中 六日二時	絶食中 一日五時	合計 七日七時
七十五度區		四月廿九日	五月四日	五月四日	五月六日	食桑中 五日十五時	絶食中 一日八時	合計 六日廿三時

第二 齡

種別	目標	飼食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	發育中絶食中	經過日數	
普通區		五月七日	五月十日	五月十一日	五月十二日	食桑中 三日廿時	絶食中 一日四時	合計 五日間
七十度區		五月四日	五月七時	五月八日	五月十日	食桑中 四日一時	絶食中 一日十二時	合計 五日十三時
七十五度區		五月六日	五月八日	五月九日	五月十一日	食桑中 三日十六時	絶食中 一日十八時	合計 五日十時

第三 齡

種別	目標	飼食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	發育中絶食中	經過日數	
普通區		五月十二日	五月十七日	五月十八日	五月二十日	食桑中 五日九時	絶食中 二日十二時	合計 七日廿一時
七十度區		五月十日	五月十四日	五月十五日	五月十七日	食桑中 五日一時	絶食中 二日四時	合計 七日五時
七十五度區		五月十一日	五月十五日	五月十六日	五月十九日	食桑中 四日十七時	絶食中 二日廿一時	合計 七日十四時

第四 齡

種別	目標	飼食月日	催眠月日	停食月日	竣脱月日	發育中絶食中	經過日數	
普通區		五月二十日	五月廿四日	五月廿五日	五月廿七日	食桑中 五日六時	絶食中 一日廿時	合計 七日二時
七十度區		五月十七日	五月廿三日	五月廿三日	五月廿五日	食桑中 六日間	絶食中 一日二十時	合計 七日二十時
七十五度區		五月十九日	五月廿三日	五月廿四日	五月廿六日	食桑中 四日廿一時	絶食中 一日廿時	合計 六日十九時

蠶業試驗成績

第五齡

種別	目	飼育日數	發育經過日數
普通區	飼食月日	五月廿七日	六月三日
	催熟月日	六月三日	六月四日
	上簇月日	六月四日	六月四日
	食桑中一絕食中	間	七日十九時
	發育經過日數	間	七日十九時
七十度區	飼食月日	五月廿五日	六月二日
	催熟月日	六月二日	六月二日
	上簇月日	六月二日	六月二日
	食桑中一絕食中	間	八日一時間
	發育經過日數	間	八日一時間
七十五度區	飼食月日	五月廿六日	六月三日
	催熟月日	六月三日	六月三日
	上簇月日	六月三日	六月三日
	食桑中一絕食中	間	八日間
	發育經過日數	間	八日間

飼育日數

種別	目	掃立月日	上簇月日	食桑中一絕食中	合計日數
普通區	掃立月日	五月一日	六月四日	廿七日廿時間	廿四日五時間
	上簇月日	六月四日	六月四日	廿七日廿時間	廿四日五時間
	食桑中一絕食中	間	間	廿七日廿時間	廿四日五時間
	發育經過日數	間	間	廿七日廿時間	廿四日五時間
七十度區	掃立月日	四月廿七日	六月二日	廿九日五時間	卅五日廿二時間
	上簇月日	六月二日	六月二日	廿九日五時間	卅五日廿二時間
	食桑中一絕食中	間	間	廿九日五時間	卅五日廿二時間
	發育經過日數	間	間	廿九日五時間	卅五日廿二時間
七十五度區	掃立月日	四月廿九日	六月三時	廿六日廿一時間	卅四日十八時間
	上簇月日	六月三時	六月三時	廿六日廿一時間	卅四日十八時間
	食桑中一絕食中	間	間	廿六日廿一時間	卅四日十八時間
	發育經過日數	間	間	廿六日廿一時間	卅四日十八時間

給桑表

(對蠶量三分)

種別	目	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡	合計
普通區	回數	四二	四二	四二	四二	四二	一六六
	給桑量	八七、八	二〇、九	七五、三	二二、六	三三、〇	一三三、九
	回數	四二	四二	四二	四二	四二	一六六
	給桑量	一〇三、四	一九、〇	六五、五	二二、三	三三、〇	一三三、九
七十度區	回數	四二	四二	四二	四二	四二	一六六
	給桑量	八八、五	一九、〇	七五、三	二二、六	三三、〇	一三三、九
	回數	四二	四二	四二	四二	四二	一六六
	給桑量	一〇三、四	一九、〇	六五、五	二二、三	三三、〇	一三三、九
七十五度區	回數	四二	四二	四二	四二	四二	一六六
	給桑量	八八、五	一九、〇	七五、三	二二、六	三三、〇	一三三、九
	回數	四二	四二	四二	四二	四二	一六六
	給桑量	一〇三、四	一九、〇	六五、五	二二、三	三三、〇	一三三、九

蠶兒體量表

(對百頭)

種別	目	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡
普通區	蠶量	一三二	七二四	四七三〇	二一、五三〇	九五、一六〇
七十度區	蠶量	一一八	七〇九	四、五七〇	二一、五三〇	一〇一、六六〇
七十五度區	蠶量	一三〇	七二八	四、七五〇	二一、五三〇	一〇一、六九〇

蠶兒頭數調查

種別	目	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡	上簇頭數
普通區	蠶量	二、三七〇	二、二六八	六、七二二	二、〇一一	一、九九一	一、九二九
七十度區	蠶量	二、四二二	二、二九一	五、三三三	二、二三八	二、〇九二	二、〇三三
七十五度區	蠶量	二、五八五	二、四八一	六、〇〇〇	二、四二一	二、二四八	二、一八九

減蠶明細表

種別	目	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡	合計
標準區	遺病遺失	三〇	五〇	二〇七	三〇	三六	六九〇
	病遲遺失	三〇	五〇	二〇七	三〇	三六	六九〇
	合計	六〇	一〇〇	四一四	六〇	七二	一〇七二
七十度區	遺病遺失	六六	九〇	三〇七	六六	八三	六〇二
	病遲遺失	六六	九〇	三〇七	六六	八三	六〇二
	合計	一三二	一八〇	六一四	一三二	一六六	一〇七二
七十五度區	遺病遺失	四二	六〇	二〇七	四二	五一	三〇二
	病遲遺失	四二	六〇	二〇七	四二	五一	三〇二
	合計	八四	一二〇	四一四	八四	一〇二	一〇七二

尚收購ノ狀況及繭、糸、質調査ヲ示セバ左ノ如シ

蠶業試驗成績

收 繭 表 (對蠶量三分)

種別	目 標	收 繭 表 (對蠶量三分)								
		上族蠶數	族中遺失	結繭數	上 繭	中繭	下 繭	同功繭	合 計	對蠶量一匁
普通區	一、九二九	九	三一	九一七	六八二	六〇	六〇	一一〇	七〇	六五二、三五五
七十度區	二、〇三三	一三	五二	〇一五	七五二	〇	八、〇	八、五	〇五、〇	八七七、五二、九三一、六
七十五度區	二、一八九	一五	七二	一六七	七九七	〇	八、〇	五、五	一一五、〇	九、五、五三、〇八五、〇

繭 質 調 查 表

種別	目 標	繭 質 調 查 表							
		生繭ノ重量	一升ノ數	糸一升ノ量	繭 形	色 澤	緊 緩	縮 數	解 舒
普通區	一〇八	二六二	一二	二八	三等	三等	三等	三等	佳
七十度區	一〇九	二六三	一二	二	一等	二等	二等	二等	稍良
七十五度區	一〇八	二六五	一二	九	二等	一等	一等	一等	最佳

糸 質 調 查 表

(十個平均)

種別	目 標	糸 質 調 查 表 (十個平均)						
		最長	最短	平均	最太	最細	平均度	類 節
普通區	八二〇	四四九	五八八	三、〇二	一、七四	二、四九	四	〇
七十度區	六七九	四三五	五四一	三、二〇	一、七五	二、四五	五	〇
七十五度區	八二〇	三六五	五三五	三、三六	二、三八	二、八七	四	〇

附 錄

種別	日標	收穫量	對照量	同場量	合計	收穫量
普通區	一、九二五	九	一、七〇〇	六、五〇〇	一、三〇〇	六、五〇〇
七十度區	二、〇三三	一三	一、五七五	八、五〇〇	一、五〇〇	八、五〇〇
七十五度區	二、一八九	一五	七、二六七	八、五〇〇	一、五〇〇	八、五〇〇

品質調査表

種別	目	標	生	重	量	數	系	量	形	色	澤	緊	縮	數	解
普通區	一〇八	二六二	二二八	二二八	二二八	二二八	二二八	二二八	二二八	二二八	二二八	二二八	二二八	二二八	二二八
七十度區	一〇九	二六三	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九
七十五度區	一〇八	二六五	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九	二二九

品質調査表 (十個平均)

種別	目	最	長	最	短	均	最	太	最	細	均	類	節	切
普通區	八二〇	四四三	五八八	三〇二	一、七四	二、四九	四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
七十度區	六七九	四三五	五四二	三、二〇	一、七五	二、四三	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
七十五度區	八二〇	四四五	五三五	三、三六	二、三八	二、八七	四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

兵庫縣立蠶業學校成啓會會則

第一條 本會ハ兵庫縣立蠶業學校成啓會ト稱シ本校内ニ置ク

第二條 本會ハ會員ノ智徳ヲ研修シ元氣ヲ涵養スルヲ以テ目的トス

第三條 左ノ各部ヲ置キ諸般ノ事項ヲ處理ス

- 一 第一部男子部ノ運動ニ關スル事項
- 二 第二部男子部ノ文藝ニ關スル事項
- 三 第三部女子部ノ運動文藝ニ關スル事項
- 四 第四部會計ニ關スル事項

第四條 本會ノ會員ヲ名譽會員特別會員及通常會員トス

本校職員及ヒ本校職員タリシモノヲ名譽會員トシ卒業生ヲ特別會員トシ在學生ヲ通常會員トス

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 會長 壹名
- 二 副會長 壹名
- 三 各部顧問 若干名
- 四 第一部長 壹名 全委員 七名
- 五 第二部長 壹名 全委員 四名

附 錄

六 第三部長 壹名

七 第四部長 壹名 全委員 五名

第六條 役員ノ任務ヲ左ノ如クス

- 一 會長ハ本會ヲ統理ス
- 二 副會長ハ會長ヲ補佐シ特ニ會計ノ監督ヲナス
- 三 各部顧問ハ各部ニ關スル事項ニ對シ指導補佐ノ任務ヲ有ス
- 四 各部長ハ會長ノ命ヲ受ケ各部ニ關スル事項ヲ處理ス
- 五 各委員ハ各部長ノ指揮ヲ受ケ職務ヲ分擔ス

第七條 會長ハ校長ヲ推舉シ副會長顧問及ヒ第三部長ハ在校名譽會員ヨリ各部長及委員ハ通常會員ヨリ推

舉ス但シ副會長ハ第四部顧問ヲ兼テ各部長ハ各部長員ヨリ會長ノ指命ニ依テ定ム

第八條 役員ノ任期ハ滿一ケ年トス

第九條 運動及文藝等ニ關スル會合ハ隨時之ヲ行ヒ特ニ秋季ニ於テ大運動會ヲ行フ

第十條 本會ノ事業トシ左ノ二項ヲ行フコトアルヘシ但シ第二項ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

- 一 雜誌發刊
- 二 商品評會

第十一條 本會ヲ維持スル爲メ會員ハ毎月二十五日限
リ左ノ金員ヲ齎出スヘシ
在校名譽會員 貳拾錢
通 常 會 員 拾 錢

第十二條 特別會員ハ本校卒業ノ際會費トシテ金五拾
錢ヲ納付スルモノトス

第十三條 本會ノ齎金ハ凡テ預金トシ使用ノ都度會長
ノ認可ヲ受ケ之ヲ支出ス

第十四條 本會則ハ會員三分ノ二以上ノ同意ヲ經ルニ
アラサレハ更正スルコトヲ得ス

兵庫縣立蠶業學校同窓會規則

- 第一條 本會ハ兵庫縣立蠶業學校同窓會ト稱ス
- 第二條 本會ノ事務所ハ兵庫縣立蠶業學校内ニ置ク
- 第三條 本會ハ會員相互ノ交誼ヲ厚クシ協同 致以テ
蠶業ノ振興發達ヲ圖ルヲ目的トス
- 第四條 本會ハ左ノ會員ヲ以テ組織ス
一 名譽會員 兵庫縣立蠶業學校教官及蠶業上ニ關
係アル諸大家
- 一 正會員 兵庫縣立蠶業學校卒業生
- 一 贊助員 兵庫縣立蠶業學校在學生

第五條 會員ハ凡テ本會ノ議事ニ參與スルモノトス

第六條 本會ノ目的ヲ達セン爲メ左ノ事項ヲ行フ
一 會員ノ消息及其事業ノ成績調査
二 斯業ニ關スル巡回講話
三 會報ノ發刊
四 有益ナル事業ノ調査及其經營

第七條 本會ハ左ノ役員ヲ置ク
會 頭 一名 兵庫縣立蠶業學校長ヲ推戴ス
副會頭 一名 名譽會員中ヨリ推戴ス
幹 事 一名 正會員中ヨリ互撰ス
評議員 八名 正會員中ヨリ互撰ス

第八條 會頭ハ會務ヲ總理ス
副會頭ハ會頭ヲ補佐シ又ハ其ノ代理ヲナス
幹事ハ會頭副會頭ノ命ヲ受ケ一切ノ事務ヲ管掌ス
評議員ハ會ノ重要ナル事件ヲ評議決定ス

第九條 本會ノ事務ハ左ノ三部ニ順チテ處理ス
一 事業部 事業ノ調査及經營ニ關スル一切ノ事務
二 庶務部 會議ノ開催信書ノ往復等ニ關スル事務
三 編輯部 會報ノ編輯及是ニ附帶スル事務

第十條 當分ノ内事業部ニ關スル一切ノ事務ハ幹事之レヲ付
帶シ庶務及編輯ノ事務ハ贊助員ニ專屬セシム
第十條 役員ノ任期ハ左ノ如シ
會 頭 任期ナシ

第十八條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク
但シ會員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及招集ノ理
由ヲ示シテ請求シタルハ臨時總會ヲ開クコトヲ
ルヘシ

第十九條 緊急事項ノ生シタル時ハ役員會議ヲ開キ之
ヲ處理ス
第二十條 本會ノ爲メ特ニ効勞アルモノハ本會ノ決議
ヲ以テ効勞賞ヲ贈與スルコトアルヘシ

第二十一條 本會ノ名譽ヲ毀損シ又ハ義務ヲ盡サ、ルモ
ノハ除名スルコトアルヘシ
但シ既納ノ會費及積立金ハ返付セス

第二十二條 本則ハ總會ノ決議ヲ經ルニ非サレハ之レヲ
變更スルヲ得ス
附則 本會ハ各郡ニ支部ヲ設置ス
但シ支部ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

會 計 規 程
第一條 積立金ハ遞信省貯金管理所ニ預入スル者トス
第二條 積立金ヲ使用セントスルハ會員ノ決議ヲ經
テ會頭ノ允許ヲ受クルヲ要ス

第三條 但 利子ハ維持費ニ使用スルコトヲ得
維持費ハ銀行一時預金トナスモノトス
第四條 會計事務取扱者ハ會計年度末ニ於テ決算ヲナ

副會頭 任期ナシ
幹 事 二ケ年トス
評議員 二ケ年トス

第十一條 辭任又ハ其他ノ理由ニ依リ事情止ムヲ得サ
ル場合ニ於テ本會役員ニ欠員ヲ生シタル時ハ通常總
會ヲ俟ツコト能ハサル場合ニ限リ役員會ニ於テ補欠選
舉ヲナスモノトス

第十二條 正會員ハ本會維持費トシテ毎年金五拾錢ヲ
贊助員ハ金貳拾錢ヲ納付スルモノトス

第十三條 新ニ會員ヲラントスルモノハ申込書ニ加入
金壹圓ヲ添ヘ會頭ニ届出ヘシ

第十四條 本會ノ基礎ヲ鞏固ナラシメン爲メ左ノ方法
ニヨリ積立金ヲナス
一 新入會ノ加入金
二 本會ニ開催スル藪品評會ノ藪賣上代金(該品評
會ノ開催ハ別ニ定ムル處ニ據ル)

第十五條 會計年度ハ一月ニ始マリ十二月ニ終ル
第十六條 積立金ノ保管及支出其他會計ニ關スル規程
ハ別ニ之レヲ定ム
第十七條 本會維持費ハ總テ前年十二月末日迄ニ納付

シ會頭ノ檢閲ヲ經テ會員ニ報告スルモノトス

第五條 本會役員ハ會計ノ信僞ヲ正シ會計簿ノ披見ヲ乞フコトヲ得

第六條 本會積立金及ヒ維持費其他會計ニ關スル一切ノ取扱事務ハ總テ會頭ニ專屬スルモノトス

○支部規程

第一條 本會ハ各郡ニ支部ヲ設置ス

第二條 支部ノ事務所ハ各郡役所内ニ置ク

第三條 支部ハ本會第三條ノ目的ヲ最モ正鵠ナラシメ

トシテ期スルト共ニ會員ノ動ヲ圖ルヲ以テ其主眼

トス

第四條 支部ノ區域ハ一郡内トシ郡内住居ノ會員ヲ以

テ組織ス

第五條 支部ニハ部内ノ會員名簿ヲ作製シテ其氏名畧

歴ヲ登錄スヘシ

第六條 支部ニハ左ノ役員ヲ置ク

一 支部長 一名 郡長ヲ推戴ス

二 支部幹事 二名 支部區域ノ會員之ヲ互選ス

第七條 支部長ハ支部ヲ總裁ス

支部幹事ハ支部長ノ命ヲ受テ支部内ヲ統率スルモノトス

第八條 支部役員ノ任期ハ左ノ如シ

一 支部長 任期ナシ

二 支部幹事 二ケ年トス

第九條 支部ノ業務左ノ如シ

一 支部内會員ノ消息ヲ本會ニ報告スル

二 支部内會員ノ維持費及積立金ヲ徵集シテ本會ニ

遞送スル

三 斯業ニ關スル巡回講話

四 事業ノ調査及之レカ經營ヲナシ本會ニ報告スル

第十條 支部ハ本會會頭ノ許可ヲ得テ毎年二回以内支

部總會ヲ開クヲ得

第十一條 支部總會ヲ開ガントスルニハ左ノ事項ヲ以

テ本會頭ニ具申スヘシ

一 會議ノ目的及其理由

二 支部内會員五分ノ一以上ノ請求

第十二條 支部總會ノ際ニハ本部ヨリ名譽會員若クハ

正會員中有爲ノ人材ヲ派遣スルヲアルヘシ

但費用ハ本會ノ負擔トス

第十三條 支部ニ於テハ猥ラシキ規則若クハ申合セ等ヲ

作制シテ之レヲ使行スルヲ得ス

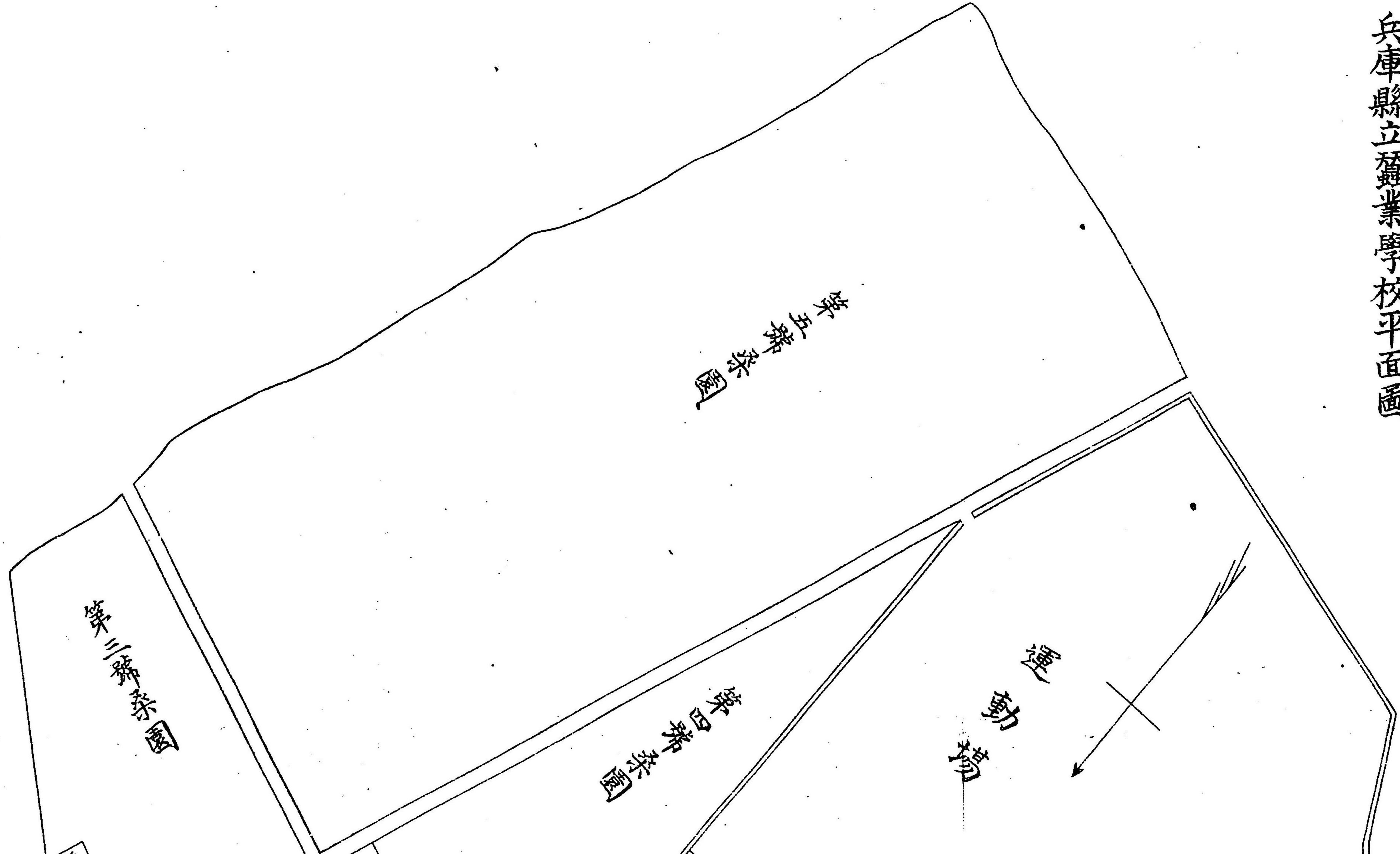
第十四條 支部規程ナキモノハ總テ本會規程ニ準據スル

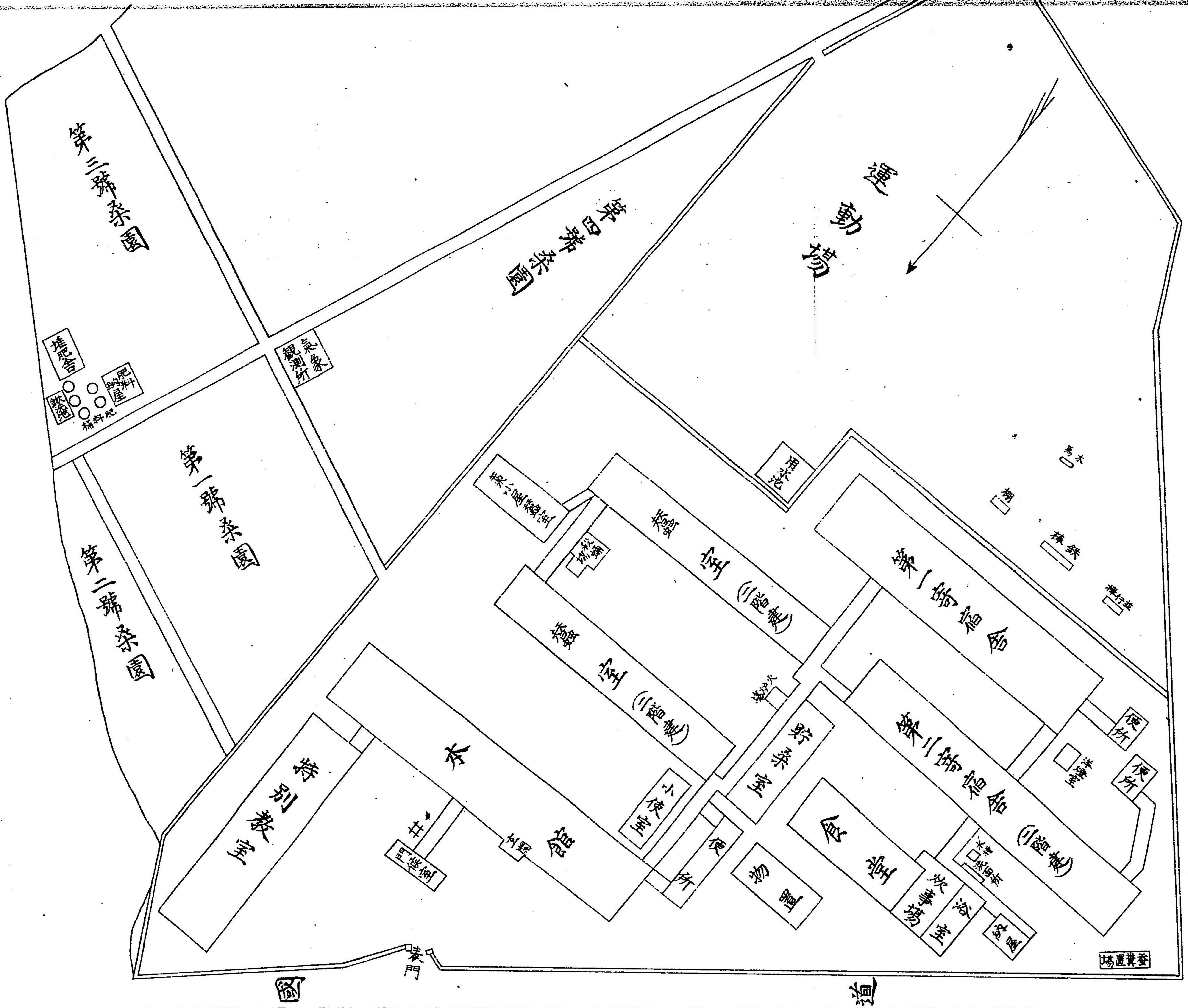
モノトス

支部ニ於テ使用セシ必要ナル郵税ハ本會ニ報

告ノ上拂戻ヲ請求スルヲ得

兵庫縣立蠶業學校平面圖





第三號茶園

第一號茶園

第一號茶園

第二號茶園

第一號茶寮

第二號茶寮

第三號茶寮

茶館

倉庫

廚房

廁所

水井

道

門

海

堆肥
肥料
肥料
肥料

觀測所

第一號茶寮 (附設)

第二號茶寮

水井

廁所

廁所

廁所

廁所

水井

廁所

廁所

場園

265
494

明治四十三年十一月十五日印刷
明治四十三年十一月二十日發行

兵庫縣立蠶業學校

兵庫縣養父郡八鹿村ノ内九鹿村

印刷人 福 富 伊 太 郎

兵庫縣城崎郡日高村之内日置村四十二番屋敷

印刷所 福 富 印 刷 所

兵庫縣城崎郡日高村之内日置村四十二番屋敷

